

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業

MSMにおける予防啓発活動の評価手法の確立
及び PDCA サイクル構築のための研究

平成 30 年度～令和 2 年度 総合研究報告書

研究代表者 塩野 徳史

大阪青山大学

令和 3(2021)年 3 月

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業
MSM における予防啓発活動の評価手法の確立及び PDCA サイクル構築のための研究
平成 30 年度 ~ 令和 2 年度 総合・分担研究報告書

目次

I. 総合研究報告書

MSM における予防啓発活動の評価手法の確立及び PDCA サイクル構築のための研究 研究代表者 塩野 徳史	1
---	---

II. 分担研究報告書

1. 予防啓発活動における PDCA サイクルシステムの開発と機能的展開に関する研究 研究代表者 塩野 徳史	9
2. 予防行動に関する量的データ収集および包括的分析からの評価 研究分担者 金子 典代、他	36
3. 大阪の MSM における HIV 感染動向の把握に関する研究 -大阪ゲイコホートの継続 研究代表者 塩野 徳史、他	59
4. 沖縄に流入する外国人 MSM の予防行動に関する研究 研究分担者 健山 正男、他	63
5. 日本の MSM における HIV 感染動向の把握に関する研究 -HIV 感染発生動向を活用した分析 研究分担者 松岡 佐織	67
6. 医療者による新規患者・診療動向からの評価 研究分担者 山本 政弘	71

III. 研究成果の刊行に関する一覧表	74
---------------------------	----

MSM における予防啓発活動の評価手法の確立及び PDCA サイクル構築のための研究

研究代表者 塩野徳史 大阪青山大学健康科学部看護学科 准教授

研究要旨

日本ではCBO (Community based organization) ・医療者 ・疫学研究者等による協働のもと予防啓発が進められ、先行研究ではMSM (Men who have sex with men) のコンドーム使用行動は20%促進され、より感染リスクの高い層への啓発も進められているが、地方地域では都市部と比べ格差がある。日本全体では予防啓発活動基盤は脆弱で予防規範は未成熟であり、CBO は疲弊している。今後の活動にはスマートフォン普及によるゲイツーリズム活性化や外国籍MSM もふまえることが重要であり、オールジャパンでの取り組みが効果的な手法と考えられ、その体制を整備していく必要がある。

初年度は現在展開されている予防啓発活動を整理し、実態の把握方法と評価の体制を整備し、2回の意見交換の機会を設定した。その中で①社会疫学的見地からの評価 ②CBO による相互間の評価 ③相談支援者 ・ HIV 陽性当事者からみた予防介入の効果評価 ④予防行動に関する量的データ収集および包括的分析からの評価 ⑤日本のMSM における HIV 感染動向の把握と予防啓発活動の評価 ⑥医療者による新規患者 ・ 診療動向からの評価を試行した。

本研究ではMSM 対象の予防啓発活動の持続的な展開基盤を整備し、CBO と連携した日本全体のMSM における予防の浸透度から、アカウントビリティの向上を目指した。

最終年度はコロナ禍の影響で多くの研究計画の遂行が困難となった。コミュニティベースの予防介入は、対象となる商業施設や検査機会が自粛したり、休業することで、ネットワークの有様に変化してきていると考えられる。一方でこれまでの予防啓発の成果は商業施設を利用するコアな層に届いており、検査行動は促進されていることが明らかとなった。届いていない層の中には商業施設を利用している周辺の層、そもそも商業施設を利用していない層にわけられるが、その層に介入効果を広げるためにはCBO の脆弱な部分を解消する必要がある。本研究ではMSM ALL JAPAN. のネットワークを形成することで、その部分の解消を試みたが、コロナ禍の影響で底上げするまでには至らなかったと考える。ただ、これまで参加していなかった地域の新たなネットワークの参加があり、コミュニティセンターのない地域も含まれる等、今後のこれらのサイクルが適切に運営されることを期待できる。

一方で、PrEP 使用者の増加やコンドームの使用行動は低下していること、外国人への予防啓発はいまだ不十分な現状であることも明らかとなり、コロナ禍の影響で、これまで介入できていた層への継続的な介入も困難な場面もあった。これらは新たな課題をもたらしていると言える。

研究分担者氏名（所属研究機関名及び所属研究機関における職名）

研究 2 金子典代（公立大学法人名古屋市立大学 看護学部 准教授）

研究 4 健山正男（国立大学法人琉球大学 大学院 医学系研究科 准教授）

研究 5 松岡佐織（国立感染症研究所 エイズ研究センター 主任研究官）

研究 6 山本政弘（独立行政法人国立病院 機構九州医療センターAIDS/HIV 総合治療センター部長）

A. 研究目的

本研究の目的は、日本に居住する MSM を対象とした予防啓発活動における地域間の連携をもとに新たな取り組みのプランニングを行い、展開する基盤を整備することである。また、PDCA サイクルを導入することによって、日本の MSM の予防啓発の浸透度を把握し、予防啓発活動を可視化し、アカウントビリティを向上させることも含まれる。

新たな取り組みには、現行の予防啓発活動とその目的との整合性が重要であり、CBO の脆弱な基盤を焦点化させることが必要である。

PDCA サイクルの中でプログラム評価（参加型評価）の手法を活用した包括的な評価と、予防啓発活動のアカウントビリティの向上は、CBO の基盤の安定化につながると考える。

B. 研究方法

本研究では MSM 対象の予防啓発活動における地域間連携をもとに新たな活動計画を策定し、展開基盤を整備する。また、PDCA サイクルを導入することで、日本全体の MSM の予防啓発の浸透度を把握し、予防啓発活動を可視化し、アカウントビリティ向上を目的とし、以下の研究を実施した。

研究 1 予防啓発活動における PDCA サイクルシステムの開発と機能的展開に関する研究

北海道・東北・東京・神奈川県・東海・大阪・中国・四国・九州・沖縄地域の CBO と協働し、現在展開されている予防啓発活動を整理した。これを班会議で社会的見地や、CBO による相互間、相談支援者・HIV 陽性当事者の視点を含み、評価し、見直しの必要性を検討する予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大の影響で困難であった。そのため、現状を断続的に共有しつつ、日本の予防啓発における現状を把握することを目的として、各地域の CBO に対し、コミュニティや検査機会の状況についてヒアリングを行い、まとめた。

また成人男性における MSM を対象に、予防行動および PEP/PrEP の状況を把握するために量的調査を実施した。国勢調査を基に、20 歳から 59 歳の成人男性を 47 都道府県と年齢階級によって層化し、その割合に基づき、A 社保有のモニター登録者を比例配分したのち、得られた成人男性を対象にしてスクリーニング調査を実施した。スクリーニング調査では性別、年齢、居住地、居住期間、居住形態、最終学歴、職業、婚姻状況と「これまでに性的に魅力を感じたことのある相手の性別」、「これまでに性的接触を有した相手の性別」、「相手にお金を払って性交渉（セックス）をした経験（これまでと過去 6 ヶ月間）」「相手からお金をもらって性交渉（セックス）をした（これまでと過去 6 ヶ月間）」の 12 問を尋ねた。本調査は 2,000 人を対象に実施し、質問項目は HIV や性感染症に関する知識、PrEP についての知識・意識、過去 6 ヶ月間の HIV やエイズに関する対話経験、検査行動、活動の認知、性感染症既往歴、性行動とした。そして、北海道東北、関東、北陸甲信越、東海、近畿、中国四国、九州の地域別にカイ 2 乗検定を用いて分析を行った。

研究 2 予防行動に関する量的データ収集および包括的分析からの評価

本研究ではプログラムレベルのモニタリング体制としてコミュニティセンター利用者調査を実施した。最終年度はこれまでの質問紙調査結果をもとに包括的に分析を進めた。調査方法は、本研究の趣旨を事前に研修を受けた CBO スタッフが書面をもとに口頭で説明し、協力同意の得られた人を対象に回答を依頼した。回答後には、回答者自身がシールで封緘を行い、回答内容をスタッフがみることなく設置された回収箱に投函する仕組みとした。回答協力者には QUO カード 500 円相当を協力謝礼として提供した。

776 人を対象に HIV 検査経験、梅毒の既往歴、HIV について話した経験、エイズ関連の CBO の認知度、性行動に関する質問について、地方都市と東京・大阪の 2 つのグループについて HIV 検査経験と関連因子を評価した。また、2019 年 (n=430)、2020 年(n=431)に実施した調査結果を用いて、HIV 治療薬の進歩や U=U といった HIV・エイズの最新情報の認知度別に HIV 検査経験やコンドーム使用行動との関連について分析した。

研究 3 大阪の MSM における HIV 感染動向の把握に関する研究 - 大阪ゲイコホートの継続

大阪市と協働し、個別施策層を対象とした HIV 抗体検査および梅毒抗原抗体検査におけるコホート研究を継続した。

研究 4 沖縄に流入する外国人 MSM の予防行動に関する研究

沖縄は台湾や中国からの流入が多く、外国人 MSM の流入が増加していることから、日本における検査行動の実態や予防行動に関する状況を量的調査により明らかにする予定であったが、コロナ禍の影響により、研究を進めることが困難となった。そのため、今年度は外国人 MSM を対象として HIV 検査に関する支援環境を整えた。

研究 5 日本の MSM における HIV 感染動向の把握に関する研究 - HIV 感染発生動向を活用した分析

研究計画では、日本の MSM における HIV 感染の動向について、地域別の動向や出生年コホート等の二次分析を行い、班会議で還元し、梅毒などの性感染症の発生動向についても MSM に焦点をあてた分析を行う予定であったが、コロナ禍の影響により、対面での共有が困難となり、研究を進めることが困難となった。

研究 6 医療者による新規患者・診療動向からの評価

主な医療機関での新規患者の傾向 (AIDS 発症の有無/検査場所等) を把握するためにアンケート調査を実施するとともに、各医療機関で最近の傾向について意見聴取し、班会議等で還元する予定であったが、コロナ禍の影響により、対面での共有が困難となり、研究を進めることが困難となった。

(倫理面への配慮)

研究者が所属する研究機関において倫理審査を受けて実施する。またゲイ・バイセクシュアル男性は社会からの偏見・差別が強くこれらの点についての配慮が必要である。このため本研究では各地の CBO と連携し、調査項目や調査方法を検討し、本研究参加によって性的指向に関する差別や偏見を受けないように配慮する。

本研究は血液検査が含まれており、協力依頼時には訓練された専門のスタッフが書面および口頭によって説明し、研究主体、研究目的、調査参加の任意性、予想されるメリット、デメリット、厳密な個人情報の保護、不参加の際に不利益を受けないこと、途中で中止したい場合には登録を削除できる自由について十分に理解を得たのちに同意を得たうえで実施する。研究結果については、関連学会や出

出版物などで個人が特定されないように処理したデータの分析結果のみを公表することを説明する。

結果判明後の診療・支援体制についても保健所と同等の環境を整備した上で研究を実施する。大阪市保健所では陽性判明結果後にCBOによる対面相談や電話相談先が適宜紹介されており、本研究でも同様の支援先を紹介する。また血液検査時には専門的な知識を有するCBOと協働し、専門家による体面相談や外国籍MSM向けに通訳(中国語・英語)ができる体制を整備する。

本研究実施については大阪青山大学研究倫理審査委員会より実施の承認を得た。

C. 研究結果

研究1で地域のCBOに対し、コミュニティや検査機会の状況についてヒアリングを行った結果を資料として巻末にまとめた。どの地域も検査機会が激減しており、介入の中心的な対象であったゲイ向け商業施設も、休業や時短営業が多く、これまで行ってきた紙資材のアウトリーチができないことも多かった。

質問紙調査の結果では、20歳～59歳までの成人男性でかつこれまでに男性と性的接触のあると回答した人を対象に2021年有効回答2,000人を分析し再現性を確認した。

基本属性では、居住形態では独居、勤務形態、最終学歴、婚姻暦等で有意差がみられた。現在の職業も常勤(正規雇用)が70.2%から68.3%となり有意差がみられた($p=0.02$)。またコンドーム携帯率や購入経験についても有意差がみられ、商業施設を利用するコミュニティセンター利用者で他の群に比べて高い割合であった。

U=Uの認知についても商業施設を利用するコミュニティセンター利用者で「よく知っている」と回答する割合が高く44.6%であった。

これまでのHIV抗体検査受検経験も商業施設を利用するコミュニティセンター利用者で他の群に比べて高い割合で、84.4%、過去1年間の受検経験は67.3%であった。

「HIV感染予防のためのセックス前の服薬(PrEP)」や「HIVに感染したかもしれないときの予防服薬(PEP)」に関する情報について、よく知っていた割合は52.8%、現在PrEPをしたことがあると回答した割合は21.2%であった。

4群間に分類すると、商業施設を利用するコミュニティセンター利用者で、ほとんどの割合が高く、リスクの高い層に介入効果が示されていると考えられる。一方で、PrEPをしたことがあると回答した割合も高く、2割程度となっており、コミュニティのコアな層では使用行動が進んでいることが示唆された。またコンドームの常用割合は年々低くなっており、本調査結果でも4群間で有意差はみられず、3割程度となっていた。そのため、包括的な取り組みが必要である。

研究2の第1回調査は、2019年2月から3月にかけて仙台ZELでは50件、東京aktaでは300件、大阪では200件、名古屋では100件、沖縄では50件の質問紙を配布し総計536件の有効回答を得た。第2回調査では、第1回調査での配布地域に加え、北海道でも配布を行った。2019年12月から2020年1月にかけて実施し、総計690件の有効回答を得た。初年度の調査では初来場者数は全体では、20.8%、HIV検査行動は都市部(東京、大阪)より地方都市(東北、沖縄)のほうが低いことが示された。コミュニティセンターでは情報提供、相談も行っているが、スタッフからの情報提供や相談への対応のみならず、来場者間での情報入手や相互に相談しサポートが行われていることが示された。

年度間の比較を実施するにあたり、MSMかつHIV陽性ではない分析対象者に限定した。対象者は2019年調査は430名、2020年調査

は 431 名であった。治療薬の進歩の認知は 2019 年調査では 88.6%、2020 年調査では 94.1% であり、U=U の認知は 2019 年調査では 74.8%、2020 年調査では 83.1% であった。コミュニティセンター来場者における治療薬の進歩や U=U といった最新情報の認知度は 2020 年には 8 割を超えていた。U=U といった新しい知識は浸透が進んでいることが考えられた。新型コロナウイルス感染症の拡大によりコミュニティセンターの活動にも影響が大きくなってきているが、これらの予防啓発の取り組みを低下させない工夫が必要となる。

研究 3 では大阪地域の MSM を対象にゲイコホートを継続した。大阪市と協働し、本研究期間に 12 回の HIV 抗体および梅毒抗原抗体検査会を実施した。2018 年度の受検者数は 249 人、2019 年度は 210 人であり、2020 年度は 114 人であり、新型コロナウイルス感染症の影響で減少したと考えられる。

研究 4 では研究計画では文化的背景の近い海外（台湾など）の MSM の動向と比較研究であったが、実施可能性を検討し、沖縄に流入する外国人 MSM を対象として、彼らの予防行動（検査行動および感染リスク行動）を明らかにすることを目的に研究を進めた。

初年度は、外国籍 MSM が回答可能な多言語アンケートシステムの構築を行い、今年度は調査を試行した。その結果、回答者数が少なく、今後も継続して調査を実施する必要があるが、日本での性行動は日本の MSM と同程度行われている一方で、日本における HIV 検査の情報が浸透しておらず、検査機会が少ない状況であることが示唆された。最終年度はこれまでの研究成果をもとに、外国人の検査ハードルを下げるべく支援環境を整備した。

研究 5 では本研究では感染症法に基づき実施されている病原体サーベイランスのうち、MSM における性感染症の動向を補足することを目的に、性的接触により感染リスクの高まる 5 類感染症（全数把握疾患）に関して年間

報告数、感染経路、性別などの情報を抽出し、HIV 予防啓発に従事する NPO、研究者らと情報を共有した。

MSM における性感染症の発生動向把握に向けた基礎情報の収集として、男性同性間性的接触が主な感染経路である報告数の抽出を試みた。収集した情報は班会議を通して公表し、データは電子媒体で共有した。

研究 6 では初年度は、主な医療機関での HIV/AIDS 患者の傾向を把握するためにアンケート調査の内容を検討し、倫理委員会の承認を得た。

内容は、抗 HIV 療法未導入の初診症例の総数、検査施設・医療機関・郵送検査などにおける検査数（自発的な検査および医師からの勧奨、輸血時等）、初診時にエイズを発症していた症例数、新規感染例数の傾向等とした。

AIDS 発症例については、中四国を除き横這いあるいは増加傾向であることが報告された。新規感染については北陸を除き、横這いあるいは増加傾向と報告された。関東甲信越、東海、沖縄はいずれも増加傾向であり、九州は増加後横這いの傾向であることが指摘され、背景に検査行動および予防行動が影響している可能性について班会議で意見交換を行った。こうした結果の還元は、MSM における予防啓発活動の評価手法の一助となり、ハイリスク層におけるセクシュアルヘルスの向上につながることを期待できる。

D. 考察

本研究では MSM 対象の予防啓発活動の持続的な展開基盤を整備し、CBO と連携した日本全体の MSM における予防の浸透度から、アカウンタビリティの向上を目指した。

最終年度はコロナ禍の影響で多くの研究計画の遂行が困難となった。コミュニティベースの予防介入は、対象となる商業施設や検査機会が自粛したり、休業することで、ネットワークの有様が変化してきていると考えられ

る。一方でこれまでの予防啓発の成果は商業施設を利用するコアな層に届いており、検査行動は促進されていることが明らかとなった。届いていない層の中には商業施設を利用している周辺の層、そもそも商業施設を利用していない層にわけられるが、その層に介入効果を広げるためにはCBOの脆弱な部分を解消する必要がある。本研究ではMSM ALL JAPAN.のネットワークを形成することで、その部分の解消を試みたが、コロナ禍の影響で底上げするまでには至らなかったと考える。ただ、これまで参加していなかった地域の新たなネットワークの参加があり、コミュニティセンターのない地域も含まれる等、今後のこれらのサイクルが適切に運営されることを期待できる。

一方で、PrEP使用者の増加やコンドームの使用行動は低下していること、外国人への予防啓発はいまだ不十分な現状であることも明らかとなり、コロナ禍の影響で、これまで介入できていた層への継続的な介入も困難な場面もあった。これらは新たな課題をもたらしていると言える。

E. 結論

関東や近畿などコミュニティセンター設置地域では他地域よりコンドーム使用や検査行動など予防行動は高く、コミュニティセンターリピーターではその傾向が顕著であった。したがって、CBOやNGOが提供するHIV関連情報の発信を増やすことは、日本のMSMを対象とした有効な予防政策介入であり、定期的な予防行動を促進し、予防に関する関心の維持は重要である。コミュニティセンターがない地域では、その認知割合が低いですが、認知はされており、ゲイツーリズムやインターネットSNSにより、徐々に全国のMSMに予防行動が浸透していく可能性も考えられる。

本研究により、日本の予防啓発活動の状況

を把握することが可能な資料が揃ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で班会議の開催が困難であり、共有や還元の仕事には至らなかった。3年間の研究成果として『MSM ALL JAPAN.』の枠組みで予防啓発活動に還元できる可能性のある体制を整備が進み、全てのコミュニティセンターおよびコミュニティセンターのない地域を含み9地域の枠組みができた。

今後はこの枠組みを活用し、日本に居住するMSMを対象とした予防啓発活動における地域間の連携をもとに新たな取り組みを進めることが可能であり、その活動を可視化できる体制を整えていく必要があると考える。『MSM ALL JAPAN.』の枠組みで状況を共有でき、新型コロナウイルス感染症の影響によって各地域の検査機会が後退していることから、全国でMSMを対象とした新たな検査機会の取り組みが開始されている。そのため本研究による枠組みは一部有効に機能したと考える。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 金子典代, 塩野徳史, 内海眞, 山本政弘, 健山政男, 鬼塚哲郎, 伊藤俊広, 市川誠一: 成人男性のHIV検査受検, 知識, HIV関連情報入手状況, HIV陽性者の身近さの実態 - 2009年調査と2012年調査の比較-. 日本エイズ学会誌. 19(1):16-23, 2017.
- 2) 塩野徳史, 市川誠一, 金子典代, 佐々木由理: 都市部保健所におけるHIV抗体検査受検者の特性, 厚生指標, 2018, 65(5):35-42
- 3) 金子典代, 塩野徳史, 本間隆之, 岩橋恒太, 健山正男, 市川誠一. 地方都市在住のMSM (Men who have sex with men) における

- 調査時点までと過去1年のHIV検査経験と関連要因. 日本エイズ学会誌, 21(1): 34-44, 2019.
- 4) Takahashi, N., Matsuoka S., Minh, T. T. T., Ba, H. P., Naruse, T. K., Kimura, A., Shiino, T., Kawana-Tachikawa, A., Ishikawa, K., Matano, T., and Thi, L. A. N. Human leukocyte antigen-associated gag and nef polymorphisms in HIV-1 subtype A/E-infected individuals in Vietnam. *Microbes Infect.* (18), 30163-30171. 2018.
- 5) Kato H, Kanou K, Arima Y, Ando F, Matsuoka S, Yoshimura K, Matano T, Matsui T, Sunagawa T, Oishi K. The importance of accounting for testing and positivity in surveillance by time and place: an illustration from HIV surveillance in Japan. *Epidemiol Infect.* 12:1-7. 2018.
- 6) 松岡佐織:2015年以降の日本国内HIV/AIDS発生動向分析. 病原微生物検出情報. 2018, Vol. 39(9) p151-152.
- 7) 嶋根卓也, 今村顕史, 池田和子, 山本政弘, 辻麻理子, 長与由紀子, 松本俊彦. 薬物使用経験のある HIV 陽性者において危険ドラッグ使用が服薬アドヒアランスに与える影響. 日本エイズ学会誌, 20(1):32-40, 2018.
2. 学会発表
- 1) ○塩野徳史 ゲイコミュニティにおける HIV 抗体検査—『これまで』と『これから』 シンポジウム 3 HIV 将来予測と流行阻止 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 2) ○塩野徳史 HIV 検査の受検阻害要因としてのスティグマ シンポジウム 4 スティグマの払拭は誰が担うのか 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 3) ○塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 宮田りりい, 大畑泰次郎, 伴仲昭彦, 鬼塚哲郎, 市川誠一 商業施設を利用しはじめの若年層 MSM を対象とした予防啓発介入の開発と効果評価 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 4) ○荒木順子, 金子典代, 木南拓也, 岩橋恒太, 佐久間久弘, 阿部甚兵, 大島 岳, 太田 貴, 石田敏彦, 塩野徳史, 新山 賢, 金城 健, 本間隆之, 市川誠一 akta で展開したセーフターセックスキャンペーンとコミュニティベースド調査による効果評価 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 5) ○宮田りりい, 塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 大畑泰次郎, 市川誠一 MSM における性交相手との出会いの場所と方法一年齢層による差異について— 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 6) ○塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 宮田りりい MSM における検査行動に関する尺度開発とコミュニティセンターdista利用者の変化 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 7) ○後藤大輔, 中村理恵, 宮田りりい, 塩野徳史 若年層向けの行政と連携した予防啓発方法の試み 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 8) ○川畑拓也, 小島洋子, 森 治代, 駒野 淳, 岩佐 厚, 亀岡 博, 菅野展史, 近藤雅彦, 杉本賢治, 高田昌彦, 田端運久, 中村幸生, 古林敬一, 清田敦彦, 伏谷加奈子, 塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 柴田敏之, 木下 優 大阪府における MSM 向け HIV/STI 検査相談事業・平成 28 年度実績報告 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26

- 9) ○Takaku Michiko, Dorjgotov Myagmardorj, Gombo Erdenetuya, Galsanjamts Nyampurev, Jagdagsuren Davaalkham, Ichikawa Seiichi, Shiono Satoshi, Kaneko Noriyo, Oka Shinichi Studies on NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia The 31st Annual Meeting of the Japanese Society for AIDS Research, Tokyo, Nov. 24-26, 2017
- 10) ○櫻井理恵, 真木景子, 浦林純江, 青木理恵, 浅井千絵, 松本健二, 小向 潤, 植田英也, 半羽宏之, 松村直樹, 久保徹朗, 安井典子, 塩野徳史, 市川誠一 保健福祉センターにおける HIV 抗原抗体検査受検者アンケートから見た MSM 対策の評価 ワークショップ3 検査・相談体制 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 11) ○塩野徳史: U=U をめぐるメッセージと予防啓発 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会 シンポジウム 9 U=U 誰が何をどう伝えるか: 陽性者の人権とスティグマゼロへの取り組みを視野に入れて 大阪, H30. 12. 2-
- 12) ○塩野徳史: 社会分野における予防指針の課題 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会 日本エイズ学会シンポジウムエイズ予防指針改定の背景と課題 大阪, H30. 12. 2-4
- 13) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代. MSM(Men who have sex with men)に包摂される女装者たちの性行動や HIV 感染症に対する意識. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会 熊本, 2019. 11. 27-29.
- 14) 金子典代, 太田貴, 荒木順子, 岩橋恒太, 石田敏彦, 宮田りりい, 塩野徳史, 玉城祐貴. コミュニティセンター来場者におけるセンターでの情報入手や相談経験、HIV 検査行動、新しい知識の浸透. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会 熊本, 2019. 11. 27-29.
- 15) 塩野徳史. MSM におけるセクシュアルヘルス (HIV 検査行動、新しい知識) に関する現状. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会 熊本, 2019. 11. 27-29.
- 16) 宮階真紀, 塩野徳史, 要友紀子, 宮田りりい, 松下修三. セックスワーカーにおけるセクシュアルヘルスに関する現状. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会 熊本, 2019. 11. 27-29.
- 17) 塩野徳史. HIV Futures Japan プロジェクトの調査結果から～老後・災害に焦点をあてて～. 共催シンポジウム 1 長期療養時代の医療・行政・コミュニティの協働態勢の構築 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会 熊本, 2019. 11. 27-29.

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。
3. その他
なし。

予防啓発活動におけるPDCAサイクルシステムの開発と機能的展開に関する研究

研究代表者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）

研究協力者：市川誠一（人間環境大学）、生島嗣（NPO 法人ふれいす東京）、
高久陽介（NPO 法人 JaNP+）

研究協力：北海道；にじいろほっかいどう 東北；やろっこ/ZEL 首都圏；NPO 法人 akta/akta
横浜；NPO 法人 SHIP 東海；ANGEL LIFE NAGOYA/rise 近畿；MASH 大阪/dista
中国・四国；HaaT えひめ/BRIGE プロジェクト 沖縄；nankr 沖縄/mabui

研究要旨

調査結果については表 1～表 7 に示した。基本属性では、居住形態では独居、勤務形態、最終学歴、婚姻暦等で有意差がみられた。現在の職業も常勤（正規雇用）が 70.2%から 68.3%となり有意差がみられた（ $p=0.02$ ）。またコンドーム携帯率や購入経験についても有意差がみられ、商業施設を利用するコミュニティセンター利用者で他の群に比べて高い割合であった。

U=U の認知についても商業施設を利用するコミュニティセンター利用者で「よく知っている」と回答する割合が高く 44.6%であった。

これまでの HIV 抗体検査受検経験も商業施設を利用するコミュニティセンター利用者で他の群に比べて高い割合で、84.4%、過去 1 年間の受検経験は 67.3%であった。

「HIV 感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP）」や「HIV に感染したかもしれないときの予防服薬（PEP）」に関する情報について、よく知っていた割合は 52.8%、現在 PrEP をしたことがあると回答した割合は 21.2%であった。

4 群間に分類すると、商業施設を利用するコミュニティセンター利用者で、ほとんどの割合が高く、リスクの高い層に介入効果が示されていると考えられる。一方で、PrEP をしたことがあると回答した割合も高く、2 割程度となっており、コミュニティのコアな層では使用行動が進んでいることが示唆された。またコンドームの常用割合は年々低くなっており、本調査結果でも 4 群間で有意差はみられず、3 割程度となっていた。そのため、包括的な取り組みが必要である。

A. 研究目的

本研究では、北海道・東北・東京・神奈川県・東海・大阪・中国・四国・沖縄地域の CBO と協働し、現在展開されている予防啓発活動を整理し、可視化することを目的としている。そして、アウトプットをもとに、班会議等で社会疫学的視点や、CBO による相互間、相談支援者・HIV 陽性当事者の視点を含み、評価する体制を構築する。

またインターネットの近年の普及やゲイ・ツーリズムを背景として、全地域が共同して取り組むことが求められている。またコミュニティセンターのない地域での HIV 感染報告も増加傾向であり、単独地域のみでは現行の予防啓発活動にも限界があると考えられる。したがって予防活動の方針や計画を確認、見直しの必要があり、それらもふまえて班会議で検討し、オールジャパンでの予防啓発活動

について年数回 CBO 当事者を主体とした会議で計画を検討する。最終年度には予防啓発活動の方向性について、包括的な視点を含んだアクション・プランを策定することを目標としている。

評価の方法としては、プログラムレベル・コミュニティレベル・ソーシャルレベルなどの視点から得られたデータを再構成する必要があると思われるが、初年度は、基礎的な資料を得ることを目的として、MSM における新しい予防(PEP/PrEP)の準備性について、質問紙調査を実施した。本年度はコロナ禍のため、班会議等の集会を持つことが困難であり、日本の MSM における状況を把握することを目的に、初年度と同様の方法で調査を実施した。

2015 年の国勢調査を基に、20 歳から 59 歳の成人男性を 47 都道府県と年齢階級によって層化し、その割合に基づき、A 社・B 社保有のニター登録者を比例配分したのち、得られた成人男性を対象にしてスクリーニング調査を実施した。

B. 研究方法

本調査は「日本に居住する生涯の性交相手が同性または両方である男性」を対象として、スクリーニング調査と同様に居住ブロックと年齢階級によって 2 段階抽出を行い、N 社 2,000 人を比例配分し、本調査を実施した。

本調査の質問項目は HIV や性感染症に関する知識、新たな予防方法についての知識・意識、過去 6 ヶ月間の HIV やエイズに関する対話経験、検査行動、性感染症既往歴、性行動などの全 19 問とした。

本調査の質問項目は婚姻状況、HIV や性感染症に関する知識、過去 6 ヶ月間の HIV やエイズに関する対話経験、検査行動、性感染症既往歴、性行動、セックスワーク時の環境などを尋ね、分析では商業施設利用別かつコミュニティセンター認知別、インターネット利用等で 4 群に分類し、クロス集計を行った。さらに各地域別に分析した。カイ 2 乗検定を用いて検討した。有意水準

を 5% 未満とした。データの集計および統計処理には IBM SPSS Statistics 23 (Windows) を用いた。

(倫理面への配慮)

本研究実施については大阪青山大学研究倫理審査委員会より実施の承認を得た。

C. 研究結果

調査結果については表 1～表 7 に示した。基本属性では、居住形態では独居、勤務形態、最終学歴、婚姻暦等で有意差がみられた。現在の職業も常勤(正規雇用)が 70.2%から 68.3%となり有意差がみられた ($p=0.02$)。またコンドーム携帯率や購入経験についても有意差がみられ、商業施設を利用するコミュニティセンター利用者で他の群に比べて高い割合であった。

U=U の認知についても商業施設を利用するコミュニティセンター利用者で「よく知っている」と回答する割合が高く 44.6%であった。

これまでの HIV 抗体検査受検経験も商業施設を利用するコミュニティセンター利用者で他の群に比べて高い割合で、84.4%、過去 1 年間の受検経験は 67.3%であった。

「HIV 感染予防のためのセックス前の服薬(PrEP)」や「HIV に感染したかもしれないときの予防服薬(PEP)」に関する情報について、よく知っていた割合は 52.8%、現在 PrEP をしたことがあると回答した割合は 21.2%であった。

D. 考察

先行研究と比べ、MSM 割合は著変なく、再現性も認められたと考えられる。商業施設利用については先行研究と比較してやや高い割合か変動がみられず、コロナ禍で時短営業や休業が続く結果でもあったが、生涯の経験について尋ねた結果が反映されていると考えられる。

4 群間に分類すると、商業施設を利用する

コミュニティセンター利用者で、ほとんどの割合が高く、リスクの高い層に介入効果が示されていると考えられる。一方で、PrEPをしたことがあると回答した割合も高く、2割程度となっており、コミュニティのコアな層では使用行動が進んでいることが示唆された。またコンドームの常用割合は年々低くなっており、本調査結果でも4群間で有意差はみられず、3割程度となっていた。そのため、包括的な取り組みが必要である。

E. 結論

各地域のPrEPに関する情報の浸透は低い割合にとどまっており、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い検査行動が減少していることも示唆される。オールジャパンでの予防啓発の浸透度はある程度可視化され、予防啓発活動の効果評価についても可視化されつつあると考えられる。コロナ禍の影響がいつまで継続するのかによって、周囲の状況の変化は著しく、啓発介入の手法を再考する必要性にせまられている。

この結果を今後の予防啓発活動に還元していくことが必要である。

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) ○塩野徳史, 市川誠一, 金子典代, 佐々木由理: 都市部保健所における HIV 抗体検査受検者の特性, 厚生指標, 2018, 65(5): 35-42
- 2) ○金子典代, 塩野徳史, 本間隆之, 岩橋恒太, 健山正男, 市川誠一: 地方都市在住の MSM (Men who have sex with men) における調査時点までと過去1年の HIV 検査経験と関連要因. 日本エイズ学会誌, 2019, 21(1) (受理済).

2. 学会発表

- 1) ○塩野徳史 ゲイコミュニティにおける HIV 抗体検査—『これまで』と『これから』

シンポジウム 3 HIV 将来予測と流行阻止 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26

- 2) ○塩野徳史 HIV 検査の受検阻害要因としてのスティグマ シンポジウム 4 スティグマの払拭は誰が担うのか 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 3) ○塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 宮田りりい, 大畑泰次郎, 伴仲昭彦, 鬼塚哲郎, 市川誠一 商業施設を利用しはじめ若年層 MSM を対象とした予防啓発介入の開発と効果評価 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 4) ○荒木順子, 金子典代, 木南拓也, 岩橋恒太, 佐久間久弘, 阿部甚兵, 大島 岳, 太田 貴, 石田敏彦, 塩野徳史, 新山 賢, 金城 健, 本間隆之, 市川誠一 akta で展開したセーフアークスキャンペーンとコミュニティベース調査による効果評価 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 5) ○宮田りりい, 塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 大畑泰次郎, 市川誠一 MSM における性交相手との出会いの場所と方法—一年齢層による差異について— 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 6) ○塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 宮田りりい MSM における検査行動に関する尺度開発とコミュニティセンターdista利用者の変化 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 7) ○後藤大輔, 中村理恵, 宮田りりい, 塩野徳史 若年層向けの行政と連携した予防啓発方法の試み 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 8) ○川畑拓也, 小島洋子, 森 治代, 駒野 淳, 岩佐 厚, 亀岡 博, 菅野展史, 近藤雅彦, 杉本賢治, 高田昌彦, 田端運久, 中

村幸生, 古林敬一, 清田敦彦, 伏谷加奈子, 塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 柴田敏之, 木下 優 大阪府における MSM 向け HIV/STI 検査相談事業・平成 28 年度実績報告 第 31 回日本エイズ学会 学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26

- 9) ○Takaku Michiko, Dorjgotov Myagmardorj, Gombo Erdenetuya, Galsanjamts Nyampurev, Jagdagsuren Davaalkham, Ichikawa Seiichi, Shiono Satoshi, Kaneko Noriyo, Oka Shinichi Studies on NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia The 31st Annual Meeting of the Japanese Society for AIDS Research, Tokyo, Nov. 24-26, 2017
- 10) ○櫻井理恵, 真木景子, 浦林純江, 青木理恵, 浅井千絵, 松本健二, 小向 潤, 植田英也, 半羽宏之, 松村直樹, 久保徹朗, 安井典子, 塩野徳史, 市川誠一 保健福祉センターにおける HIV 抗原抗体検査受検者アンケートから見た MSM 対策の評価 ワークショップ 3 検査・相談体制 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 11) ○塩野徳史: U=U をめぐるメッセージと予防啓発 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会 シンポジウム 9 U=U 誰が何をどう伝えるか: 陽性者の人権とスティグマゼロへの取り組みを視野に入れて 大阪, H30. 12. 2-
- 12) ○塩野徳史: 社会分野における予防指針の課題 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会 日本エイズ学会シンポジウム エイズ予防指針改定の背景と課題 大阪, H30. 12. 2-4

2. 実用新案登録

なし。

3. その他

なし。

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

なし。

表 1-1 基本属性

	商業施設利用				商業施設非利用				合計		Pearson カイ2乗	
	センター利用		センター非利用		ネット利用		ネット非利用		n=2000			
	n=269		n=665		n=363		n=703		n=2000			
居住地												
北海道・東北	25	9.3%	68	10.2%	40	11.0%	80	11.4%	213	10.7%	0.43	
関東	110	40.9%	236	35.5%	132	36.4%	235	33.4%	713	35.7%		
北陸・甲信越	15	5.6%	43	6.5%	14	3.9%	46	6.5%	118	5.9%		
東海	33	12.3%	66	9.9%	48	13.2%	93	13.2%	240	12.0%		
近畿	40	14.9%	104	15.6%	61	16.8%	103	14.7%	308	15.4%		
中国・四国	15	5.6%	53	8.0%	27	7.4%	65	9.2%	160	8.0%		
九州	31	11.5%	95	14.3%	41	11.3%	81	11.5%	248	12.4%		
現在お住まいの地域にどのくらいの期間住んでいますか。												
1年未満	26	9.7%	25	3.8%	23	6.3%	23	3.3%	97	4.9%		<0.01
1-5年未満	36	13.4%	89	13.4%	55	15.2%	84	11.9%	264	13.2%		
5-10年未満	49	18.2%	74	11.1%	55	15.2%	81	11.5%	259	13.0%		
10-20年未満	41	15.2%	120	18.0%	65	17.9%	140	19.9%	366	18.3%		
20年以上	117	43.5%	357	53.7%	165	45.5%	375	53.3%	1014	50.7%		
現在、一人暮らしですか。												
はい(1人暮らし)	144	53.5%	258	38.8%	111	30.6%	174	24.8%	687	34.4%	<0.01	
いいえ	113	42.0%	407	61.2%	250	68.9%	512	72.8%	1282	64.1%		
定住している家はない	12	4.5%	0	0.0%	2	0.6%	17	2.4%	31	1.6%		
最終学歴												
中学校	11	4.1%	22	3.3%	13	3.6%	20	2.8%	66	3.3%	0.01	
高等学校	41	15.2%	164	24.7%	98	27.0%	168	23.9%	471	23.6%		
専門学校/短大/高専	37	13.8%	119	17.9%	44	12.1%	100	14.2%	300	15.0%		
大学/大学院	180	66.9%	360	54.1%	208	57.3%	415	59.0%	1163	58.2%		
現在の職業として、最も近いのは次のどれですか。												
常勤（正規雇用）	185	68.8%	418	62.9%	255	70.2%	507	72.1%	1365	68.3%	<0.01	
常勤（非正規雇用）	15	5.6%	52	7.8%	33	9.1%	28	4.0%	128	6.4%		
パート/アルバイト/フリーランス	40	14.9%	59	8.9%	32	8.8%	60	8.5%	191	9.6%		
経営者/個人事業主	20	7.4%	60	9.0%	19	5.2%	55	7.8%	154	7.7%		
働いていない	9	3.3%	76	11.4%	24	6.6%	53	7.5%	162	8.1%		
現在結婚していますか。												
結婚している	136	50.6%	214	32.2%	179	49.3%	420	59.7%	949	47.5%	<0.01	
離別・死別	22	8.2%	45	6.8%	23	6.3%	38	5.4%	128	6.4%		
未婚	111	41.3%	406	61.1%	161	44.4%	245	34.9%	923	46.2%		
これまでに性交渉（セックス）をした相手の性別は次のどれに該当しますか。												
同性のみ	124	46.1%	273	41.1%	152	41.9%	463	65.9%	1012	50.6%	<0.01	
同性と異性の両方	145	53.9%	392	58.9%	211	58.1%	240	34.1%	988	49.4%		
これまでに性交渉（セックス）をした男性の人数は何人ですか。												
1人	69	25.7%	99	14.9%	111	30.6%	357	50.8%	636	31.8%	<0.01	
2人	59	21.9%	49	7.4%	53	14.6%	78	11.1%	239	12.0%		
3人以上	141	52.4%	517	77.7%	199	54.8%	268	38.1%	1125	56.3%		
これまでに男性と性交渉（セックス）をした回数は何回ですか。												
1回	53	19.7%	87	13.1%	121	33.3%	370	52.6%	631	31.6%	<0.01	
2回	69	25.7%	27	4.1%	44	12.1%	62	8.8%	202	10.1%		
3回以上	147	54.6%	551	82.9%	198	54.5%	271	38.5%	1167	58.4%		
自分がゲイであることや男性とセックスすることについて、住んでいる地域のゲイではない友人・知人何人にカミングアウトしましたか。*												
誰にも話していない	16	14.5%	143	53.0%	25	50.0%	10	43.5%	194	42.8%	<0.01	
1-2人	41	37.3%	43	15.9%	9	18.0%	8	34.8%	101	22.3%		
3人以上	53	48.2%	84	31.1%	16	32.0%	5	21.7%	158	34.9%		
これまでに相手にお金を払って性交渉（セックス）をしたことがありますか。												
ある	199	74.0%	302	45.4%	200	55.1%	254	36.1%	955	47.8%	<0.01	
ない	70	26.0%	363	54.6%	163	44.9%	449	63.9%	1045	52.3%		
これまでに相手からお金をもらって性交渉（セックス）をしたことがありますか。												
ある	181	67.3%	145	21.8%	61	16.8%	65	9.2%	452	22.6%	<0.01	
ない	88	32.7%	520	78.2%	302	83.2%	638	90.8%	1548	77.4%		
身近なHIV感染者の有無												
いない・いないと思う	63	23.4%	343	51.6%	219	60.3%	451	64.2%	1076	53.8%	<0.01	
わからない	22	8.2%	153	23.0%	100	27.5%	204	29.0%	479	24.0%		
いる・いると思う	184	68.4%	169	25.4%	44	12.1%	48	6.8%	445	22.3%		
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームを購入したことがありますか。												
ある	202	75.1%	211	31.7%	118	32.5%	152	21.6%	683	34.2%	<0.01	
ない	67	24.9%	454	68.3%	245	67.5%	551	78.4%	1317	65.9%		
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームをすぐに使えるようにいつも身近に持っていましたか。												
いつも身近に持っていた	171	63.6%	181	27.2%	104	28.7%	111	15.8%	567	28.4%	<0.01	
時々は身近に持っていた	67	24.9%	173	26.0%	97	26.7%	134	19.1%	471	23.6%		
まったく身近にはなかった	31	11.5%	311	46.8%	162	44.6%	458	65.1%	962	48.1%		

*ゲイと回答した人のみ

表 1-2 予防啓発活動の浸透度

	商業施設利用				商業施設非利用				合計		Pearson カイ2乗
	センター利用		センター非利用		ネット利用		ネット非利用		n=2000		
	n=269		n=665		n=363		n=703				
日本で男性同性愛者対象に予防啓発の取り組みが行われていたり、コンドーム・ローションが無料で配布されていることを知っていますか。											
よく知っている	132	49.1%	112	16.8%	14	3.9%	14	2.0%	272	13.6%	<0.01
少し知っている	100	37.2%	239	35.9%	70	19.3%	87	12.4%	496	24.8%	
あまり知らない	32	11.9%	138	20.8%	89	24.5%	177	25.2%	436	21.8%	
全く知らない	5	1.9%	176	26.5%	190	52.3%	425	60.5%	796	39.8%	
これまでに性感染症にかかったことがありますか。											
ある	165	61.3%	187	28.1%	82	22.6%	89	12.7%	523	26.2%	<0.01
ない	104	38.7%	478	71.9%	281	77.4%	614	87.3%	1477	73.9%	
生涯の性感染症既往(内訳の一部掲載)											
梅毒	50	18.6%	42	6.3%	8	2.2%	2	0.3%	102	5.1%	<0.01
A型肝炎	50	18.6%	4	0.6%	1	0.3%	1	0.1%	56	2.8%	<0.01
B型肝炎	41	15.2%	17	2.6%	9	2.5%	1	0.1%	68	3.4%	<0.01
HIV感染症	33	12.3%	30	4.5%	10	2.8%	46	6.5%	119	6.0%	<0.01
PrEPやPEPに関する上記のような情報について、知っていましたか。											
とてもよく知っている	142	52.8%	35	5.3%	20	5.5%	16	2.3%	213	10.7%	<0.01
具体的には知らないが、聞いたことはある	102	37.9%	211	31.7%	69	19.0%	111	15.8%	493	24.7%	
まったく知らなかった	25	9.3%	419	63.0%	274	75.5%	576	81.9%	1294	64.7%	
友達や知り合い、セックスの相手で、HIV陰性者 (HIVに感染していない人) の中にPrEPをしている人はいると思いますか。											
いる	94	34.9%	25	3.8%	7	1.9%	6	0.9%	132	6.6%	<0.01
いると思う	95	35.3%	89	13.4%	32	8.8%	22	3.1%	238	11.9%	
いないと思う	43	16.0%	211	31.7%	129	35.5%	220	31.3%	603	30.2%	
いない	12	4.5%	82	12.3%	58	16.0%	155	22.0%	307	15.4%	
わからない	25	9.3%	258	38.8%	137	37.7%	300	42.7%	720	36.0%	
あなたはPrEPをしたいと思いますか。											
服薬したい	67	24.9%	89	13.4%	34	9.4%	29	4.1%	219	11.0%	<0.01
どちらかといえば、服薬したい	96	35.7%	209	31.4%	107	29.5%	108	15.4%	520	26.0%	
どちらかといえば、服薬したくない	45	16.7%	171	25.7%	117	32.2%	215	30.6%	548	27.4%	
服薬したくない	28	10.4%	166	25.0%	95	26.2%	305	43.4%	594	29.7%	
治療で抗HIV薬の服薬治療を続けている	33	12.3%	30	4.5%	10	2.8%	46	6.5%	119	6.0%	
あなたはPrEPをしたことがありますか。											
過去に飲んだことがある	119	44.2%	11	1.7%	13	3.6%	5	0.7%	148	7.4%	<0.01
現在飲んでいる	57	21.2%	6	0.9%	8	2.2%	21	3.0%	92	4.6%	
一度も飲んだことがない	93	34.6%	648	97.4%	342	94.2%	677	96.3%	1760	88.0%	
コミュニティセンター-ZEL(宮城県仙台市)											
これまでに1度は行ったことがある	125	46.5%	0	0.0%	2	0.6%	5	0.7%	132	6.6%	<0.01
知っているけど行ったことはない	72	26.8%	50	7.5%	28	7.7%	39	5.5%	189	9.5%	
知らない	72	26.8%	615	92.5%	333	91.7%	659	93.7%	1679	84.0%	
コミュニティセンター-akta(東京都新宿区)											
これまでに1度は行ったことがある	146	54.3%	0	0.0%	6	1.7%	7	1.0%	159	8.0%	<0.01
知っているけど行ったことはない	89	33.1%	100	15.0%	29	8.0%	38	5.4%	256	12.8%	
知らない	34	12.6%	565	85.0%	328	90.4%	658	93.6%	1585	79.3%	
コミュニティセンター-rise(愛知県名古屋市)											
これまでに1度は行ったことがある	118	43.9%	0	0.0%	2	0.6%	3	0.4%	123	6.2%	<0.01
知っているけど行ったことはない	80	29.7%	44	6.6%	32	8.8%	34	4.8%	190	9.5%	
知らない	71	26.4%	621	93.4%	329	90.6%	666	94.7%	1687	84.4%	
コミュニティセンター-dista(大阪府大阪市)											
これまでに1度は行ったことがある	145	53.9%	0	0.0%	3	0.8%	8	1.1%	156	7.8%	<0.01
知っているけど行ったことはない	70	26.0%	58	8.7%	26	7.2%	30	4.3%	184	9.2%	
知らない	54	20.1%	607	91.3%	334	92.0%	665	94.6%	1660	83.0%	
コミュニティセンター-Haco(福岡県福岡市)											
これまでに1度は行ったことがある	115	42.8%	0	0.0%	2	0.6%	6	0.9%	123	6.2%	<0.01
知っているけど行ったことはない	84	31.2%	54	8.1%	25	6.9%	37	5.3%	200	10.0%	
知らない	70	26.0%	611	91.9%	336	92.6%	660	93.9%	1677	83.9%	
コミュニティセンター-mabui(沖縄県那覇市)											
これまでに1度は行ったことがある	109	40.5%	0	0.0%	5	1.4%	7	1.0%	121	6.1%	<0.01
知っているけど行ったことはない	80	29.7%	41	6.2%	24	6.6%	34	4.8%	179	9.0%	
知らない	80	29.7%	624	93.8%	334	92.0%	662	94.2%	1700	85.0%	
「検出限界以下が6ヶ月間継続していれば、セックスで相手に感染させるリスクは事実上ない(U=U)」を知っていましたか。											
よく知っている	120	44.6%	37	5.6%	18	5.0%	17	2.4%	192	9.6%	<0.01
少し知っている	91	33.8%	107	16.1%	42	11.6%	92	13.1%	332	16.6%	
あまり知らない	33	12.3%	179	26.9%	84	23.1%	190	27.0%	486	24.3%	
全く知らない	25	9.3%	342	51.4%	219	60.3%	404	57.5%	990	49.5%	

表 1-3 検査行動

	商業施設利用				商業施設非利用				合計		Pearson カイ2乗
	センター利用 n=269		センター非利用 n=665		ネット利用 n=363		ネット非利用 n=703		n=2000		
これまでに、HIV抗体検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。											
ある	227	84.4%	277	41.7%	100	27.5%	101	14.4%	705	35.3%	<0.01
ない	42	15.6%	388	58.3%	263	72.5%	602	85.6%	1295	64.8%	
これまでに受けた、HIV抗体検査（エイズ検査）の場所はどこですか。 ¹⁾											
保健所の即日検査	118	52.0%	113	40.8%	42	42.0%	33	32.7%	306	43.4%	0.01
保健所の夜間検査	76	33.5%	19	6.9%	7	7.0%	8	7.9%	110	15.6%	<0.01
保健所の即日・夜間検査以外	85	37.4%	68	24.5%	18	18.0%	12	11.9%	183	26.0%	<0.01
病院	75	33.0%	69	24.9%	26	26.0%	33	32.7%	203	28.8%	0.16
クリニック・医院・診療所	56	24.7%	45	16.2%	13	13.0%	21	20.8%	135	19.1%	0.04
郵送検査キット	31	13.7%	14	5.1%	4	4.0%	4	4.0%	53	7.5%	<0.01
その他	3	1.3%	5	1.8%	2	2.0%	3	3.0%	13	1.8%	0.79
過去1年間に、HIV抗体検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。											
ある	181	67.3%	80	12.0%	39	10.7%	17	2.4%	317	15.9%	<0.01
ない	88	32.7%	585	88.0%	324	89.3%	686	97.6%	1683	84.2%	
過去1年間に受けた、HIV抗体検査（エイズ検査）の場所はどこですか。 ²⁾											
保健所の即日検査	101	55.8%	34	42.5%	15	38.5%	6	35.3%	156	49.2%	0.05
保健所の夜間検査	76	42.0%	5	6.3%	7	17.9%	1	5.9%	89	28.1%	<0.01
保健所の即日・夜間検査以外	59	32.6%	13	16.3%	4	10.3%	3	17.6%	79	24.9%	<0.01
病院	57	31.5%	23	28.8%	8	20.5%	6	35.3%	94	29.7%	0.54
クリニック・医院・診療所	49	27.1%	13	16.3%	5	12.8%	1	5.9%	68	21.5%	0.03
郵送検査キット	27	14.9%	4	5.0%	3	7.7%	1	5.9%	35	11.0%	0.08
その他	0	0.0%	1	1.3%	1	2.6%	0	0.0%	2	0.6%	0.25
あなたは定期的に、HIV検査を受けていますか。											
定期的に受けていない	118	43.9%	609	91.6%	338	93.1%	687	97.7%	1752	87.6%	<0.01
定期的に受けている	151	56.1%	56	8.4%	25	6.9%	16	2.3%	248	12.4%	
新型コロナウイルス感染症が拡大する前の1年間と比べて、HIV検査を利用する回数や頻度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大後どう変わりましたか。											
減った/利用することができなくなった	91	33.8%	106	15.9%	43	11.8%	66	9.4%	306	15.3%	<0.01
変わらない	142	52.8%	548	82.4%	306	84.3%	595	84.6%	1591	79.6%	
増えた	36	13.4%	11	1.7%	14	3.9%	42	6.0%	103	5.2%	
2020年2月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、HIV検査を受けようと思ったのに受けられなかった経験が現在までにありますか。											
HIV感染の可能性はないので、検査を受けようと思ったことはない	108	40.1%	463	69.6%	280	77.1%	530	75.4%	1381	69.1%	<0.01
HIV感染の可能性はあるが、検査を受けようと思ったことはない	78	29.0%	80	12.0%	26	7.2%	48	6.8%	232	11.6%	
検査を受けようと思ったが、受けることができなかった	33	12.3%	47	7.1%	21	5.8%	38	5.4%	139	7.0%	
この期間に、検査を受けることができた	50	18.6%	75	11.3%	36	9.9%	87	12.4%	248	12.4%	
あなたは、HIV検査を受けるとしたら、どの検査を選びますか。最も受けたいと思う検査機会を1つ選んでください。											
保健所の即日検査	96	35.7%	290	43.6%	151	41.6%	171	24.3%	708	35.4%	<0.01
保健所の夜間検査	43	16.0%	51	7.7%	21	5.8%	26	3.7%	141	7.1%	
保健所の即日・夜間検査以外の検査	39	14.5%	27	4.1%	20	5.5%	18	2.6%	104	5.2%	
病院での検査	35	13.0%	62	9.3%	39	10.7%	78	11.1%	214	10.7%	
クリニック・医院・診療所での検査	27	10.0%	58	8.7%	24	6.6%	58	8.3%	167	8.4%	
郵送検査	14	5.2%	73	11.0%	36	9.9%	69	9.8%	192	9.6%	
南新宿や大阪にある公的な検査機関での検査	8	3.0%	16	2.4%	7	1.9%	10	1.4%	41	2.1%	
検査を受けたいとは思わない	7	2.6%	88	13.2%	65	17.9%	273	38.8%	433	21.7%	
これまでに、医療機関（病院、クリニック）で医療職者から、HIV抗体検査（エイズ検査）をすすめられたことはありますか。											
ある	173	64.3%	54	8.1%	23	6.3%	22	3.1%	272	13.6%	<0.01
ない	96	35.7%	611	91.9%	340	93.7%	681	96.9%	1728	86.4%	
過去1年間に、医療機関（病院、クリニック）で医療職者から、HIV抗体検査（エイズ検査）をすすめられたことはありますか。											
ある	151	56.1%	30	4.5%	19	5.2%	13	1.8%	213	10.7%	<0.01
ない	118	43.9%	635	95.5%	344	94.8%	690	98.2%	1787	89.4%	

1)これまでにHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

2)過去1年間にHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

表 1-4 予防行動

	商業施設利用				商業施設非利用				合計 n=2000	Pearson カイ2乗	
	センター利用		センター非利用		ネット利用		ネット非利用				
	n=269	n=665	n=363	n=703							
過去6ヶ月間の行動を振り返って、あなたは自分自身がHIVに感染している可能性があると思いますか。											
全く可能性はなかった	65	24.2%	331	49.8%	191	52.6%	463	65.9%	1050	52.5%	<0.01
あまり可能性はなかった	67	24.9%	114	17.1%	67	18.5%	44	6.3%	292	14.6%	
どちらとも言えない	58	21.6%	145	21.8%	74	20.4%	125	17.8%	402	20.1%	
少し可能性があった	27	10.0%	36	5.4%	15	4.1%	14	2.0%	92	4.6%	
かなり可能性があった	19	7.1%	9	1.4%	6	1.7%	11	1.6%	45	2.3%	
すでにHIVに感染している	33	12.3%	30	4.5%	10	2.8%	46	6.5%	119	6.0%	
これまでに出会い系サイト/掲示板/アプリ/Twitterで出会った相手と性交渉（セックス）をしたことがありますか。											
ある	219	81.4%	462	69.5%	363	100.0%	0	0.0%	1044	52.2%	<0.01
ない	50	18.6%	203	30.5%	0	0.0%	703	100.0%	956	47.8%	
過去6ヶ月間に、男性とセックスをしたことがありますか。											
ある	188	69.9%	282	42.4%	104	28.7%	45	6.4%	619	31.0%	<0.01
ない	81	30.1%	383	57.6%	259	71.3%	658	93.6%	1381	69.1%	
過去6ヶ月間に、男性とアナルセックスをしたことがありますか。											
ある	163	60.6%	210	31.6%	61	16.8%	28	4.0%	462	23.1%	<0.01
ない	106	39.4%	455	68.4%	302	83.2%	675	96.0%	1538	76.9%	
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手にあなた自身のHIVステータスを話しましたか。 ³⁾											
セックスする前に相手に話していた	98	52.1%	33	11.7%	12	11.5%	2	4.4%	145	23.4%	<0.01
セックスした後に相手に話した	44	23.4%	6	2.1%	12	11.5%	3	6.7%	65	10.5%	
話していない	36	19.1%	180	63.8%	47	45.2%	23	51.1%	286	46.2%	
覚えていない	7	3.7%	8	2.8%	3	2.9%	5	11.1%	23	3.7%	
自分自身のHIVステータスを知らない	3	1.6%	55	19.5%	30	28.8%	12	26.7%	100	16.2%	
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手のHIVステータスを知っていましたか。 ³⁾											
ほぼすべての相手がHIV陰性であった	85	45.2%	76	27.0%	29	27.9%	9	20.0%	199	32.1%	<0.01
一部の相手がHIV陽性であった	50	26.6%	4	1.4%	6	5.8%	2	4.4%	62	10.0%	
ほぼすべての相手がHIV陽性であった	12	6.4%	3	1.1%	1	1.0%	1	2.2%	17	2.7%	
相手がHIV陽性か陰性かわからない	41	21.8%	199	70.6%	68	65.4%	33	73.3%	341	55.1%	
過去6ヶ月間の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁴⁾											
非常用	103	63.2%	134	63.8%	35	57.4%	11	39.3%	283	61.3%	0.07
常用	60	36.8%	76	36.2%	26	42.6%	17	60.7%	179	38.7%	
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾											
ある	148	78.7%	173	61.3%	45	43.3%	25	55.6%	391	63.2%	<0.01
ない	40	21.3%	109	38.7%	59	56.7%	20	44.4%	228	36.8%	
過去6ヶ月間の恋人や夫など特定男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁵⁾											
非常用	79	53.4%	111	64.2%	25	55.6%	9	36.0%	224	57.3%	0.03
常用	69	46.6%	62	35.8%	20	44.4%	16	64.0%	167	42.7%	
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定“以外”の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾											
ある	151	80.3%	157	55.7%	48	46.2%	10	22.2%	366	59.1%	<0.01
ない	37	19.7%	125	44.3%	56	53.8%	35	77.8%	253	40.9%	
過去6ヶ月間の特定以外の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁶⁾											
非常用	83	55.0%	93	59.2%	23	47.9%	5	50.0%	204	55.7%	0.54
常用	68	45.0%	64	40.8%	25	52.1%	5	50.0%	162	44.3%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験 ³⁾											
いずれもなし	61	32.4%	224	79.4%	81	77.9%	39	86.7%	405	65.4%	<0.01
パイアグラのみ	32	17.0%	36	12.8%	15	14.4%	1	2.2%	84	13.6%	
薬物併用	95	50.5%	22	7.8%	8	7.7%	5	11.1%	130	21.0%	

3)過去6ヶ月間に男性とセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

4)過去6ヶ月間に男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

5)過去6ヶ月間に特定の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

6)過去6ヶ月間に特定以外の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

表 2-1 (北海道・東北) 基本属性

	商業施設利用				商業施設非利用				合計 n=213	Pearson カイ2乗	
	センター利用 n=25		センター非利用 n=68		ネット利用 n=40		ネット非利用 n=80				
現在お住まいの地域にどのくらいの期間住んでいますか。											
1年未満	4	16.0%	1	1.5%	2	5.0%	6	7.5%	13	6.1%	0.06
1-5年未満	3	12.0%	8	11.8%	5	12.5%	10	12.5%	26	12.2%	
5-10年未満	2	8.0%	8	11.8%	9	22.5%	6	7.5%	25	11.7%	
10-20年未満	3	12.0%	10	14.7%	8	20.0%	5	6.3%	26	12.2%	
20年以上	13	52.0%	41	60.3%	16	40.0%	53	66.3%	123	57.7%	
現在、一人暮らしですか。											
はい(1人暮らし)	9	36.0%	25	36.8%	12	30.0%	29	36.3%	75	35.2%	<0.01
いいえ	10	40.0%	43	63.2%	28	70.0%	48	60.0%	129	60.6%	
定住している家はない	6	24.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.8%	9	4.2%	
最終学歴											
中学校	3	12.0%	1	1.5%	3	7.5%	5	6.3%	12	5.6%	0.18
高等学校	7	28.0%	16	23.5%	17	42.5%	25	31.3%	65	30.5%	
専門学校/短大/高専	6	24.0%	10	14.7%	6	15.0%	13	16.3%	35	16.4%	
大学/大学院	9	36.0%	41	60.3%	14	35.0%	37	46.3%	101	47.4%	
現在の職業として、最も近いのは次のどれですか。											
常勤(正規雇用)	9	36.0%	48	70.6%	21	52.5%	53	66.3%	131	61.5%	<0.01
常勤(非正規雇用)	3	12.0%	5	7.4%	7	17.5%	4	5.0%	19	8.9%	
パート/アルバイト/フリーランス	9	36.0%	5	7.4%	7	17.5%	9	11.3%	30	14.1%	
経営者/個人事業主	4	16.0%	2	2.9%	1	2.5%	5	6.3%	12	5.6%	
働いていない	0	0.0%	8	11.8%	4	10.0%	9	11.3%	21	9.9%	
現在結婚していますか。											
結婚している	9	36.0%	25	36.8%	16	40.0%	37	46.3%	87	40.8%	0.22
離別・死別	7	28.0%	6	8.8%	6	15.0%	9	11.3%	28	13.1%	
未婚	9	36.0%	37	54.4%	18	45.0%	34	42.5%	98	46.0%	
これまでに性交渉(セックス)をした相手の性別は次のどれに該当しますか。											
同性のみ	10	40.0%	26	38.2%	15	37.5%	50	62.5%	101	47.4%	0.01
同性と異性の両方	15	60.0%	42	61.8%	25	62.5%	30	37.5%	112	52.6%	
これまでに性交渉(セックス)をした男性の人数は何人ですか。											
1人	6	24.0%	12	17.6%	11	27.5%	44	55.0%	73	34.3%	<0.01
2人	7	28.0%	7	10.3%	8	20.0%	9	11.3%	31	14.6%	
3人以上	12	48.0%	49	72.1%	21	52.5%	27	33.8%	109	51.2%	
これまでに男性と性交渉(セックス)をした回数は何回ですか。											
1回	6	24.0%	9	13.2%	13	32.5%	39	48.8%	67	31.5%	<0.01
2回	9	36.0%	3	4.4%	7	17.5%	10	12.5%	29	13.6%	
3回以上	10	40.0%	56	82.4%	20	50.0%	31	38.8%	117	54.9%	
自分がゲイであることや男性とセックスすることについて、住んでいる地域のゲイではない友人・知人何人にカミングアウトしましたか。*											
誰にも話していない	2	25.0%	17	25.0%	2	33.3%	1	25.0%	22	52.4%	0.04
1-2人	4	50.0%	1	4.2%	1	16.7%	1	25.0%	7	16.7%	
3人以上	2	25.0%	6	25.0%	3	50.0%	2	50.0%	13	31.0%	
これまでに相手にお金を払って性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	22	88.0%	30	44.1%	19	47.5%	25	31.3%	96	45.1%	<0.01
ない	3	12.0%	38	55.9%	21	52.5%	55	68.8%	117	54.9%	
これまでに相手からお金をもらって性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	17	68.0%	11	16.2%	8	20.0%	9	11.3%	45	21.1%	<0.01
ない	8	32.0%	57	83.8%	32	80.0%	71	88.8%	168	78.9%	
身近なHIV感染者の有無											
いない・いないと思う	9	36.0%	41	60.3%	28	70.0%	49	61.3%	127	59.6%	<0.01
わからない	4	16.0%	13	19.1%	5	12.5%	23	28.8%	45	21.1%	
いる・いると思う	12	48.0%	14	20.6%	7	17.5%	8	10.0%	41	19.2%	
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームを購入したことがありますか。											
ある	17	68.0%	25	36.8%	13	32.5%	23	28.8%	78	36.6%	<0.01
ない	8	32.0%	43	63.2%	27	67.5%	57	71.3%	135	63.4%	
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームをすぐに使えるようにいつも身近に持っていましたか。											
いつも身近に持っていた	13	52.0%	21	30.9%	8	20.0%	11	13.8%	53	24.9%	<0.01
時々は身近に持っていた	8	32.0%	15	22.1%	10	25.0%	18	22.5%	51	23.9%	
まったく身近にはなかった	4	16.0%	32	47.1%	22	55.0%	51	63.8%	109	51.2%	

*ゲイと回答した人のみ

表 2-2 (北海道・東北) 予防啓発活動の浸透度 検査行動

	商業施設利用		商業施設非利用		合計		Pearson カイ2乗				
	センター利用 n=25	センター非利用 n=68	ネット利用 n=40	ネット非利用 n=80	n=213						
日本で男性同性愛者対象に予防啓発の取り組みが行われていたり、コンドーム・ローションが無料で配布されていることを知っていますか。											
よく知っている	10	40.0%	10	14.7%	3	7.5%	2	2.5%	25	11.7%	<0.01
少し知っている	7	28.0%	24	35.3%	8	20.0%	11	13.8%	50	23.5%	
あまり知らない	8	32.0%	15	22.1%	8	20.0%	20	25.0%	51	23.9%	
全く知らない	0	0.0%	19	27.9%	21	52.5%	47	58.8%	87	40.8%	
これまでに性感染症にかかったことがありますか。											
ある	17	68.0%	15	22.1%	10	25.0%	13	16.3%	55	25.8%	<0.01
ない	8	32.0%	53	77.9%	30	75.0%	67	83.8%	158	74.2%	
生涯の性感染症既往(内訳の一部掲載)											
梅毒	6	24.0%	1	1.5%	1	2.5%	0	0.0%	8	3.8%	<0.01
A型肝炎	1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	<0.01
B型肝炎	2	8.0%	0	0.0%	2	5.0%	0	0.0%	4	1.9%	<0.01
HIV感染症	4	16.0%	3	4.4%	0	0.0%	7	8.8%	14	6.6%	<0.01
PrEPやPEPに関する上記のような情報について、知っていましたか。											
とてもよく知っている	12	48.0%	4	5.9%	1	2.5%	4	5.0%	21	9.9%	<0.01
具体的には知らないが、聞いたことはある	11	44.0%	22	32.4%	12	30.0%	12	15.0%	57	26.8%	
まったく知らなかった	2	8.0%	42	61.8%	27	67.5%	64	80.0%	135	63.4%	
あなたはPrEPをしたいと思いますか。											
服薬したくない	8	32.0%	36	52.9%	25	62.5%	59	73.8%	128	60.1%	<0.01
服薬したい	13	52.0%	29	42.6%	15	37.5%	14	17.5%	71	33.3%	
治療で抗HIV薬の服薬治療を続けている	4	16.0%	3	4.4%	0	0.0%	7	8.8%	14	6.6%	
あなたはPrEPをしたことがありますか。											
ない	11	44.0%	66	97.1%	36	90.0%	76	95.0%	189	88.7%	<0.01
ある	14	56.0%	2	2.9%	4	10.0%	4	5.0%	24	11.3%	
コミュニティセンター-ZEL(宮城県仙台市)											
これまでに1度は行ったことがある	18	72.0%	0	0.0%	1	2.5%	1	1.3%	20	9.4%	<0.01
知っているけど行ったことはない	5	20.0%	18	26.5%	5	12.5%	7	8.8%	35	16.4%	
知らない	2	8.0%	50	73.5%	34	85.0%	72	90.0%	158	74.2%	
にじいるほっかいどう											
知っている	17	68.0%	7	10.3%	1	2.5%	4	5.0%	29	13.6%	<0.01
知らない	8	32.0%	61	89.7%	39	97.5%	76	95.0%	184	86.4%	
「検出限界以下が6ヶ月間継続していれば、セックスで相手に感染させるリスクは事実上ない(U=U)」を知っていましたか。											
よく知っている	13	52.0%	2	2.9%	3	7.5%	6	7.5%	24	11.3%	<0.01
少し知っている	5	20.0%	14	20.6%	6	15.0%	11	13.8%	36	16.9%	
あまり知らない	6	24.0%	22	32.4%	9	22.5%	18	22.5%	55	25.8%	
全く知らない	1	4.0%	30	44.1%	22	55.0%	45	56.3%	98	46.0%	
これまでに、医療機関(病院、クリニック)で医療職者から、HIV抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。											
ある	12	48.0%	5	7.4%	3	7.5%	2	2.5%	22	10.3%	<0.01
ない	13	52.0%	63	92.6%	37	92.5%	78	97.5%	191	89.7%	
過去1年間に、医療機関(病院、クリニック)で医療職者から、HIV抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。											
ある	11	44.0%	2	2.9%	3	7.5%	0	0.0%	16	7.5%	<0.01
ない	14	56.0%	66	97.1%	37	92.5%	80	100.0%	197	92.5%	
これまでに、HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。											
ある	21	84.0%	29	42.6%	8	20.0%	10	12.5%	68	31.9%	<0.01
ない	4	16.0%	39	57.4%	32	80.0%	70	87.5%	145	68.1%	
これまでに受けた、HIV抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。 ¹⁾											
保健所の即日検査	8	38.1%	12	41.4%	6	75.0%	2	20.0%	28	41.2%	0.13
保健所の夜間検査	3	14.3%	3	10.3%	0	0.0%	1	10.0%	7	10.3%	0.73
保健所の即日・夜間検査以外	8	38.1%	2	6.9%	0	0.0%	2	20.0%	12	17.6%	0.02
病院	9	42.9%	10	34.5%	2	25.0%	2	20.0%	23	33.8%	0.59
クリニック・医院・診療所	6	28.6%	3	10.3%	0	0.0%	3	30.0%	12	17.6%	0.14
郵送検査キット	1	4.8%	3	10.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	5.9%	0.53
その他	0	0.0%	1	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	0.71
過去1年間に、HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。											
ある	14	56.0%	7	10.3%	4	10.0%	2	2.5%	27	12.7%	<0.01
ない	11	44.0%	61	89.7%	36	90.0%	78	97.5%	186	87.3%	
過去1年間に受けた、HIV抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。 ²⁾											
保健所の即日検査	8	57.1%	2	28.6%	3	75.0%	0	0.0%	13	48.1%	0.21
保健所の夜間検査	3	21.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	11.1%	0.37
保健所の即日・夜間検査以外	3	21.4%	2	28.6%	0	0.0%	1	50.0%	6	22.2%	0.53
病院	3	21.4%	3	42.9%	1	25.0%	1	50.0%	8	29.6%	0.69
クリニック・医院・診療所	4	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	14.8%	0.23
郵送検査キット	2	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.4%	0.57
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

1)これまでにHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

2)過去1年間にHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

表 2-3 (北海道・東北) 予防行動

	商業施設利用		商業施設非利用		ネット利用		ネット非利用		合計		Pearson カイ2乗	
	センター利用 n=25	センター非利用 n=68	ネット利用 n=40	ネット非利用 n=80	合計 n=213							
あなたは定期的に、HIV検査を受けていますか。												
定期的に受けていない	13	52.0%	60	88.2%	37	92.5%	76	95.0%	186	87.3%	<0.01	
定期的に受けている	12	48.0%	8	11.8%	3	7.5%	4	5.0%	27	12.7%		
新型コロナウイルス感染症が拡大する前の1年間と比べて、HIV検査を利用する回数や頻度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大後どう変わりましたか。												
減った/利用することができなくなった	6	24.0%	8	11.8%	8	20.0%	7	8.8%	29	13.6%	0.04	
変わらない	15	60.0%	59	86.8%	29	72.5%	67	83.8%	170	79.8%		
増えた	4	16.0%	1	1.5%	3	7.5%	6	7.5%	14	6.6%		
2020年2月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、HIV検査を受けようと思ったのに受けられなかった経験が現在までにありますか。												
HIV感染の可能性はないので、検査を受けようと思ったことはない	5	20.0%	45	66.2%	24	60.0%	56	70.0%	130	61.0%	<0.01	
HIV感染の可能性はあるが、検査を受けようと思ったことはない	11	44.0%	10	14.7%	5	12.5%	7	8.8%	33	15.5%		
検査を受けようと思ったが、受けることができなかった	5	20.0%	4	5.9%	5	12.5%	4	5.0%	18	8.5%		
この期間に、検査を受けることができた	4	16.0%	9	13.2%	6	15.0%	13	16.3%	32	15.0%		
あなたは、HIV検査を受けるとしたら、どの検査を選びますか。最も受けたいと思う検査機会を1つ選んでください。												
保健所の即日検査	6	24.0%	28	41.2%	11	27.5%	16	20.0%	61	28.6%	<0.01	
保健所の夜間検査	2	8.0%	6	8.8%	2	5.0%	4	5.0%	14	6.6%		
保健所の即日・夜間検査以外の検査	4	16.0%	0	0.0%	1	2.5%	5	6.3%	10	4.7%		
病院での検査	5	20.0%	5	7.4%	6	15.0%	10	12.5%	26	12.2%		
クリニック・医院・診療所での検査	4	16.0%	4	5.9%	1	2.5%	2	2.5%	11	5.2%		
郵送検査	2	8.0%	14	20.6%	4	10.0%	9	11.3%	29	13.6%		
南新宿や大阪にある公的な検査機関での検査	2	8.0%	0	0.0%	2	5.0%	2	2.5%	6	2.8%		
検査を受けたいとは思わない	0	0.0%	11	16.2%	13	32.5%	32	40.0%	56	26.3%		
これまでに出会い系サイト/掲示板/アプリ/Twitterで出会った相手と性交渉(セックス)をしたことがありますか。												
ある	18	72.0%	47	69.1%	40	100.0%	0	0.0%	105	49.3%		<0.01
ない	7	28.0%	21	30.9%	0	0.0%	80	100.0%	108	50.7%		
過去6ヶ月間に、男性とセックスをしたことがありますか。												
ある	13	52.0%	31	45.6%	9	22.5%	5	6.3%	58	27.2%	<0.01	
ない	12	48.0%	37	54.4%	31	77.5%	75	93.8%	155	72.8%		
過去6ヶ月間に、男性とアナルセックスをしたことがありますか。												
ある	13	52.0%	23	33.8%	7	17.5%	3	3.8%	46	21.6%	<0.01	
ない	12	48.0%	45	66.2%	33	82.5%	77	96.3%	167	78.4%		
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手にあなた自身のHIVステータスを話しましたか。 ³⁾												
セックスする前に相手に話していた	7	53.8%	3	9.7%	0	0.0%	0	0.0%	10	17.2%	<0.01	
セックスした後に相手に話した	1	7.7%	0	0.0%	4	44.4%	1	20.0%	6	10.3%		
話していない	5	38.5%	28	90.3%	5	55.6%	4	80.0%	42	72.4%		
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手のHIVステータスを知っていましたか。												
知らない	5	38.5%	21	67.7%	4	44.4%	3	60.0%	33	56.9%	0.28	
知っている	8	61.5%	10	32.3%	5	55.6%	2	40.0%	25	43.1%		
過去6ヶ月間の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁴⁾												
非常用	9	69.2%	17	73.9%	4	57.1%	2	66.7%	32	69.6%	0.87	
常用	4	30.8%	6	26.1%	3	42.9%	1	33.3%	14	30.4%		
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾												
ある	12	92.3%	19	61.3%	6	66.7%	3	60.0%	40	69.0%	0.22	
ない	1	7.7%	12	38.7%	3	33.3%	2	40.0%	18	31.0%		
過去6ヶ月間の恋人や夫など特定男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁵⁾												
非常用	6	50.0%	13	68.4%	3	50.0%	2	66.7%	24	60.0%	0.71	
常用	6	50.0%	6	31.6%	3	50.0%	1	33.3%	16	40.0%		
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定"以外"の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾												
ある	12	92.3%	18	58.1%	6	66.7%	1	20.0%	37	63.8%	0.03	
ない	1	7.7%	13	41.9%	3	33.3%	4	80.0%	21	36.2%		
過去6ヶ月間の特定以外の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁶⁾												
非常用	9	75.0%	13	72.2%	4	66.7%	1	100.0%	27	73.0%	0.91	
常用	3	25.0%	5	27.8%	2	33.3%	0	0.0%	10	27.0%		
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験 ³⁾												
いずれもなし	4	30.8%	25	80.6%	3	33.3%	4	80.0%	36	62.1%	0.01	
バイアグラのみ	3	23.1%	4	12.9%	3	33.3%	0	0.0%	10	17.2%		
薬物併用	6	46.2%	2	6.5%	3	33.3%	1	20.0%	12	20.7%		

3)過去6ヶ月間に男性とセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

4)過去6ヶ月間に男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

5)過去6ヶ月間に特定の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

6)過去6ヶ月間に特定以外の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

表 3-1 (関東) 基本属性

	商業施設利用				商業施設非利用				合計 n=713	Pearson カイ2乗	
	センター利用 n=110		センター非利用 n=236		ネット利用 n=132		ネット非利用 n=235				
現在お住まいの地域にどのくらいの期間住んでいますか。											
1年未満	10	9.1%	11	4.7%	10	7.6%	5	2.1%	36	5.0%	0.08
1-5年未満	16	14.5%	35	14.8%	24	18.2%	36	15.3%	111	15.6%	
5-10年未満	24	21.8%	33	14.0%	23	17.4%	32	13.6%	112	15.7%	
10-20年未満	19	17.3%	51	21.6%	21	15.9%	59	25.1%	150	21.0%	
20年以上	41	37.3%	106	44.9%	54	40.9%	103	43.8%	304	42.6%	
現在、一人暮らしですか。											
はい(1人暮らし)	65	59.1%	103	43.6%	40	30.3%	59	25.1%	267	37.4%	<0.01
いいえ	45	40.9%	133	56.4%	92	69.7%	172	73.2%	442	62.0%	
定住している家はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	1.7%	4	0.6%	
最終学歴											
中学校	2	1.8%	8	3.4%	4	3.0%	9	3.8%	23	3.2%	0.03
高等学校	12	10.9%	55	23.3%	26	19.7%	46	19.6%	139	19.5%	
専門学校/短大/高専	9	8.2%	40	16.9%	17	12.9%	27	11.5%	93	13.0%	
大学/大学院	87	79.1%	133	56.4%	85	64.4%	153	65.1%	458	64.2%	
現在の職業として、最も近いのは次のどれですか。											
常勤(正規雇用)	80	72.7%	139	58.9%	104	78.8%	179	76.2%	502	70.4%	<0.01
常勤(非正規雇用)	5	4.5%	26	11.0%	8	6.1%	8	3.4%	47	6.6%	
パート/アルバイト/フリーランス	15	13.6%	22	9.3%	11	8.3%	20	8.5%	68	9.5%	
経営者/個人事業主	5	4.5%	27	11.4%	5	3.8%	15	6.4%	52	7.3%	
働いていない	5	4.5%	22	9.3%	4	3.0%	13	5.5%	44	6.2%	
現在結婚していますか。											
結婚している	56	50.9%	65	27.5%	70	53.0%	140	59.6%	331	46.4%	<0.01
離別・死別	4	3.6%	15	6.4%	2	1.5%	11	4.7%	32	4.5%	
未婚	50	45.5%	156	66.1%	60	45.5%	84	35.7%	350	49.1%	
これまでに性交渉(セックス)をした相手の性別は次のどれに該当しますか。											
同性のみ	45	40.9%	105	44.5%	49	37.1%	144	61.3%	343	48.1%	<0.01
同性と異性の両方	65	59.1%	131	55.5%	83	62.9%	91	38.7%	370	51.9%	
これまでに性交渉(セックス)をした男性の人数は何人ですか。											
1人	25	22.7%	30	12.7%	35	26.5%	121	51.5%	211	29.6%	<0.01
2人	21	19.1%	18	7.6%	13	9.8%	28	11.9%	80	11.2%	
3人以上	64	58.2%	188	79.7%	84	63.6%	86	36.6%	422	59.2%	
これまでに男性と性交渉(セックス)をした回数は何回ですか。											
1回	18	16.4%	31	13.1%	36	27.3%	121	51.5%	206	28.9%	<0.01
2回	27	24.5%	10	4.2%	15	11.4%	24	10.2%	76	10.7%	
3回以上	65	59.1%	195	82.6%	81	61.4%	90	38.3%	431	60.4%	
自分がゲイであることや男性とセックスすることについて、住んでいる地域のゲイではない友人・知人何人にカミングアウトしましたか。*											
誰にも話していない	8	16.3%	48	20.3%	8	6.1%	7	2.9%	71	10.0%	<0.01
1-2人	20	40.8%	21	9.0%	5	3.8%	2	0.7%	48	6.7%	
3人以上	21	42.9%	32	13.7%	6	4.6%	0	0.0%	59	8.3%	
これまでに相手にお金を払って性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	79	71.8%	110	46.6%	74	56.1%	92	39.1%	355	49.8%	<0.01
ない	31	28.2%	126	53.4%	58	43.9%	143	60.9%	358	50.2%	
これまでに相手からお金をもらって性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	78	70.9%	48	20.3%	25	18.9%	24	10.2%	175	24.5%	<0.01
ない	32	29.1%	188	79.7%	107	81.1%	211	89.8%	538	75.5%	
身近なHIV感染者の有無											
いない・いないと思う	26	23.6%	121	51.3%	75	56.8%	138	58.7%	360	50.5%	<0.01
わからない	8	7.3%	52	22.0%	37	28.0%	81	34.5%	178	25.0%	
いる・いると思う	76	69.1%	63	26.7%	20	15.2%	16	6.8%	175	24.5%	
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームを購入したことがありますか。											
ある	85	77.3%	75	31.8%	45	34.1%	47	20.0%	252	35.3%	<0.01
ない	25	22.7%	161	68.2%	87	65.9%	188	80.0%	461	64.7%	
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームをすぐに使えるようにいつも身近に持っていましたか。											
いつも身近に持っていた	74	67.3%	54	22.9%	44	33.3%	37	15.7%	209	29.3%	<0.01
時々は身近に持っていた	25	22.7%	62	26.3%	35	26.5%	47	20.0%	169	23.7%	
まったく身近にはなかった	11	10.0%	120	50.8%	53	40.2%	151	64.3%	335	47.0%	

*ゲイと回答した人のみ

表 3-2 (関東) 予防啓発活動の浸透度 検査行動

	商業施設利用				商業施設非利用				合計		Pearson カイ2乗
	センター利用 n=110		センター非利用 n=236		ネット利用 n=132		ネット非利用 n=235		n=713		
日本で男性同性愛者対象に予防啓発の取り組みが行われていたり、コンドーム・ローションが無料で配布されていることを知っていますか。											
よく知っている	63	57.3%	45	19.1%	8	6.1%	6	2.6%	122	17.1%	<0.01
少し知っている	34	30.9%	72	30.5%	25	18.9%	32	13.6%	163	22.9%	
あまり知らない	10	9.1%	41	17.4%	29	22.0%	67	28.5%	147	20.6%	
全く知らない	3	2.7%	78	33.1%	70	53.0%	130	55.3%	281	39.4%	
これまでに性感染症にかかったことがありますか。											
ある	67	60.9%	64	27.1%	35	26.5%	34	14.5%	200	28.1%	<0.01
ない	43	39.1%	172	72.9%	97	73.5%	201	85.5%	513	71.9%	
生涯の性感染症既往(内訳の一部掲載)											
梅毒	21	19.1%	12	5.1%	4	3.0%	2	0.9%	39	5.5%	<0.01
A型肝炎	21	19.1%	3	1.3%	1	0.8%	0	0.0%	25	3.5%	<0.01
B型肝炎	15	13.6%	5	2.1%	5	3.8%	1	0.4%	26	3.6%	<0.01
HIV感染症	9	8.2%	10	4.2%	4	3.0%	16	6.8%	39	5.5%	<0.01
PrEPやPEPに関する上記のような情報について、知っていましたか。											
とてもよく知っている	57	51.8%	9	3.8%	13	9.8%	5	2.1%	84	11.8%	<0.01
具体的には知らないが、聞いたことはある	42	38.2%	78	33.1%	19	14.4%	39	16.6%	178	25.0%	
まったく知らなかった	11	10.0%	149	63.1%	100	75.8%	191	81.3%	451	63.3%	
あなたはPrEPをしたいと思いますか。											
服薬したくない	29	26.4%	127	53.8%	70	53.0%	166	70.6%	392	55.0%	<0.01
服薬したい	72	65.5%	99	41.9%	58	43.9%	53	22.6%	282	39.6%	
治療で抗HIV薬の服薬治療を続けている	9	8.2%	10	4.2%	4	3.0%	16	6.8%	39	5.5%	
あなたはPrEPをしたことがありますか。											
ない	39	35.5%	230	97.5%	121	91.7%	224	95.3%	614	86.1%	<0.01
ある	71	64.5%	6	2.5%	11	8.3%	11	4.7%	99	13.9%	
コミュニティセンターakta(東京都新宿区)											
これまでに1度は行ったことがある	77	70.0%	0	0.0%	3	2.3%	4	1.7%	84	11.8%	<0.01
知っているけど行ったことはない	25	22.7%	50	21.2%	12	9.1%	19	8.1%	106	14.9%	
知らない	8	7.3%	186	78.8%	117	88.6%	212	90.2%	523	73.4%	
コミュニティセンターSHIP(神奈川県横浜市)											
これまでに1度は行ったことがある	47	42.7%	0	0.0%	2	1.5%	2	0.9%	51	7.2%	<0.01
知っているけど行ったことはない	33	30.0%	25	10.6%	15	11.4%	14	6.0%	87	12.2%	
知らない	30	27.3%	211	89.4%	115	87.1%	219	93.2%	575	80.6%	
「検出限界以下が6ヶ月間継続していれば、セックスで相手に感染させるリスクは事実上ない(U=U)」を知っていましたか。											
よく知っている	44	40.0%	8	3.4%	8	6.1%	6	2.6%	66	9.3%	<0.01
少し知っている	37	33.6%	42	17.8%	17	12.9%	34	14.5%	130	18.2%	
あまり知らない	15	13.6%	57	24.2%	25	18.9%	63	26.8%	160	22.4%	
全く知らない	14	12.7%	129	54.7%	82	62.1%	132	56.2%	357	50.1%	
これまでに、医療機関(病院、クリニック)で医療職者から、HIV抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。											
ある	67	60.9%	15	6.4%	8	6.1%	8	3.4%	98	13.7%	<0.01
ない	43	39.1%	221	93.6%	124	93.9%	227	96.6%	615	86.3%	
過去1年間に、医療機関(病院、クリニック)で医療職者から、HIV抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。											
ある	61	55.5%	8	3.4%	5	3.8%	7	3.0%	81	11.4%	<0.01
ない	49	44.5%	228	96.6%	127	96.2%	228	97.0%	632	88.6%	
これまでに、HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。											
ある	92	83.6%	105	44.5%	44	33.3%	46	19.6%	287	40.3%	<0.01
ない	18	16.4%	131	55.5%	88	66.7%	189	80.4%	426	59.7%	
これまでに受けた、HIV抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。 ¹⁾											
保健所の即日検査	52	56.5%	36	34.3%	16	36.4%	15	32.6%	119	41.5%	0.01
保健所の夜間検査	38	41.3%	5	4.8%	3	6.8%	4	8.7%	50	17.4%	<0.01
保健所の即日・夜間検査以外	33	35.9%	34	32.4%	11	25.0%	3	6.5%	81	28.2%	<0.01
病院	31	33.7%	23	21.9%	9	20.5%	16	34.8%	79	27.5%	0.13
クリニック・医院・診療所	21	22.8%	19	18.1%	10	22.7%	12	26.1%	62	21.6%	0.70
郵送検査キット	12	13.0%	2	1.9%	2	4.5%	4	8.7%	20	7.0%	0.02
その他	3	3.3%	3	2.9%	0	0.0%	2	4.3%	8	2.8%	0.63
過去1年間に、HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか。											
ある	76	69.1%	30	12.7%	18	13.6%	10	4.3%	134	18.8%	<0.01
ない	34	30.9%	206	87.3%	114	86.4%	225	95.7%	579	81.2%	
過去1年間に受けた、HIV抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。 ²⁾											
保健所の即日検査	41	53.9%	10	33.3%	7	38.9%	4	40.0%	62	46.3%	0.22
保健所の夜間検査	32	42.1%	3	10.0%	2	11.1%	1	10.0%	38	28.4%	<0.01
保健所の即日・夜間検査以外	27	35.5%	8	26.7%	3	16.7%	0	0.0%	38	28.4%	0.07
病院	23	30.3%	7	23.3%	2	11.1%	3	30.0%	35	26.1%	0.40
クリニック・医院・診療所	20	26.3%	5	16.7%	5	27.8%	1	10.0%	31	23.1%	0.51
郵送検査キット	13	17.1%	1	3.3%	2	11.1%	1	10.0%	17	12.7%	0.28
その他	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	0.32

1)これまでにHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

2)過去1年間にHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

表 3-3 (関東) 予防行動

	商業施設利用		商業施設非利用		合計		Pearson カイ2乗				
	センター利用 n=110	センター非利用 n=236	ネット利用 n=132	ネット非利用 n=235	n=713						
あなたは定期的、HIV検査を受けていますか。											
定期的に受けていない	41	37.3%	216	91.5%	122	92.4%	230	97.9%	609	85.4%	<0.01
定期的に受けている	69	62.7%	20	8.5%	10	7.6%	5	2.1%	104	14.6%	
新型コロナウイルス感染症が拡大する前の1年間と比べて、HIV検査を利用する回数や頻度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大後どう変わりましたか。											
減った/利用することができなくなった	41	37.3%	42	17.8%	11	8.3%	27	11.5%	121	17.0%	<0.01
変わらない	54	49.1%	191	80.9%	119	90.2%	198	84.3%	562	78.8%	
増えた	15	13.6%	3	1.3%	2	1.5%	10	4.3%	30	4.2%	
2020年2月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、HIV検査を受けようと思ったのに受けられなかった経験が現在までにありますか。											
HIV感染の可能性はないので、検査を受けようと思ったことはない	46	41.8%	160	67.8%	102	77.3%	180	76.6%	488	68.4%	<0.01
HIV感染の可能性はあるが、検査を受けようと思ったことはない	28	25.5%	40	16.9%	11	8.3%	14	6.0%	93	13.0%	
検査を受けようと思ったが、受けようできなかった	14	12.7%	11	4.7%	7	5.3%	9	3.8%	41	5.8%	
この期間に、検査を受けることができた	22	20.0%	25	10.6%	12	9.1%	32	13.6%	91	12.8%	
あなたは、HIV検査を受けるとしたら、どの検査を選びますか。最も受けたいと思う検査機会を1つ選んでください。											
保健所の即日検査	41	37.3%	98	41.5%	58	43.9%	44	18.7%	241	33.8%	<0.01
保健所の夜間検査	19	17.3%	12	5.1%	5	3.8%	4	1.7%	40	5.6%	
保健所の即日・夜間検査以外の検査	14	12.7%	13	5.5%	10	7.6%	4	1.7%	41	5.8%	
病院での検査	11	10.0%	20	8.5%	11	8.3%	31	13.2%	73	10.2%	
クリニック・医院・診療所での検査	8	7.3%	23	9.7%	12	9.1%	23	9.8%	66	9.3%	
郵送検査	8	7.3%	24	10.2%	17	12.9%	22	9.4%	71	10.0%	
南新宿や大阪にある公的な検査機関での検査	5	4.5%	9	3.8%	3	2.3%	4	1.7%	21	2.9%	
検査を受けたいとは思わない	4	3.6%	37	15.7%	16	12.1%	103	43.8%	160	22.4%	
これまでに出会い系サイト/掲示板/アプリ/Twitterで出会った相手と性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	90	81.8%	162	68.6%	132	100.0%	0	0.0%	384	53.9%	
ない	20	18.2%	74	31.4%	0	0.0%	235	100.0%	329	46.1%	
過去6ヶ月間に、男性とセックスをしたことがありますか。											
ある	82	74.5%	94	39.8%	49	37.1%	12	5.1%	237	33.2%	<0.01
ない	28	25.5%	142	60.2%	83	62.9%	223	94.9%	476	66.8%	
過去6ヶ月間に、男性とアナルセックスをしたことがありますか。											
ある	69	62.7%	68	28.8%	27	20.5%	6	2.6%	170	23.8%	<0.01
ない	41	37.3%	168	71.2%	105	79.5%	229	97.4%	543	76.2%	
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手にあなた自身のHIVステータスを話しましたか。 ³⁾											
セックスする前に相手に話していた	16	19.5%	78	83.0%	41	83.7%	11	91.7%	146	61.6%	<0.01
セックスした後に相手に話した	19	23.2%	2	2.1%	4	8.2%	1	8.3%	26	11.0%	
話していない	47	57.3%	14	14.9%	4	8.2%	0	0.0%	65	27.4%	
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手のHIVステータスを知っていましたか。											
知らない	20	24.4%	60	63.8%	35	71.4%	11	91.7%	126	53.2%	<0.01
知っている	62	75.6%	34	36.2%	14	28.6%	1	8.3%	111	46.8%	
過去6ヶ月間の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁴⁾											
非常用	43	62.3%	41	60.3%	16	59.3%	2	33.3%	102	60.0%	0.58
常用	26	37.7%	27	39.7%	11	40.7%	4	66.7%	68	40.0%	
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾											
ある	65	79.3%	58	61.7%	19	38.8%	6	50.0%	148	62.4%	<0.01
ない	17	20.7%	36	38.3%	30	61.2%	6	50.0%	89	37.6%	
過去6ヶ月間の恋人や夫など特定男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁵⁾											
非常用	35	53.8%	36	62.1%	12	63.2%	2	33.3%	85	57.4%	0.47
常用	30	46.2%	22	37.9%	7	36.8%	4	66.7%	63	42.6%	
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定"以外"の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾											
ある	65	79.3%	50	53.2%	23	46.9%	1	8.3%	139	58.6%	<0.01
ない	17	20.7%	44	46.8%	26	53.1%	11	91.7%	98	41.4%	
過去6ヶ月間の特定以外の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁶⁾											
非常用	36	55.4%	26	52.0%	11	47.8%	0	0.0%	73	52.5%	0.68
常用	29	44.6%	24	48.0%	12	52.2%	1	100.0%	66	47.5%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験 ³⁾											
いずれもなし	30	36.6%	83	88.3%	40	81.6%	9	75.0%	162	68.4%	<0.01
バイアグラのみ	16	19.5%	5	5.3%	7	14.3%	1	8.3%	29	12.2%	
薬物併用	36	43.9%	6	6.4%	2	4.1%	2	16.7%	46	19.4%	

3)過去6ヶ月間に男性とセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

4)過去6ヶ月間に男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

5)過去6ヶ月間に特定の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

6)過去6ヶ月間に特定以外の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

表 4-1 (東海) 基本属性

	商業施設利用				商業施設非利用				合計 n=240	Pearson カイ2乗	
	センター利用 n=33		センター非利用 n=66		ネット利用 n=48		ネット非利用 n=93				
現在お住まいの地域にどのくらいの期間住んでいますか。											
1年未満	3	9.1%	1	1.5%	2	4.2%	0	0.0%	6	2.5%	0.30
1-5年未満	3	9.1%	8	12.1%	8	16.7%	8	8.6%	27	11.3%	
5-10年未満	6	18.2%	10	15.2%	4	8.3%	13	14.0%	33	13.8%	
10-20年未満	7	21.2%	13	19.7%	11	22.9%	18	19.4%	49	20.4%	
20年以上	14	42.4%	34	51.5%	23	47.9%	54	58.1%	125	52.1%	
現在、一人暮らしですか。											
はい(1人暮らし)	17	51.5%	23	34.8%	16	33.3%	16	17.2%	72	30.0%	<0.01
いいえ	14	42.4%	43	65.2%	32	66.7%	75	80.6%	164	68.3%	
定住している家はない	2	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.2%	4	1.7%	
最終学歴											
中学校	0	0.0%	6	9.1%	0	0.0%	4	4.3%	10	4.2%	0.03
高等学校	4	12.1%	14	21.2%	18	37.5%	15	16.1%	51	21.3%	
専門学校/短大/高専	5	15.2%	9	13.6%	5	10.4%	12	12.9%	31	12.9%	
大学/大学院	24	72.7%	37	56.1%	25	52.1%	62	66.7%	148	61.7%	
現在の職業として、最も近いのは次のどれですか。											
常勤(正規雇用)	22	66.7%	48	72.7%	31	64.6%	74	79.6%	175	72.9%	0.39
常勤(非正規雇用)	3	9.1%	2	3.0%	2	4.2%	3	3.2%	10	4.2%	
パート/アルバイト/フリーランス	5	15.2%	3	4.5%	4	8.3%	7	7.5%	19	7.9%	
経営者/個人事業主	2	6.1%	7	10.6%	5	10.4%	5	5.4%	19	7.9%	
働いていない	1	3.0%	6	9.1%	6	12.5%	4	4.3%	17	7.1%	
現在結婚していますか。											
結婚している	18	54.5%	25	37.9%	26	54.2%	62	66.7%	131	54.6%	0.02
離別・死別	0	0.0%	2	3.0%	2	4.2%	3	3.2%	7	2.9%	
未婚	15	45.5%	39	59.1%	20	41.7%	28	30.1%	102	42.5%	
これまでに性交渉(セックス)をした相手の性別は次のどれに該当しますか。											
同性のみ	17	51.5%	27	40.9%	21	43.8%	67	72.0%	132	55.0%	<0.01
同性と異性の両方	16	48.5%	39	59.1%	27	56.3%	26	28.0%	108	45.0%	
これまでに性交渉(セックス)をした男性の人数は何人ですか。											
1人	8	24.2%	8	12.1%	17	35.4%	50	53.8%	83	34.6%	<0.01
2人	8	24.2%	2	3.0%	8	16.7%	12	12.9%	30	12.5%	
3人以上	17	51.5%	56	84.8%	23	47.9%	31	33.3%	127	52.9%	
これまでに男性と性交渉(セックス)をした回数は何回ですか。											
1回	7	21.2%	10	15.2%	18	37.5%	50	53.8%	85	35.4%	<0.01
2回	7	21.2%	1	1.5%	7	14.6%	5	5.4%	20	8.3%	
3回以上	19	57.6%	55	83.3%	23	47.9%	38	40.9%	135	56.3%	
自分がゲイであることや男性とセックスすることについて、住んでいる地域のゲイではない友人・知人何人にカミングアウトしましたか。*											
誰にも話していない	2	25.0%	16	57.1%	5	71.4%	0	0.0%	23	50.0%	0.01
1-2人	1	12.5%	6	21.4%	0	0.0%	3	100.0%	10	21.7%	
3人以上	5	62.5%	6	21.4%	2	28.6%	0	0.0%	13	28.3%	
これまでに相手にお金を払って性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	24	72.7%	30	45.5%	21	43.8%	33	35.5%	108	45.0%	<0.01
ない	9	27.3%	36	54.5%	27	56.3%	60	64.5%	132	55.0%	
これまでに相手からお金をもらって性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	23	69.7%	16	24.2%	6	12.5%	9	9.7%	54	22.5%	<0.01
ない	10	30.3%	50	75.8%	42	87.5%	84	90.3%	186	77.5%	
身近なHIV感染者の有無											
いない・いないと思う	7	21.2%	33	50.0%	29	60.4%	62	66.7%	131	54.6%	<0.01
わからない	3	9.1%	13	19.7%	18	37.5%	25	26.9%	59	24.6%	
いる・いると思う	23	69.7%	20	30.3%	1	2.1%	6	6.5%	50	20.8%	
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームを購入したことがありますか。											
ある	25	75.8%	23	34.8%	14	29.2%	22	23.7%	84	35.0%	<0.01
ない	8	24.2%	43	65.2%	34	70.8%	71	76.3%	156	65.0%	
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームをすぐに使えるようにいつも身近に持っていましたか。											
いつも身近に持っていた	24	72.7%	17	25.8%	13	27.1%	15	16.1%	69	28.8%	<0.01
時々は身近に持っていた	7	21.2%	18	27.3%	12	25.0%	18	19.4%	55	22.9%	
まったく身近にはなかった	2	6.1%	31	47.0%	23	47.9%	60	64.5%	116	48.3%	

*ゲイと回答した人のみ

表 4-2 (東海) 予防啓発活動の浸透度 検査行動

	商業施設利用				商業施設非利用				合計 n=240	Pearson カイ2乗	
	センター利用 n=33		センター非利用 n=66		ネット利用 n=48		ネット非利用 n=93				
日本で男性同性愛者対象に予防啓発の取り組みが行われていたり、コンドーム・ローションが無料で配布されていることを知っていますか。											
よく知っている	17	51.5%	9	13.6%	0	0.0%	2	2.2%	28	11.7%	<0.01
少し知っている	13	39.4%	28	42.4%	7	14.6%	11	11.8%	59	24.6%	
あまり知らない	2	6.1%	18	27.3%	15	31.3%	17	18.3%	52	21.7%	
全く知らない	1	3.0%	11	16.7%	26	54.2%	63	67.7%	101	42.1%	
これまでに性感染症にかかったことがありますか。											
ある	20	60.6%	27	40.9%	6	12.5%	5	5.4%	58	24.2%	<0.01
ない	13	39.4%	39	59.1%	42	87.5%	88	94.6%	182	75.8%	
生涯の性感染症既往(内訳の一部掲載)											
梅毒	3	9.1%	11	16.7%	1	2.1%	0	0.0%	15	6.3%	<0.01
A型肝炎	4	12.1%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.1%	<0.01
B型肝炎	5	15.2%	7	10.6%	0	0.0%	0	0.0%	12	5.0%	<0.01
HIV感染症	1	3.0%	3	4.5%	1	2.1%	2	2.2%	7	2.9%	<0.01
PrEPやPEPに関する上記のような情報について、知っていましたか。											
とてもよく知っている	17	51.5%	4	6.1%	0	0.0%	1	1.1%	22	9.2%	<0.01
具体的には知らないが、聞いたことはある	13	39.4%	19	28.8%	9	18.8%	12	12.9%	53	22.1%	
まったく知らなかった	3	9.1%	43	65.2%	39	81.3%	80	86.0%	165	68.8%	
あなたはPrEPをしたいと思いますか。											
服薬したくない	10	30.3%	34	51.5%	35	72.9%	77	82.8%	156	65.0%	<0.01
服薬したい	22	66.7%	29	43.9%	12	25.0%	14	15.1%	77	32.1%	
治療で抗HIV薬の服薬治療を続けている	1	3.0%	3	4.5%	1	2.1%	2	2.2%	7	2.9%	
あなたはPrEPをしたことがありますか。											
ない	11	33.3%	63	95.5%	46	95.8%	90	96.8%	210	87.5%	<0.01
ある	22	66.7%	3	4.5%	2	4.2%	3	3.2%	30	12.5%	
コミュニティセンター(愛知県名古屋市)											
これまでに1度は行ったことがある	23	69.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	24	10.0%	<0.01
知っているけど行ったことはない	6	18.2%	13	19.7%	6	12.5%	2	2.2%	27	11.3%	
知らない	4	12.1%	53	80.3%	42	87.5%	90	96.8%	189	78.8%	
「検出限界以下が6ヶ月間継続していれば、セックスで相手に感染させるリスクは事実上ない(U=U)」を知っていましたか。											
よく知っている	14	42.4%	4	6.1%	1	2.1%	1	1.1%	20	8.3%	<0.01
少し知っている	10	30.3%	10	15.2%	2	4.2%	7	7.5%	29	12.1%	
あまり知らない	6	18.2%	16	24.2%	14	29.2%	25	26.9%	61	25.4%	
全く知らない	3	9.1%	36	54.5%	31	64.6%	60	64.5%	130	54.2%	
これまでに、医療機関(病院、クリニック)で医療職者から、HIV抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。											
ある	19	57.6%	9	13.6%	2	4.2%	3	3.2%	33	13.8%	<0.01
ない	14	42.4%	57	86.4%	46	95.8%	90	96.8%	207	86.3%	
過去1年間に、医療機関(病院、クリニック)で医療職者から、HIV抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。											
ある	16	48.5%	3	4.5%	1	2.1%	1	1.1%	21	8.8%	<0.01
ない	17	51.5%	63	95.5%	47	97.9%	92	98.9%	219	91.3%	
これまでに、HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。											
ある	26	78.8%	29	43.9%	10	20.8%	11	11.8%	76	31.7%	<0.01
ない	7	21.2%	37	56.1%	38	79.2%	82	88.2%	164	68.3%	
これまでに受けた、HIV抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。 ¹⁾											
保健所の即日検査	17	65.4%	13	44.8%	5	50.0%	3	27.3%	38	50.0%	0.17
保健所の夜間検査	7	26.9%	2	6.9%	0	0.0%	0	0.0%	9	11.8%	0.03
保健所の即日・夜間検査以外	12	46.2%	7	24.1%	1	10.0%	2	18.2%	22	28.9%	0.09
病院	6	23.1%	8	27.6%	2	20.0%	5	45.5%	21	27.6%	0.51
クリニック・医院・診療所	8	30.8%	3	10.3%	1	10.0%	1	9.1%	13	17.1%	0.16
郵送検査キット	5	19.2%	1	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	6	7.9%	0.07
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	1	1.3%	0.08
過去1年間に、HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。											
ある	22	66.7%	10	15.2%	3	6.3%	0	0.0%	35	14.6%	<0.01
ない	11	33.3%	56	84.8%	45	93.8%	93	100.0%	205	85.4%	
過去1年間に受けた、HIV抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。 ²⁾											
保健所の即日検査	14	63.6%	5	50.0%	1	33.3%	0	0.0%	20	57.1%	0.53
保健所の夜間検査	12	54.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	34.3%	<0.01
保健所の即日・夜間検査以外	8	36.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	22.9%	0.05
病院	8	36.4%	5	50.0%	1	33.3%	0	0.0%	14	40.0%	0.74
クリニック・医院・診療所	7	31.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	20.0%	0.08
郵送検査キット	3	13.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	8.6%	0.38
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	2.9%	<0.01

1)これまでにHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

2)過去1年間にHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

表 4-3 (東海) 予防行動

	商業施設利用		商業施設非利用		合計		Pearson カイ2乗				
	センター利用 n=33	センター非利用 n=66	ネット利用 n=48	ネット非利用 n=93	n=240						
あなたは定期的、HIV検査を受けていますか。											
定期的に受けていない	18	54.5%	60	90.9%	46	95.8%	92	98.9%	216	90.0%	<0.01
定期的に受けている	15	45.5%	6	9.1%	2	4.2%	1	1.1%	24	10.0%	
新型コロナ感染症が拡大する前の1年間と比べて、HIV検査を利用する回数や頻度は、新型コロナ感染症の感染拡大後どう変わりましたか。											
減った/利用することができなくなった	13	39.4%	15	22.7%	7	14.6%	7	7.5%	42	17.5%	<0.01
変わらない	16	48.5%	49	74.2%	38	79.2%	81	87.1%	184	76.7%	
増えた	4	12.1%	2	3.0%	3	6.3%	5	5.4%	14	5.8%	
2020年2月からの新型コロナ感染症の感染拡大以降、HIV検査を受けようと思ったのに受けられなかった経験が現在までにありますか。											
HIV感染の可能性はないので、検査を受けようと思ったことはない	13	39.4%	49	74.2%	36	75.0%	74	79.6%	172	71.7%	<0.01
HIV感染の可能性はあるが、検査を受けようと思ったことはない	11	33.3%	4	6.1%	3	6.3%	4	4.3%	22	9.2%	
検査を受けようと思ったが、受けようできなかった	4	12.1%	6	9.1%	3	6.3%	7	7.5%	20	8.3%	
この期間に、検査を受けることができた	5	15.2%	7	10.6%	6	12.5%	8	8.6%	26	10.8%	
あなたは、HIV検査を受けるとしたら、どの検査を選びますか。最も受けたいと思う検査機会を1つ選んでください。											
保健所の即日検査	15	45.5%	30	45.5%	18	37.5%	28	30.1%	91	37.9%	<0.01
保健所の夜間検査	6	18.2%	4	6.1%	0	0.0%	6	6.5%	16	6.7%	
保健所の即日・夜間検査以外の検査	5	15.2%	2	3.0%	2	4.2%	2	2.2%	11	4.6%	
病院での検査	1	3.0%	12	18.2%	6	12.5%	7	7.5%	26	10.8%	
クリニック・医院・診療所での検査	4	12.1%	5	7.6%	6	12.5%	7	7.5%	22	9.2%	
郵送検査	2	6.1%	7	10.6%	7	14.6%	8	8.6%	24	10.0%	
南新宿や大阪にある公的な検査機関での検査	0	0.0%	1	1.5%	1	2.1%	0	0.0%	2	0.8%	
検査を受けたいとは思わない	0	0.0%	5	7.6%	8	16.7%	35	37.6%	48	20.0%	
これまでに出会い系サイト/掲示板/アプリ/Twitterで出会った相手と性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	29	87.9%	49	74.2%	48	100.0%	0	0.0%	126	52.5%	
ない	4	12.1%	17	25.8%	0	0.0%	93	100.0%	114	47.5%	
過去6ヶ月間に、男性とセックスをしたことがありますか。											
ある	24	72.7%	31	47.0%	12	25.0%	2	2.2%	69	28.8%	<0.01
ない	9	27.3%	35	53.0%	36	75.0%	91	97.8%	171	71.3%	
過去6ヶ月間に、男性とアナルセックスをしたことがありますか。											
ある	21	63.6%	25	37.9%	8	16.7%	0	0.0%	54	22.5%	<0.01
ない	12	36.4%	41	62.1%	40	83.3%	93	100.0%	186	77.5%	
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手にあなた自身のHIVステータスを話しましたか。 ³⁾											
セックスする前に相手に話していた	6	25.0%	28	90.3%	11	91.7%	2	100.0%	47	68.1%	<0.01
セックスした後に相手に話した	6	25.0%	2	6.5%	0	0.0%	0	0.0%	8	11.6%	
話していない	12	50.0%	1	3.2%	1	8.3%	0	0.0%	14	20.3%	
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手のHIVステータスを知っていましたか。 ³⁾											
知らない	5	20.8%	27	87.1%	9	75.0%	2	100.0%	43	62.3%	<0.01
知っている	19	79.2%	4	12.9%	3	25.0%	0	0.0%	26	37.7%	
過去6ヶ月間の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁴⁾											
非常用	12	57.1%	21	84.0%	3	37.5%	0	0.0%	36	66.7%	0.03
常用	9	42.9%	4	16.0%	5	62.5%	0	0.0%	18	33.3%	
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾											
ある	17	70.8%	20	64.5%	6	50.0%	0	0.0%	43	62.3%	0.18
ない	7	29.2%	11	35.5%	6	50.0%	2	100.0%	26	37.7%	
過去6ヶ月間の恋人や夫など特定男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁵⁾											
非常用	8	47.1%	17	85.0%	2	33.3%	0	0.0%	27	62.8%	0.02
常用	9	52.9%	3	15.0%	4	66.7%	0	0.0%	16	37.2%	
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定"以外"の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾											
ある	19	79.2%	20	64.5%	7	58.3%	0	0.0%	46	66.7%	0.11
ない	5	20.8%	11	35.5%	5	41.7%	2	100.0%	23	33.3%	
過去6ヶ月間の特定以外の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁶⁾											
非常用	8	42.1%	15	75.0%	2	28.6%	0	0.0%	25	54.3%	0.04
常用	11	57.9%	5	25.0%	5	71.4%	0	0.0%	21	45.7%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験 ³⁾											
いずれもなし	8	33.3%	26	83.9%	12	100.0%	2	100.0%	48	69.6%	<0.01
バイアグラのみ	4	16.7%	3	9.7%	0	0.0%	0	0.0%	7	10.1%	
薬物併用	12	50.0%	2	6.5%	0	0.0%	0	0.0%	14	20.3%	

3)過去6ヶ月間に男性とセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

4)過去6ヶ月間に男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

5)過去6ヶ月間に特定の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

6)過去6ヶ月間に特定以外の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

表 5-1 (近畿) 基本属性

	商業施設利用				商業施設非利用				合計 n=308	Pearson カイ2乗	
	センター利用 n=40		センター非利用 n=104		ネット利用 n=61		ネット非利用 n=103				
現在お住まいの地域にどのくらいの期間住んでいますか。											
1年未満	5	12.5%	3	2.9%	6	9.8%	5	4.9%	19	6.2%	0.31
1-5年未満	6	15.0%	15	14.4%	9	14.8%	12	11.7%	42	13.6%	
5-10年未満	8	20.0%	9	8.7%	7	11.5%	9	8.7%	33	10.7%	
10-20年未満	6	15.0%	17	16.3%	11	18.0%	19	18.4%	53	17.2%	
20年以上	15	37.5%	60	57.7%	28	45.9%	58	56.3%	161	52.3%	
現在、一人暮らしですか。											
はい(1人暮らし)	19	47.5%	31	29.8%	17	27.9%	22	21.4%	89	28.9%	<0.01
いいえ	18	45.0%	73	70.2%	43	70.5%	79	76.7%	213	69.2%	
定住している家はない	3	7.5%	0	0.0%	1	1.6%	2	1.9%	6	1.9%	
最終学歴											
中学校	2	5.0%	3	2.9%	4	6.6%	0	0.0%	9	2.9%	0.13
高等学校	8	20.0%	25	24.0%	17	27.9%	31	30.1%	81	26.3%	
専門学校/短大/高専	4	10.0%	18	17.3%	3	4.9%	16	15.5%	41	13.3%	
大学/大学院	26	65.0%	58	55.8%	37	60.7%	56	54.4%	177	57.5%	
現在の職業として、最も近いのは次のどれですか。											
常勤(正規雇用)	25	62.5%	67	64.4%	42	68.9%	77	74.8%	211	68.5%	0.79
常勤(非正規雇用)	3	7.5%	6	5.8%	6	9.8%	6	5.8%	21	6.8%	
パート/アルバイト/フリーランス	5	12.5%	11	10.6%	3	4.9%	6	5.8%	25	8.1%	
経営者/個人事業主	5	12.5%	9	8.7%	5	8.2%	7	6.8%	26	8.4%	
働いていない	2	5.0%	11	10.6%	5	8.2%	7	6.8%	25	8.1%	
現在結婚していますか。											
結婚している	20	50.0%	42	40.4%	27	44.3%	61	59.2%	150	48.7%	0.17
離別・死別	3	7.5%	6	5.8%	4	6.6%	7	6.8%	20	6.5%	
未婚	17	42.5%	56	53.8%	30	49.2%	35	34.0%	138	44.8%	
これまでに性交渉(セックス)をした相手の性別は次のどれに該当しますか。											
同性のみ	20	50.0%	36	34.6%	29	47.5%	72	69.9%	157	51.0%	<0.01
同性と異性の両方	20	50.0%	68	65.4%	32	52.5%	31	30.1%	151	49.0%	
これまでに性交渉(セックス)をした男性の人数は何人ですか。											
1人	12	30.0%	19	18.3%	12	19.7%	43	41.7%	86	27.9%	<0.01
2人	9	22.5%	9	8.7%	12	19.7%	9	8.7%	39	12.7%	
3人以上	19	47.5%	76	73.1%	37	60.7%	51	49.5%	183	59.4%	
これまでに男性と性交渉(セックス)をした回数は何回ですか。											
1回	7	17.5%	11	10.6%	19	31.1%	54	52.4%	91	29.5%	<0.01
2回	9	22.5%	5	4.8%	9	14.8%	9	8.7%	32	10.4%	
3回以上	24	60.0%	88	84.6%	33	54.1%	40	38.8%	185	60.1%	
自分がゲイであることや男性とセックスすることについて、住んでいる地域のゲイではない友人・知人何人にカミングアウトしましたか。*											
誰にも話していない	0	0.0%	21	63.6%	5	71.4%	0	0.0%	26	45.6%	<0.01
1-2人	3	17.6%	2	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	5	8.8%	
3人以上	14	82.4%	10	30.3%	2	28.6%	0	0.0%	26	45.6%	
これまでに相手にお金を払って性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	30	75.0%	48	46.2%	36	59.0%	42	40.8%	156	50.6%	<0.01
ない	10	25.0%	56	53.8%	25	41.0%	61	59.2%	152	49.4%	
これまでに相手からお金をもらって性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	25	62.5%	20	19.2%	10	16.4%	10	9.7%	65	21.1%	<0.01
ない	15	37.5%	84	80.8%	51	83.6%	93	90.3%	243	78.9%	
身近なHIV感染者の有無											
いない・いないと思う	6	15.0%	52	50.0%	40	65.6%	62	60.2%	160	51.9%	<0.01
わからない	4	10.0%	26	25.0%	14	23.0%	33	32.0%	77	25.0%	
いる・いると思う	30	75.0%	26	25.0%	7	11.5%	8	7.8%	71	23.1%	
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームを購入したことがありますか。											
ある	29	72.5%	31	29.8%	23	37.7%	26	25.2%	109	35.4%	<0.01
ない	11	27.5%	73	70.2%	38	62.3%	77	74.8%	199	64.6%	
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームをすぐに使えるようにいつも身近に持っていましたか。											
いつも身近に持っていた	21	52.5%	27	26.0%	20	32.8%	16	15.5%	84	27.3%	<0.01
時々は身近に持っていた	11	27.5%	27	26.0%	18	29.5%	16	15.5%	72	23.4%	
まったく身近にはなかった	8	20.0%	50	48.1%	23	37.7%	71	68.9%	152	49.4%	

*ゲイと回答した人のみ

表 5-2 (近畿) 予防啓発活動の浸透度 検査行動

	商業施設利用				商業施設非利用				合計 n=308	Pearson カイ2乗	
	センター利用 n=40		センター非利用 n=104		ネット利用 n=61		ネット非利用 n=103				
日本で男性同性愛者対象に予防啓発の取り組みが行われていたり、コンドーム・ローションが無料で配布されていることを知っていますか。											
よく知っている	13	32.5%	14	13.5%	3	4.9%	0	0.0%	30	9.7%	<0.01
少し知っている	22	55.0%	38	36.5%	14	23.0%	13	12.6%	87	28.2%	
あまり知らない	4	10.0%	25	24.0%	18	29.5%	24	23.3%	71	23.1%	
全く知らない	1	2.5%	27	26.0%	26	42.6%	66	64.1%	120	39.0%	
これまでに性感染症にかかったことがありますか。											
ある	28	70.0%	22	21.2%	10	16.4%	17	16.5%	77	25.0%	<0.01
ない	12	30.0%	82	78.8%	51	83.6%	86	83.5%	231	75.0%	
生涯の性感染症既往(内訳の一部掲載)											
梅毒	9	22.5%	4	3.8%	1	1.6%	0	0.0%	14	4.5%	<0.01
A型肝炎	11	27.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	3.6%	<0.01
B型肝炎	9	22.5%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	3.2%	<0.01
HIV感染症	8	20.0%	3	2.9%	3	4.9%	11	10.7%	25	8.1%	<0.01
PrEPやPEPに関する上記のような情報について、知っていましたか。											
とてもよく知っている	20	50.0%	4	3.8%	1	1.6%	3	2.9%	28	9.1%	<0.01
具体的には知らないが、聞いたことはある	15	37.5%	31	29.8%	15	24.6%	20	19.4%	81	26.3%	
まったく知らなかった	5	12.5%	69	66.3%	45	73.8%	80	77.7%	199	64.6%	
あなたはPrEPをしたいと思いますか。											
服薬したくない	10	25.0%	53	51.0%	33	54.1%	72	69.9%	168	54.5%	<0.01
服薬したい	22	55.0%	48	46.2%	25	41.0%	20	19.4%	115	37.3%	
治療で抗HIV薬の服薬治療を続けている	8	20.0%	3	2.9%	3	4.9%	11	10.7%	25	8.1%	
あなたはPrEPをしたことがありますか。											
ない	15	37.5%	102	98.1%	60	98.4%	99	96.1%	276	89.6%	<0.01
ある	25	62.5%	2	1.9%	1	1.6%	4	3.9%	32	10.4%	
コミュニティセンターdista(大阪府大阪市)											
これまでに1度は行ったことがある	23	57.5%	0	0.0%	2	3.3%	1	1.0%	26	8.4%	<0.01
知っているけど行ったことはない	13	32.5%	20	19.2%	6	9.8%	7	6.8%	46	14.9%	
知らない	4	10.0%	84	80.8%	53	86.9%	95	92.2%	236	76.6%	
「検出限界以下が6ヶ月間継続していれば、セックスで相手に感染させるリスクは事実上ない(U=U)」を知っていましたか。											
よく知っている	17	42.5%	6	5.8%	3	4.9%	1	1.0%	27	8.8%	<0.01
少し知っている	17	42.5%	15	14.4%	8	13.1%	17	16.5%	57	18.5%	
あまり知らない	3	7.5%	30	28.8%	16	26.2%	29	28.2%	78	25.3%	
全く知らない	3	7.5%	53	51.0%	34	55.7%	56	54.4%	146	47.4%	
これまでに、医療機関(病院、クリニック)で医療職者から、HIV抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。											
ある	33	82.5%	8	7.7%	4	6.6%	5	4.9%	50	16.2%	<0.01
ない	7	17.5%	96	92.3%	57	93.4%	98	95.1%	258	83.8%	
過去1年間に、医療機関(病院、クリニック)で医療職者から、HIV抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。											
ある	31	77.5%	5	4.8%	4	6.6%	2	1.9%	42	13.6%	<0.01
ない	9	22.5%	99	95.2%	57	93.4%	101	98.1%	266	86.4%	
これまでに、HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。											
ある	35	87.5%	33	31.7%	16	26.2%	10	9.7%	94	30.5%	<0.01
ない	5	12.5%	71	68.3%	45	73.8%	93	90.3%	214	69.5%	
これまでに受けた、HIV抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。 ¹⁾											
保健所の即日検査	14	40.0%	18	54.5%	6	37.5%	1	10.0%	39	41.5%	0.09
保健所の夜間検査	11	31.4%	2	6.1%	1	6.3%	2	20.0%	16	17.0%	0.03
保健所の即日・夜間検査以外	14	40.0%	7	21.2%	4	25.0%	1	10.0%	26	27.7%	0.17
病院	10	28.6%	10	30.3%	6	37.5%	5	50.0%	31	33.0%	0.60
クリニック・医院・診療所	8	22.9%	4	12.1%	0	0.0%	2	20.0%	14	14.9%	0.17
郵送検査キット	6	17.1%	1	3.0%	1	6.3%	0	0.0%	8	8.5%	0.13
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	1	1.1%	0.04
過去1年間に、HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。											
ある	29	72.5%	9	8.7%	7	11.5%	2	1.9%	47	15.3%	<0.01
ない	11	27.5%	95	91.3%	54	88.5%	101	98.1%	261	84.7%	
過去1年間に受けた、HIV抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。 ²⁾											
保健所の即日検査	13	44.8%	6	66.7%	2	28.6%	0	0.0%	21	44.7%	0.25
保健所の夜間検査	11	37.9%	1	11.1%	1	14.3%	0	0.0%	13	27.7%	0.25
保健所の即日・夜間検査以外	11	37.9%	0	0.0%	1	14.3%	2	100.0%	14	29.8%	0.02
病院	8	27.6%	2	22.2%	3	42.9%	0	0.0%	13	27.7%	0.64
クリニック・医院・診療所	6	20.7%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	7	14.9%	0.49
郵送検査キット	2	6.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.3%	0.73
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

1)これまでにHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

2)過去1年間にHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

表 5-3 (近畿) 予防行動

	商業施設利用		商業施設非利用		商業施設利用		商業施設非利用		合計 n=308	Pearson カイ2乗	
	センター利用 n=40	センター非利用 n=104	ネット利用 n=61	ネット非利用 n=103	センター利用 n=40	センター非利用 n=104	ネット利用 n=61	ネット非利用 n=103			
あなたは定期的、HIV検査を受けていますか。											
定期的に受けていない	20	50.0%	100	96.2%	57	93.4%	99	96.1%	276	89.6%	<0.01
定期的に受けている	20	50.0%	4	3.8%	4	6.6%	4	3.9%	32	10.4%	
新型コロナウイルス感染症が拡大する前の1年間と比べて、HIV検査を利用する回数や頻度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大後どう変わりましたか。											
減った/利用することができなくなった	12	30.0%	16	15.4%	6	9.8%	4	3.9%	38	12.3%	<0.01
変わらない	25	62.5%	88	84.6%	55	90.2%	88	85.4%	256	83.1%	
増えた	3	7.5%	0	0.0%	0	0.0%	11	10.7%	14	4.5%	
2020年2月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、HIV検査を受けようと思ったのに受けられなかった経験が現在までにありますか。											
HIV感染の可能性はないので、検査を受けようと思ったことはない	19	47.5%	76	73.1%	52	85.2%	73	70.9%	220	71.4%	0.01
HIV感染の可能性はあるが、検査を受けようと思ったことはない	10	25.0%	10	9.6%	3	4.9%	9	8.7%	32	10.4%	
検査を受けようと思ったが、受けようできなかった	3	7.5%	5	4.8%	0	0.0%	9	8.7%	17	5.5%	
この期間に、検査を受けることができた	8	20.0%	13	12.5%	6	9.8%	12	11.7%	39	12.7%	
あなたは、HIV検査を受けるとしたら、どの検査を選びますか。最も受けたいと思う検査機会を1つ選んでください。											
保健所の即日検査	11	27.5%	51	49.0%	27	44.3%	22	21.4%	111	36.0%	<0.01
保健所の夜間検査	6	15.0%	8	7.7%	6	9.8%	8	7.8%	28	9.1%	
保健所の即日・夜間検査以外の検査	7	17.5%	3	2.9%	2	3.3%	2	1.9%	14	4.5%	
病院での検査	9	22.5%	8	7.7%	9	14.8%	13	12.6%	39	12.7%	
クリニック・医院・診療所での検査	4	10.0%	5	4.8%	3	4.9%	8	7.8%	20	6.5%	
郵送検査	1	2.5%	7	6.7%	4	6.6%	11	10.7%	23	7.5%	
南新宿や大阪にある公的な検査機関での検査	1	2.5%	4	3.8%	1	1.6%	3	2.9%	9	2.9%	
検査を受けたいとは思わない	1	2.5%	18	17.3%	9	14.8%	36	35.0%	64	20.8%	
これまでに出会い系サイト/掲示板/アプリ/Twitterで出会った相手と性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	33	82.5%	71	68.3%	61	100.0%	0	0.0%	165	53.6%	
ない	7	17.5%	33	31.7%	0	0.0%	103	100.0%	143	46.4%	
過去6ヶ月間に、男性とセックスをしたことがありますか。											
ある	32	80.0%	37	35.6%	14	23.0%	8	7.8%	91	29.5%	<0.01
ない	8	20.0%	67	64.4%	47	77.0%	95	92.2%	217	70.5%	
過去6ヶ月間に、男性とアナルセックスをしたことがありますか。											
ある	25	62.5%	24	23.1%	6	9.8%	7	6.8%	62	20.1%	<0.01
ない	15	37.5%	80	76.9%	55	90.2%	96	93.2%	246	79.9%	
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手にあなた自身のHIVステータスを話しましたか。 ³⁾											
セックスする前に相手に話していた	11	34.4%	34	91.9%	10	71.4%	8	100.0%	63	69.2%	<0.01
セックスした後に相手に話した	6	18.8%	0	0.0%	2	14.3%	0	0.0%	8	8.8%	
話していない	15	46.9%	3	8.1%	2	14.3%	0	0.0%	20	22.0%	
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手のHIVステータスを知っていましたか。											
知らない	8	25.0%	27	73.0%	9	64.3%	4	50.0%	48	52.7%	<0.01
知っている	24	75.0%	10	27.0%	5	35.7%	4	50.0%	43	47.3%	
過去6ヶ月間の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁴⁾											
非常用	16	64.0%	13	54.2%	5	83.3%	0	0.0%	34	54.8%	0.01
常用	9	36.0%	11	45.8%	1	16.7%	7	100.0%	28	45.2%	
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾											
ある	22	68.8%	17	45.9%	4	28.6%	7	87.5%	50	54.9%	0.01
ない	10	31.3%	20	54.1%	10	71.4%	1	12.5%	41	45.1%	
過去6ヶ月間の恋人や夫など特定男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁵⁾											
非常用	13	59.1%	11	64.7%	3	75.0%	0	0.0%	27	54.0%	0.02
常用	9	40.9%	6	35.3%	1	25.0%	7	100.0%	23	46.0%	
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定"以外"の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾											
ある	24	75.0%	17	45.9%	5	35.7%	3	37.5%	49	53.8%	0.02
ない	8	25.0%	20	54.1%	9	64.3%	5	62.5%	42	46.2%	
過去6ヶ月間の特定以外の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁶⁾											
非常用	13	54.2%	8	47.1%	3	60.0%	0	0.0%	24	49.0%	0.33
常用	11	45.8%	9	52.9%	2	40.0%	3	100.0%	25	51.0%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験 ³⁾											
いずれもなし	10	31.3%	27	73.0%	12	85.7%	8	100.0%	57	62.6%	<0.01
バイアグラのみ	4	12.5%	4	10.8%	1	7.1%	0	0.0%	9	9.9%	
薬物併用	18	56.3%	6	16.2%	1	7.1%	0	0.0%	25	27.5%	

3)過去6ヶ月間に男性とセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

4)過去6ヶ月間に男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

5)過去6ヶ月間に特定の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

6)過去6ヶ月間に特定以外の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

表 6-1 (中国・四国) 基本属性

	商業施設利用				商業施設非利用				合計 n=160	Pearson カイ2乗	
	センター利用 n=15		センター非利用 n=53		ネット利用 n=27		ネット非利用 n=65				
現在お住まいの地域にどのくらいの期間住んでいますか。											
1年未満	0	0.0%	3	5.7%	0	0.0%	3	4.6%	6	3.8%	0.09
1-5年未満	2	13.3%	5	9.4%	3	11.1%	5	7.7%	15	9.4%	
5-10年未満	2	13.3%	2	3.8%	7	25.9%	4	6.2%	15	9.4%	
10-20年未満	0	0.0%	12	22.6%	3	11.1%	15	23.1%	30	18.8%	
20年以上	11	73.3%	31	58.5%	14	51.9%	38	58.5%	94	58.8%	
現在、一人暮らしですか。											
はい(1人暮らし)	8	53.3%	20	37.7%	7	25.9%	16	24.6%	51	31.9%	0.11
いいえ	6	40.0%	33	62.3%	20	74.1%	46	70.8%	105	65.6%	
定住している家はない	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.6%	4	2.5%	
最終学歴											
中学校	0	0.0%	1	1.9%	1	3.7%	0	0.0%	2	1.3%	0.25
高等学校	1	6.7%	17	32.1%	8	29.6%	12	18.5%	38	23.8%	
専門学校/短大/高専	4	26.7%	5	9.4%	3	11.1%	7	10.8%	19	11.9%	
大学/大学院	10	66.7%	30	56.6%	15	55.6%	46	70.8%	101	63.1%	
現在の職業として、最も近いのは次のどれですか。											
常勤(正規雇用)	13	86.7%	37	69.8%	16	59.3%	46	70.8%	112	70.0%	0.13
常勤(非正規雇用)	0	0.0%	3	5.7%	5	18.5%	2	3.1%	10	6.3%	
パート/アルバイト/フリーランス	0	0.0%	1	1.9%	3	11.1%	4	6.2%	8	5.0%	
経営者/個人事業主	2	13.3%	4	7.5%	1	3.7%	6	9.2%	13	8.1%	
働いていない	0	0.0%	8	15.1%	2	7.4%	7	10.8%	17	10.6%	
現在結婚していますか。											
結婚している	7	46.7%	19	35.8%	15	55.6%	44	67.7%	85	53.1%	0.01
離別・死別	3	20.0%	4	7.5%	2	7.4%	3	4.6%	12	7.5%	
未婚	5	33.3%	30	56.6%	10	37.0%	18	27.7%	63	39.4%	
これまでに性交渉(セックス)をした相手の性別は次のどれに該当しますか。											
同性のみ	8	53.3%	24	45.3%	13	48.1%	41	63.1%	86	53.8%	0.25
同性と異性の両方	7	46.7%	29	54.7%	14	51.9%	24	36.9%	74	46.3%	
これまでに性交渉(セックス)をした男性の人数は何人ですか。											
1人	4	26.7%	9	17.0%	10	37.0%	31	47.7%	54	33.8%	<0.01
2人	3	20.0%	4	7.5%	2	7.4%	12	18.5%	21	13.1%	
3人以上	8	53.3%	40	75.5%	15	55.6%	22	33.8%	85	53.1%	
これまでに男性と性交渉(セックス)をした回数は何回ですか。											
1回	4	26.7%	8	15.1%	13	48.1%	33	50.8%	58	36.3%	<0.01
2回	4	26.7%	3	5.7%	1	3.7%	8	12.3%	16	10.0%	
3回以上	7	46.7%	42	79.2%	13	48.1%	24	36.9%	86	53.8%	
自分がゲイであることや男性とセックスすることについて、住んでいる地域のゲイではない友人・知人何人にカミングアウトしましたか。*											
誰にも話していない	3	50.0%	14	56.0%	2	66.7%	0	0.0%	19	54.3%	0.63
1-2人	1	16.7%	6	24.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	20.0%	
3人以上	2	33.3%	5	20.0%	1	33.3%	1	100.0%	9	25.7%	
これまでに相手にお金を払って性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	11	73.3%	22	41.5%	19	70.4%	26	40.0%	78	48.8%	0.01
ない	4	26.7%	31	58.5%	8	29.6%	39	60.0%	82	51.3%	
これまでに相手からお金をもらって性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	10	66.7%	6	11.3%	4	14.8%	4	6.2%	24	15.0%	<0.01
ない	5	33.3%	47	88.7%	23	85.2%	61	93.8%	136	85.0%	
身近なHIV感染者の有無											
いない・いないと思う	6	40.0%	25	47.2%	15	55.6%	48	73.8%	94	58.8%	<0.01
わからない	2	13.3%	11	20.8%	9	33.3%	13	20.0%	35	21.9%	
いる・いると思う	7	46.7%	17	32.1%	3	11.1%	4	6.2%	31	19.4%	
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームを購入したことがありますか。											
ある	10	66.7%	16	30.2%	6	22.2%	11	16.9%	43	26.9%	<0.01
ない	5	33.3%	37	69.8%	21	77.8%	54	83.1%	117	73.1%	
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームをすぐに使えるようにいつも身近に持っていましたか。											
いつも身近に持っていた	6	40.0%	17	32.1%	8	29.6%	13	20.0%	44	27.5%	0.12
時々は身近に持っていた	6	40.0%	15	28.3%	7	25.9%	13	20.0%	41	25.6%	
まったく身近にはなかった	3	20.0%	21	39.6%	12	44.4%	39	60.0%	75	46.9%	

*ゲイと回答した人のみ

表 6-2 (中国・四国) 予防啓発活動の浸透度 検査行動

	商業施設利用		商業施設非利用		合計		Pearson カイ2乗				
	センター利用 n=15	センター非利用 n=53	ネット利用 n=27	ネット非利用 n=65	n=160						
日本で男性同性愛者対象に予防啓発の取り組みが行われていたり、コンドーム・ローションが無料で配布されていることを知っていますか。											
よく知っている	6	40.0%	9	17.0%	0	0.0%	0	0.0%	15	9.4%	<0.01
少し知っている	6	40.0%	25	47.2%	4	14.8%	8	12.3%	43	26.9%	
あまり知らない	3	20.0%	8	15.1%	8	29.6%	20	30.8%	39	24.4%	
全く知らない	0	0.0%	11	20.8%	15	55.6%	37	56.9%	63	39.4%	
これまでに性感染症にかかったことがありますか。											
ある	5	33.3%	18	34.0%	8	29.6%	9	13.8%	40	25.0%	0.06
ない	10	66.7%	35	66.0%	19	70.4%	56	86.2%	120	75.0%	
生涯の性感染症既往(内訳の一部掲載)											
梅毒	0	0.0%	2	3.8%	1	3.7%	0	0.0%	3	1.9%	0.16
A型肝炎	2	13.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.3%	<0.01
B型肝炎	0	0.0%	1	1.9%	1	3.7%	0	0.0%	2	1.3%	0.16
HIV感染症	1	6.7%	4	7.5%	1	3.7%	2	3.1%	8	5.0%	0.25
PrEPやPEPに関する上記のような情報について、知っていましたか。											
とてもよく知っている	7	46.7%	5	9.4%	1	3.7%	2	3.1%	15	9.4%	<0.01
具体的には知らないが、聞いたことはある	7	46.7%	17	32.1%	4	14.8%	9	13.8%	37	23.1%	
まったく知らなかった	1	6.7%	31	58.5%	22	81.5%	54	83.1%	108	67.5%	
あなたはPrEPをしたいと思えますか。											
服薬したくない	5	33.3%	23	43.4%	16	59.3%	52	80.0%	96	60.0%	<0.01
服薬したい	9	60.0%	26	49.1%	10	37.0%	11	16.9%	56	35.0%	
治療で抗HIV薬の服薬治療を続けている	1	6.7%	4	7.5%	1	3.7%	2	3.1%	8	5.0%	
あなたはPrEPをしたことがありますか。											
ない	5	33.3%	51	96.2%	26	96.3%	63	96.9%	145	90.6%	<0.01
ある	10	66.7%	2	3.8%	1	3.7%	2	3.1%	15	9.4%	
HaaTえひめ											
知っている	8	53.3%	13	24.5%	0	0.0%	0	0.0%	21	13.1%	<0.01
知らない	7	46.7%	40	75.5%	27	100.0%	65	100.0%	139	86.9%	
BRIDGEプロジェクト											
知っている	5	33.3%	2	3.8%	1	3.7%	1	1.5%	9	5.6%	<0.01
知らない	10	66.7%	51	96.2%	26	96.3%	64	98.5%	151	94.4%	
「検出限界以下が6ヶ月間継続していれば、セックスで相手に感染させるリスクは事実上ない(U=U)」を知っていましたか。											
よく知っている	5	33.3%	6	11.3%	0	0.0%	1	1.5%	12	7.5%	<0.01
少し知っている	6	40.0%	11	20.8%	3	11.1%	7	10.8%	27	16.9%	
あまり知らない	1	6.7%	14	26.4%	10	37.0%	20	30.8%	45	28.1%	
全く知らない	3	20.0%	22	41.5%	14	51.9%	37	56.9%	76	47.5%	
これまでに、医療機関(病院、クリニック)で医療職者から、HIV抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。											
ある	7	46.7%	4	7.5%	2	7.4%	2	3.1%	15	9.4%	<0.01
ない	8	53.3%	49	92.5%	25	92.6%	63	96.9%	145	90.6%	
過去1年間に、医療機関(病院、クリニック)で医療職者から、HIV抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。											
ある	5	33.3%	4	7.5%	2	7.4%	1	1.5%	12	7.5%	<0.01
ない	10	66.7%	49	92.5%	25	92.6%	64	98.5%	148	92.5%	
これまでに、HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。											
ある	13	86.7%	23	43.4%	10	37.0%	9	13.8%	55	34.4%	<0.01
ない	2	13.3%	30	56.6%	17	63.0%	56	86.2%	105	65.6%	
これまでに受けた、HIV抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。 ¹⁾											
保健所の即日検査	5	38.5%	8	34.8%	4	40.0%	6	66.7%	23	41.8%	0.42
保健所の夜間検査	2	15.4%	3	13.0%	1	10.0%	0	0.0%	6	10.9%	0.69
保健所の即日・夜間検査以外	2	15.4%	4	17.4%	1	10.0%	0	0.0%	7	12.7%	0.59
病院	4	30.8%	5	21.7%	3	30.0%	1	11.1%	13	23.6%	0.70
クリニック・医院・診療所	1	7.7%	5	21.7%	1	10.0%	2	22.2%	9	16.4%	0.63
郵送検査キット	1	7.7%	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.6%	0.71
その他	0	0.0%	1	4.3%	1	10.0%	0	0.0%	2	3.6%	0.57
過去1年間に、HIV抗体検査(エイズ検査)を?											
ある	9	60.0%	8	15.1%	2	7.4%	1	1.5%	20	12.5%	<0.01
ない	6	40.0%	45	84.9%	25	92.6%	64	98.5%	140	87.5%	
過去1年間に受けた、HIV抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。 ²⁾											
保健所の即日検査	5	55.6%	4	50.0%	1	50.0%	1	100.0%	11	55.0%	0.82
保健所の夜間検査	2	22.2%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	3	15.0%	0.27
保健所の即日・夜間検査以外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
病院	3	33.3%	1	12.5%	1	50.0%	0	0.0%	5	25.0%	0.57
クリニック・医院・診療所	0	0.0%	3	37.5%	0	0.0%	0	0.0%	3	15.0%	0.15
郵送検査キット	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%	0.73
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

1)これまでにHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

2)過去1年間にHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

表 6-3 (中国・四国) 予防行動

	商業施設利用		商業施設非利用		合計		Pearson カイ2乗				
	センター利用 n=15	センター非利用 n=53	ネット利用 n=27	ネット非利用 n=65	n=160						
あなたは定期的、HIV検査を受けていますか。											
定期的に受けていない	8	53.3%	48	90.6%	25	92.6%	63	96.9%	144	90.0%	<0.01
定期的に受けている	7	46.7%	5	9.4%	2	7.4%	2	3.1%	16	10.0%	
新型コロナウイルス感染症が拡大する前の1年間と比べて、HIV検査を利用する回数や頻度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大後どう変わりましたか。											
減った/利用することができなくなった	3	20.0%	8	15.1%	3	11.1%	8	12.3%	22	13.8%	0.45
変わらない	11	73.3%	44	83.0%	20	74.1%	53	81.5%	128	80.0%	
増えた	1	6.7%	1	1.9%	4	14.8%	4	6.2%	10	6.3%	
2020年2月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、HIV検査を受けようと思ったのに受けられなかった経験が現在までにありますか。											
HIV感染の可能性はないので、検査を受けようと思ったことはない	5	33.3%	33	62.3%	21	77.8%	48	73.8%	107	66.9%	0.06
HIV感染の可能性はあるが、検査を受けようと思ったことはない	5	33.3%	8	15.1%	0	0.0%	6	9.2%	19	11.9%	
検査を受けようと思ったが、受けることができなかった	2	13.3%	5	9.4%	3	11.1%	7	10.8%	17	10.6%	
この期間に、検査を受けることができた	3	20.0%	7	13.2%	3	11.1%	4	6.2%	17	10.6%	
あなたは、HIV検査を受けるとしたら、どの検査を選びますか。最も受けたいと思う検査機会を1つ選んでください。											
保健所の即日検査	7	46.7%	24	45.3%	10	37.0%	22	33.8%	63	39.4%	0.06
保健所の夜間検査	1	6.7%	8	15.1%	4	14.8%	1	1.5%	14	8.8%	
保健所の即日・夜間検査以外の検査	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	1	1.5%	2	1.3%	
病院での検査	3	20.0%	4	7.5%	2	7.4%	8	12.3%	17	10.6%	
クリニック・医院・診療所での検査	4	26.7%	6	11.3%	1	3.7%	6	9.2%	17	10.6%	
郵送検査	0	0.0%	6	11.3%	2	7.4%	10	15.4%	18	11.3%	
南新宿や大阪にある公的な検査機関での検査	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	1	1.5%	2	1.3%	
検査を受けたいとは思わない	0	0.0%	3	5.7%	8	29.6%	16	24.6%	27	16.9%	
これまでに出会い系サイト/掲示板/アプリ/Twitterで出会った相手と性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	13	86.7%	38	71.7%	27	100.0%	0	0.0%	78	48.8%	
ない	2	13.3%	15	28.3%	0	0.0%	65	100.0%	82	51.3%	
過去6ヶ月間に、男性とセックスをしたことがありますか。											
ある	8	53.3%	23	43.4%	4	14.8%	5	7.7%	40	25.0%	<0.01
ない	7	46.7%	30	56.6%	23	85.2%	60	92.3%	120	75.0%	
過去6ヶ月間に、男性とアナルセックスをしたことがありますか。											
ある	8	53.3%	20	37.7%	3	11.1%	4	6.2%	35	21.9%	<0.01
ない	7	46.7%	33	62.3%	24	88.9%	61	93.8%	125	78.1%	
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手にあなた自身のHIVステータスを話しましたか。 ³⁾											
セックスする前に相手に話していた	5	62.5%	17	73.9%	3	75.0%	5	100.0%	30	75.0%	0.11
セックスした後に相手に話した	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.0%	
話していない	1	12.5%	6	26.1%	1	25.0%	0	0.0%	8	20.0%	
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手のHIVステータスを知っていましたか。 ³⁾											
知らない	2	25.0%	16	69.6%	3	75.0%	5	100.0%	26	65.0%	0.03
知っている	6	75.0%	7	30.4%	1	25.0%	0	0.0%	14	35.0%	
過去6ヶ月間の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁴⁾											
非常用	6	75.0%	11	55.0%	1	33.3%	3	75.0%	21	60.0%	0.53
常用	2	25.0%	9	45.0%	2	66.7%	1	25.0%	14	40.0%	
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾											
ある	6	75.0%	18	78.3%	3	75.0%	3	60.0%	30	75.0%	0.87
ない	2	25.0%	5	21.7%	1	25.0%	2	40.0%	10	25.0%	
過去6ヶ月間の恋人や夫など特定男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁵⁾											
非常用	4	66.7%	9	50.0%	1	33.3%	2	66.7%	16	53.3%	0.75
常用	2	33.3%	9	50.0%	2	66.7%	1	33.3%	14	46.7%	
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定"以外"の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾											
ある	7	87.5%	13	56.5%	1	25.0%	3	60.0%	24	60.0%	0.20
ない	1	12.5%	10	43.5%	3	75.0%	2	40.0%	16	40.0%	
過去6ヶ月間の特定以外の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁶⁾											
非常用	5	71.4%	9	69.2%	0	0.0%	3	100.0%	17	70.8%	0.30
常用	2	28.6%	4	30.8%	1	100.0%	0	0.0%	7	29.2%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験 ³⁾											
いずれもなし	3	37.5%	12	52.2%	2	50.0%	5	100.0%	22	55.0%	0.12
バイアグラのみ	2	25.0%	9	39.1%	2	50.0%	0	0.0%	13	32.5%	
薬物併用	3	37.5%	2	8.7%	0	0.0%	0	0.0%	5	12.5%	

3)過去6ヶ月間に男性とセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

4)過去6ヶ月間に男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

5)過去6ヶ月間に特定の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

6)過去6ヶ月間に特定以外の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

表 7-1 (九州) 基本属性

	商業施設利用				商業施設非利用				合計		Pearson カイ2乗
	センター利用 n=31		センター非利用 n=95		ネット利用 n=41		ネット非利用 n=81		n=248		
現在お住まいの地域にどのくらいの期間住んでいますか。											
1年未満	4	12.9%	4	4.2%	2	4.9%	3	3.7%	13	5.2%	0.29
1-5年未満	4	12.9%	14	14.7%	4	9.8%	7	8.6%	29	11.7%	
5-10年未満	6	19.4%	7	7.4%	5	12.2%	9	11.1%	27	10.9%	
10-20年未満	3	9.7%	12	12.6%	8	19.5%	19	23.5%	42	16.9%	
20年以上	14	45.2%	58	61.1%	22	53.7%	43	53.1%	137	55.2%	
現在、一人暮らしですか。											
はい(1人暮らし)	19	61.3%	42	44.2%	14	34.1%	20	24.7%	95	38.3%	0.01
いいえ	12	38.7%	53	55.8%	26	63.4%	59	72.8%	150	60.5%	
定住している家はない	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%	2	2.5%	3	1.2%	
最終学歴											
中学校	2	6.5%	1	1.1%	0	0.0%	1	1.2%	4	1.6%	0.09
高等学校	9	29.0%	21	22.1%	8	19.5%	28	34.6%	66	26.6%	
専門学校/短大/高専	6	19.4%	29	30.5%	9	22.0%	12	14.8%	56	22.6%	
大学/大学院	14	45.2%	44	46.3%	24	58.5%	40	49.4%	122	49.2%	
現在の職業として、最も近いのは次のどれですか。											
常勤(正規雇用)	25	80.6%	56	58.9%	32	78.0%	48	59.3%	161	64.9%	0.15
常勤(非正規雇用)	0	0.0%	8	8.4%	1	2.4%	5	6.2%	14	5.6%	
パート/アルバイト/フリーランス	4	12.9%	12	12.6%	3	7.3%	9	11.1%	28	11.3%	
経営者/個人事業主	1	3.2%	6	6.3%	2	4.9%	12	14.8%	21	8.5%	
働いていない	1	3.2%	13	13.7%	3	7.3%	7	8.6%	24	9.7%	
現在結婚していますか。											
結婚している	14	45.2%	29	30.5%	19	46.3%	50	61.7%	112	45.2%	<0.01
離別・死別	4	12.9%	9	9.5%	4	9.8%	3	3.7%	20	8.1%	
未婚	13	41.9%	57	60.0%	18	43.9%	28	34.6%	116	46.8%	
これまでに性交渉(セックス)をした相手の性別は次のどれに該当しますか。											
同性のみ	18	58.1%	39	41.1%	18	43.9%	53	65.4%	128	51.6%	0.01
同性と異性の両方	13	41.9%	56	58.9%	23	56.1%	28	34.6%	120	48.4%	
これまでに性交渉(セックス)をした男性の人数は何人ですか。											
1人	9	29.0%	12	12.6%	17	41.5%	47	58.0%	85	34.3%	<0.01
2人	7	22.6%	6	6.3%	8	19.5%	6	7.4%	27	10.9%	
3人以上	15	48.4%	77	81.1%	16	39.0%	28	34.6%	136	54.8%	
これまでに男性と性交渉(セックス)をした回数は何回ですか。											
1回	7	22.6%	11	11.6%	14	34.1%	48	59.3%	80	32.3%	<0.01
2回	9	29.0%	4	4.2%	5	12.2%	5	6.2%	23	9.3%	
3回以上	15	48.4%	80	84.2%	22	53.7%	28	34.6%	145	58.5%	
自分がゲイであることや男性とセックスすることについて、住んでいる地域のゲイではない友人・知人何人にカミングアウトしましたか。*											
誰にも話していない	1	5.6%	19	42.2%	3	42.9%	1	25.0%	24	32.4%	<0.01
1-2人	11	61.1%	5	11.1%	2	28.6%	2	50.0%	20	27.0%	
3人以上	6	33.3%	21	46.7%	2	28.6%	1	25.0%	30	40.5%	
これまでに相手にお金を払って性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	21	67.7%	41	43.2%	24	58.5%	20	24.7%	106	42.7%	<0.01
ない	10	32.3%	54	56.8%	17	41.5%	61	75.3%	142	57.3%	
これまでに相手からお金をもらって性交渉(セックス)をしたことがありますか。											
ある	17	54.8%	32	33.7%	4	9.8%	5	6.2%	58	23.4%	<0.01
ない	14	45.2%	63	66.3%	37	90.2%	76	93.8%	190	76.6%	
身近なHIV感染者の有無											
いない・いないと思う	7	22.6%	46	48.4%	24	58.5%	59	72.8%	136	54.8%	<0.01
わからない	1	3.2%	23	24.2%	13	31.7%	18	22.2%	55	22.2%	
いる・いると思う	23	74.2%	26	27.4%	4	9.8%	4	4.9%	57	23.0%	
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームを購入したことがありますか。											
ある	23	74.2%	30	31.6%	13	31.7%	15	18.5%	81	32.7%	<0.01
ない	8	25.8%	65	68.4%	28	68.3%	66	81.5%	167	67.3%	
あなたは過去6ヶ月間に、コンドームをすぐ使えるようにいつも身近に持っていましたか。											
いつも身近に持っていた	21	67.7%	32	33.7%	9	22.0%	15	18.5%	77	31.0%	<0.01
時々は身近に持っていた	7	22.6%	24	25.3%	12	29.3%	13	16.0%	56	22.6%	
まったく身近にはなかった	3	9.7%	39	41.1%	20	48.8%	53	65.4%	115	46.4%	

*ゲイと回答した人のみ

表 7-2 (九州) 予防啓発活動の浸透度 検査行動

	商業施設利用				商業施設非利用				合計 n=248	Pearson カイ2乗	
	センター利用 n=31		センター非利用 n=95		ネット利用 n=41		ネット非利用 n=81				
日本で男性同性愛者対象に予防啓発の取り組みが行われていたり、コンドーム・ローションが無料で配布されていることを知っていますか。											
よく知っている	17	54.8%	17	17.9%	0	0.0%	1	1.2%	35	14.1%	<0.01
少し知っている	11	35.5%	35	36.8%	9	22.0%	10	12.3%	65	26.2%	
あまり知らない	3	9.7%	21	22.1%	7	17.1%	17	21.0%	48	19.4%	
全く知らない	0	0.0%	22	23.2%	25	61.0%	53	65.4%	100	40.3%	
これまでに性感染症にかかったことがありますか。											
ある	21	67.7%	34	35.8%	12	29.3%	5	6.2%	72	29.0%	<0.01
ない	10	32.3%	61	64.2%	29	70.7%	76	93.8%	176	71.0%	
生涯の性感染症既往(内訳の一部掲載)											
梅毒	8	25.8%	10	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	18	7.3%	<0.01
A型肝炎	8	25.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	3.2%	<0.01
B型肝炎	7	22.6%	2	2.1%	1	2.4%	0	0.0%	10	4.0%	<0.01
HIV感染症	7	22.6%	6	6.3%	1	2.4%	4	4.9%	18	7.3%	<0.01
PrEPやPEPに関する上記のような情報について、知っていましたか。											
とてもよく知っている	20	64.5%	7	7.4%	3	7.3%	1	1.2%	31	12.5%	<0.01
具体的には知らないが、聞いたことはある	9	29.0%	30	31.6%	6	14.6%	11	13.6%	56	22.6%	
まったく知らなかった	2	6.5%	58	61.1%	32	78.0%	69	85.2%	161	64.9%	
あなたはPrEPをしたいと思いますか。											
服薬したくない	9	29.0%	41	43.2%	24	58.5%	58	71.6%	132	53.2%	<0.01
服薬したい	15	48.4%	48	50.5%	16	39.0%	19	23.5%	98	39.5%	
治療で抗HIV薬の服薬治療を続けている	7	22.6%	6	6.3%	1	2.4%	4	4.9%	18	7.3%	
あなたはPrEPをしたことがありますか。											
ない	8	25.8%	94	98.9%	40	97.6%	79	97.5%	221	89.1%	<0.01
ある	23	74.2%	1	1.1%	1	2.4%	2	2.5%	27	10.9%	
コミュニティセンターHaco(福岡県福岡市)											
これまでに1度は行ったことがある	24	77.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	24	9.7%	<0.01
知っているけど行ったことはない	5	16.1%	28	29.5%	4	9.8%	4	4.9%	41	16.5%	
知らない	2	6.5%	67	70.5%	37	90.2%	77	95.1%	183	73.8%	
コミュニティセンターmabui(沖縄県那覇市)											
これまでに1度は行ったことがある	18	58.1%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%	19	7.7%	<0.01
知っているけど行ったことはない	6	19.4%	16	16.8%	4	9.8%	4	4.9%	30	12.1%	
知らない	7	22.6%	79	83.2%	36	87.8%	77	95.1%	199	80.2%	
「検出限界以下が6ヶ月間継続していれば、セックスで相手に感染させるリスクは事実上ない(U=U)」を知っていましたか。											
よく知っている	18	58.1%	7	7.4%	2	4.9%	1	1.2%	28	11.3%	<0.01
少し知っている	10	32.3%	11	11.6%	4	9.8%	13	16.0%	38	15.3%	
あまり知らない	2	6.5%	28	29.5%	6	14.6%	18	22.2%	54	21.8%	
全く知らない	1	3.2%	49	51.6%	29	70.7%	49	60.5%	128	51.6%	
これまでに、医療機関(病院、クリニック)で医療職者から、HIV抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。											
ある	24	77.4%	9	9.5%	3	7.3%	1	1.2%	37	14.9%	<0.01
ない	7	22.6%	86	90.5%	38	92.7%	80	98.8%	211	85.1%	
過去1年間に、医療機関(病院、クリニック)で医療職者から、HIV抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。											
ある	18	58.1%	6	6.3%	3	7.3%	1	1.2%	28	11.3%	<0.01
ない	13	41.9%	89	93.7%	38	92.7%	80	98.8%	220	88.7%	
これまでに、HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。											
ある	28	90.3%	45	47.4%	10	24.4%	10	12.3%	93	37.5%	<0.01
ない	3	9.7%	50	52.6%	31	75.6%	71	87.7%	155	62.5%	
これまでに受けた、HIV抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。 ¹⁾											
保健所の即日検査	13	46.4%	20	44.4%	4	40.0%	5	50.0%	42	45.2%	0.97
保健所の夜間検査	9	32.1%	3	6.7%	1	10.0%	1	10.0%	14	15.1%	0.03
保健所の即日・夜間検査以外	11	39.3%	11	24.4%	1	10.0%	3	30.0%	26	28.0%	0.30
病院	12	42.9%	7	15.6%	4	40.0%	1	10.0%	24	25.8%	0.03
クリニック・医院・診療所	9	32.1%	8	17.8%	1	10.0%	0	0.0%	18	19.4%	0.11
郵送検査キット	4	14.3%	3	6.7%	1	10.0%	0	0.0%	8	8.6%	0.51
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
過去1年間に、HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。											
ある	22	71.0%	10	10.5%	4	9.8%	0	0.0%	36	14.5%	<0.01
ない	9	29.0%	85	89.5%	37	90.2%	81	100.0%	212	85.5%	
過去1年間に受けた、HIV抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。 ²⁾											
保健所の即日検査	12	54.5%	4	40.0%	1	25.0%	0	0.0%	17	47.2%	0.48
保健所の夜間検査	12	54.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	14	38.9%	0.01
保健所の即日・夜間検査以外	6	27.3%	2	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	22.2%	0.47
病院	9	40.9%	2	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	30.6%	0.18
クリニック・医院・診療所	7	31.8%	3	30.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	27.8%	0.42
郵送検査キット	4	18.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	5	13.9%	0.31
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

1)これまでにHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

2)過去1年間にHIV抗体検査を受けたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

表 7-3 (九州) 予防行動

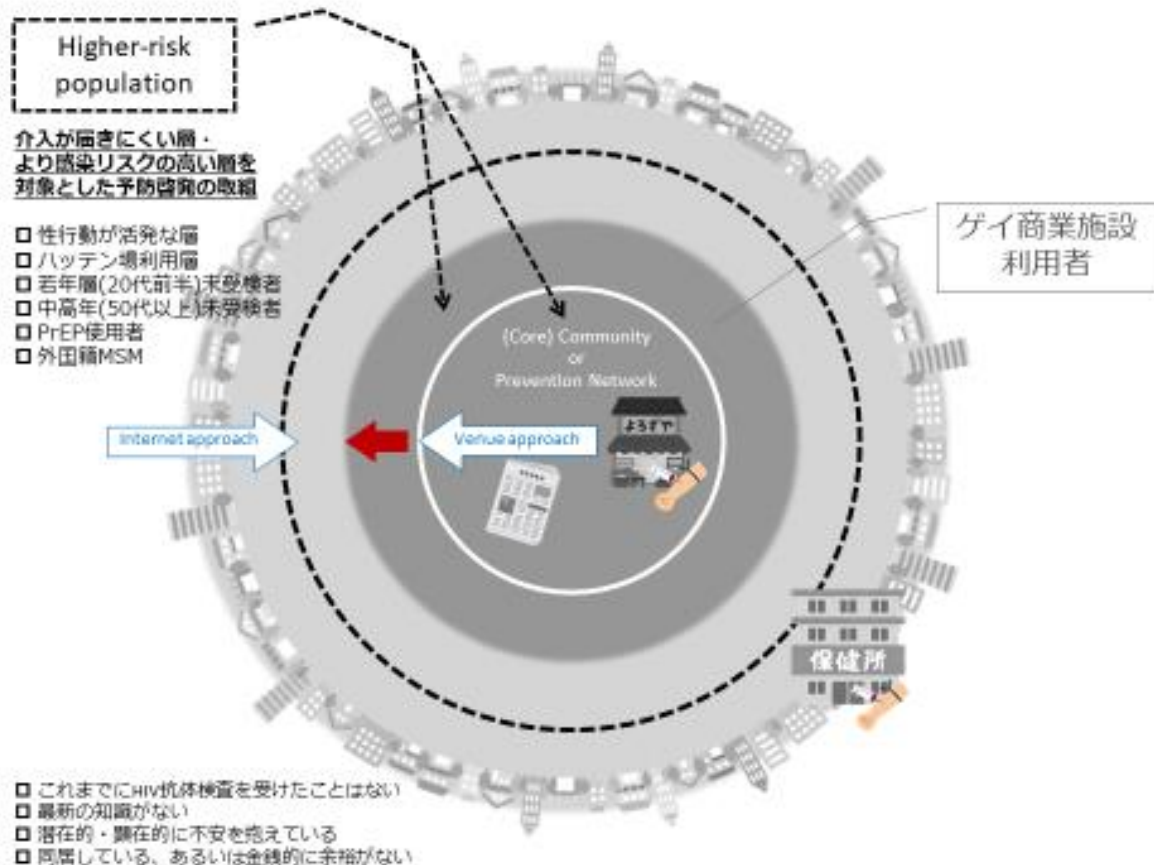
	商業施設利用		商業施設非利用		ネット利用		ネット非利用		合計 n=248	Pearson カイ2乗	
	センター利用 n=31	センター非利用 n=95	センター利用 n=41	センター非利用 n=81	ネット利用 n=41	ネット非利用 n=81	ネット利用 n=41	ネット非利用 n=81			
あなたは定期的に、HIV検査を受けていますか。											
定期的に受けていない	13	41.9%	85	89.5%	38	92.7%	81	100.0%	217	87.5%	<0.01
定期的に受けている	18	58.1%	10	10.5%	3	7.3%	0	0.0%	31	12.5%	
新型コロナウイルス感染症が拡大する前の1年間と比べて、HIV検査を利用する回数や頻度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大後どう変わりましたか。											
減った/利用することができなくなった	9	29.0%	15	15.8%	7	17.1%	7	8.6%	38	15.3%	<0.01
変わらない	17	54.8%	79	83.2%	32	78.0%	73	90.1%	201	81.0%	
増えた	5	16.1%	1	1.1%	2	4.9%	1	1.2%	9	3.6%	
2020年2月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、HIV検査を受けようと思ったのに受けられなかった経験が現在までにありますか。											
HIV感染の可能性はないので、検査を受けようと思ったことはない	15	48.4%	71	74.7%	32	78.0%	64	79.0%	182	73.4%	0.05
HIV感染の可能性はあるが、検査を受けようと思ったことはない	6	19.4%	5	5.3%	3	7.3%	6	7.4%	20	8.1%	
検査を受けようと思ったが、受けることができなかった	4	12.9%	10	10.5%	3	7.3%	2	2.5%	19	7.7%	
この期間に、検査を受けることができた	6	19.4%	9	9.5%	3	7.3%	9	11.1%	27	10.9%	
あなたは、HIV検査を受けるとしたら、どの検査を選びますか。最も受けたいと思う検査機会を1つ選んでください。											
保健所の即日検査	10	32.3%	43	45.3%	17	41.5%	26	32.1%	96	38.7%	<0.01
保健所の夜間検査	5	16.1%	6	6.3%	4	9.8%	3	3.7%	18	7.3%	
保健所の即日・夜間検査以外の検査	8	25.8%	7	7.4%	4	9.8%	3	3.7%	22	8.9%	
病院での検査	5	16.1%	7	7.4%	4	9.8%	4	4.9%	20	8.1%	
クリニック・医院・診療所での検査	1	3.2%	12	12.6%	1	2.4%	8	9.9%	22	8.9%	
郵送検査	1	3.2%	10	10.5%	1	2.4%	5	6.2%	17	6.9%	
南新宿や大阪にある公的な検査機関での検査	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
検査を受けたいとは思わない	1	3.2%	10	10.5%	10	24.4%	32	39.5%	53	21.4%	
これまでに出会い系サイト/掲示板/アプリ/Twitterで出会った相手と性交渉（セックス）をしたことがありますか。											
ある	24	77.4%	68	71.6%	41	100.0%	0	0.0%	133	53.6%	<0.01
ない	7	22.6%	27	28.4%	0	0.0%	81	100.0%	115	46.4%	
過去6ヶ月間に、男性とセックスをしたことがありますか。											
ある	21	67.7%	49	51.6%	13	31.7%	7	8.6%	90	36.3%	<0.01
ない	10	32.3%	46	48.4%	28	68.3%	74	91.4%	158	63.7%	
過去6ヶ月間に、男性とアナルセックスをしたことがありますか。											
ある	20	64.5%	39	41.1%	9	22.0%	3	3.7%	71	28.6%	<0.01
ない	11	35.5%	56	58.9%	32	78.0%	78	96.3%	177	71.4%	
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手にあなた自身のHIVステータスを話しましたか。 ³⁾											
セックスする前に相手に話していた	2	9.5%	45	47.3%	9	22.0%	5	6.2%	61	24.6%	<0.01
セックスした後に相手に話した	9	29.0%	1	1.1%	1	2.4%	1	1.2%	12	4.8%	
話していない	10	32.3%	3	3.1%	3	7.3%	1	1.2%	17	6.9%	
過去6ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手のHIVステータスを知っていましたか。											
知らない	0	0.0%	37	38.9%	7	17.1%	3	3.7%	47	18.9%	<0.01
知っている	21	67.7%	12	12.6%	6	14.6%	4	4.9%	43	17.0%	
過去6ヶ月間の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁴⁾											
非常用	14	45.2%	27	28.4%	5	12.2%	1	1.2%	47	18.9%	0.53
常用	6	19.0%	12	12.6%	4	9.8%	2	2.5%	24	9.6%	
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾											
ある	19	61.3%	33	34.7%	6	14.6%	2	2.5%	60	24.2%	0.01
ない	2	6.5%	16	16.8%	7	17.1%	5	6.2%	30	12.0%	
過去6ヶ月間の恋人や夫など特定男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁵⁾											
非常用	10	32.3%	23	24.2%	3	7.3%	0	0.0%	36	14.5%	0.17
常用	9	28.7%	10	10.5%	3	7.3%	2	2.5%	24	9.6%	
過去6ヶ月間に、恋人や夫などの特定"以外"の男性とアナルセックスをしましたか。 ³⁾											
ある	19	61.3%	31	32.6%	5	12.2%	1	1.2%	56	22.6%	<0.01
ない	2	6.5%	18	18.8%	8	19.5%	6	7.4%	34	13.6%	
過去6ヶ月間の特定以外の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用 ⁶⁾											
非常用	11	35.5%	19	19.8%	3	7.3%	1	1.2%	34	13.7%	0.87
常用	8	25.8%	12	12.6%	2	4.9%	0	0.0%	22	8.8%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験 ³⁾											
いずれもなし	2	6.5%	40	42.1%	11	26.8%	6	7.4%	59	23.8%	<0.01
バイアグラのみ	3	9.7%	6	6.3%	1	2.4%	0	0.0%	10	4.0%	
薬物併用	16	51.8%	3	3.1%	1	2.4%	1	1.2%	21	8.5%	

3)過去6ヶ月間に男性とセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

4)過去6ヶ月間に男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

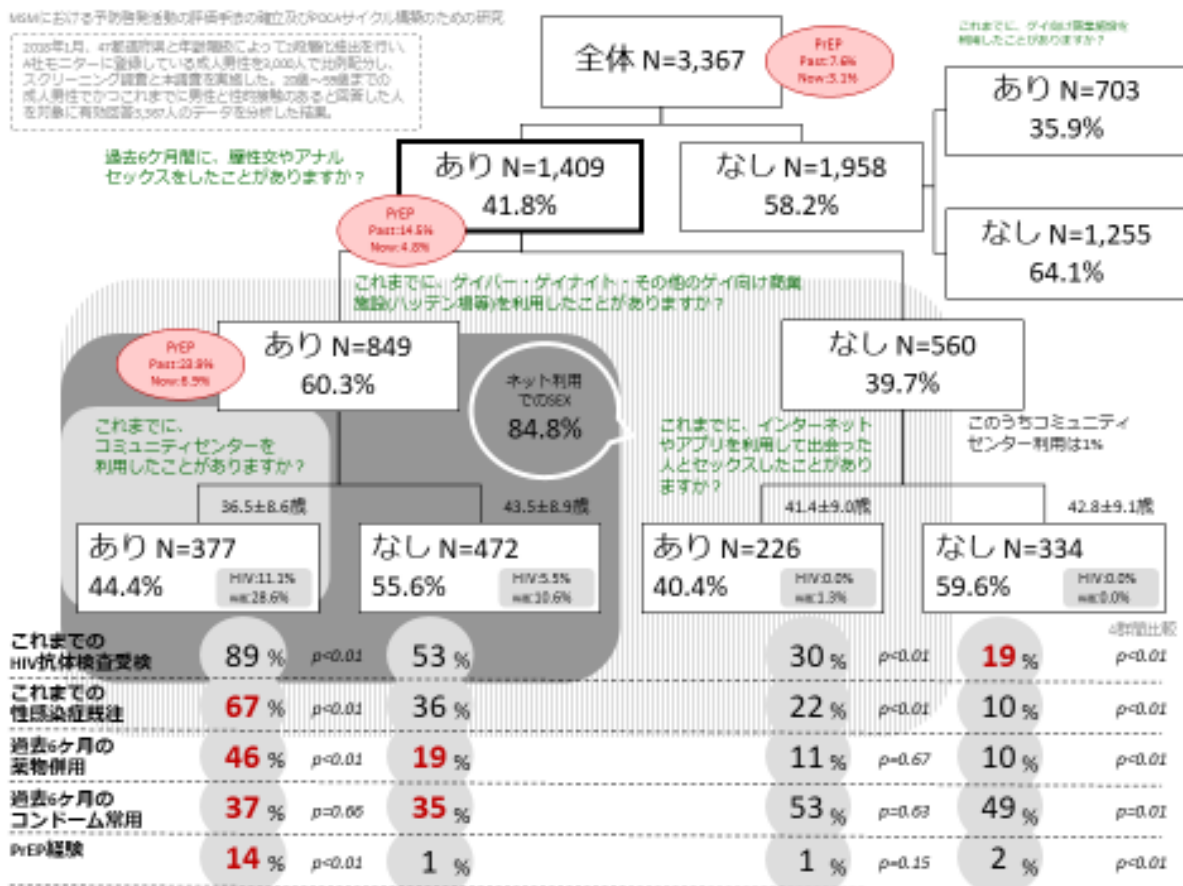
5)過去6ヶ月間に特定の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。

6)過去6ヶ月間に特定以外の男性とアナルセックスをしたことがある人を対象として分析したため累計は異なる。



MSMにおける予防啓発活動の評価手法の確立及びPOCAサイクル構築のための研究

2020年1月、47都道府県と年齢階級によって2段階抽出を行い、A社モニターに登録している成人男性を2,000人で比例配分し、スクリーニング調査と本調査を実施した。20歳～59歳までの成人男性でかつこれまでに男性と性的接触のあると回答した人を対象に有効回答3,367人のデータを分析した結果。



予防行動に関する量的データ収集および包括的分析からの評価

研究分担者：金子典代（名古屋市立大学 大学院看護学研究科 准教授）
研究協力者：塩野徳史（大阪青山大学健康科学部看護学科）、岩橋恒太（NPO 法人 akta）、
東北；やろっこ／ZEL 首都圏；NPO 法人 akta／akta、横浜；NPO 法人 SHIP
東海；ANGEL LIFE NAGOYA／rise、近畿；MASH 大阪／dista、
中国・四国；HaaT えひめ／BRIGE プロジェクト、沖縄；nankr 沖縄／mabui

研究要旨

本研究の目的は、全国のゲイバイセクシュアル男性における検査行動の実態とニーズを把握し、より効果的な検査促進プログラムの開発と検査促進プログラムの評価資料とすることである。本質問紙調査は、コミュニティセンターakta、コミュニティセンターZEL、コミュニティセンターrise、コミュニティセンターdista、コミュニティセンターmabui にて実施し、スタッフが来場者に調査目的と参加条件を説明し、アンケートを手渡しし回答を任意で依頼した。第1回調査は、2019年2月から3月にかけて仙台ZELでは50件、東京aktaでは300件、大阪では200件、名古屋では100件、沖縄では50件の質問紙を配布し総計536件の有効回答を得た。第2回調査では、第1回調査での配布地域に加え、北海道でも配布を行った。2019年12月から2020年1月にかけて実施し、総計690件の有効回答を得た。初年度の調査では初来場者数は全体では、20.8%、HIV検査行動は都市部（東京、大阪）より地方都市（東北、沖縄）のほうが低いことが示された。コミュニティセンターでは情報提供、相談も行っているが、スタッフからの情報提供や相談への対応のみならず、来場者間での情報入手や相互に相談しサポートが行われていることが示された。

年度間の比較を実施するにあたり、MSMかつHIV陽性ではない分析対象者に限定した。対象者は2019年調査は430名、2020年調査は431名であった。治療薬の進歩の認知は2019年調査では88.6%、2020年調査では94.1%であり、U=Uの認知は2019年調査では74.8%、2020年調査では83.1%であった。コミュニティセンター来場者における治療薬の進歩やU=Uといった最新情報の認知度は2020年には8割を超えていた。U=Uといった新しい知識は浸透が進んでいることが考えられた。新型コロナウイルス感染症の拡大によりコミュニティセンターの活動にも影響が大きく出てきているが、これらの予防啓発の取り組みを低下させない工夫が必要となる。

A. 研究目的

本研究の目的は、全国のゲイバイセクシュアル男性における検査行動の実態とニーズを把握し、より効果的な検査促進プログラムの開発と検査促進プログラムの評価資料とする。

効果的な検査促進プログラムの開発、実施、評価には対象者の検査ニーズ把握、行動モニタリングが必須となる。本研究により全国のMSMのHIV検査行動など予防行動の実態、ニーズ、現行のプログラムの評価資料を得ることが可能となる。この成果をNPO akta やコミュニティセンターを運営するやろっこ、ANGEL LIFE NAGOYA、MASH 大阪、nankr といった各地域のNGOの予防行動促進や検査勧奨等のプログラムに反映させ評価資料としても活用すること

が期待できる。

B. 研究方法

コミュニティセンターのスタッフが来場者に調査目的と参加条件を説明し、質問紙を手渡し回答を依頼した。回答済み質問紙は、回答者に密封してもらい回収箱に投函を依頼した。回答協力に対し、500円の金券を配布した。2019年は2月、2020年は1月にそれぞれ1か月間全国一斉に調査を実施した。コミュニティセンター事業は単年度予算で運営されており、年間の活動について効果評価する必要がある。本調査は予防啓発活動の効果評価の一環としても実施されており、毎年、定期的に行われているものである。年間を通して複数のプログラムが

同時に実施されており、いずれのプログラムでも一部 U=U などの新たな知見普及が行われていたため、定期的な評価指標の中に U=U の認知の評価も組み込んで行うこととした。コミュニティセンターでは、個人を特定する情報を収集はしていないため、2 回の調査のデータを連結可能な個人情報の収集は困難であり、コホート調査とすることは困難であった。そのため、本研究は 2 時点で一斉調査を実施し、ID による連結はないが縦断的に 2 時点の結果を比較検討するデザインを採用した。

本調査の方法や質問項目の作成にあたり、CBO スタッフと協議し、事前に模擬回答を得て回答のしやすさについてチェックを行った。回答者のプライバシー保護のため、無記名とし、対象者個人の特定につながる情報は含んでいなかった。本研究計画は名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より承認（承認番号：18020）を受けて実施した。

C. 結果

1) 2018 年度調査について（表 1-表 7）

地域別の来場者の属性は、下記表 1 のとおりである。全体でみると、初来場割合は 20.2% であった。MSM 割合は 82.9%、平均年齢は地域により若干の差があるものの、全体では 37 歳であった。

MSM に限定し HIV 検査行動を見たところ、生涯の検査経験については、地域別に差が見られた。地方都市の方が低くリピーターの方が初来場者より、検査経験を有していた。

過去 1 年の HIV 検査行動については、名古屋が 60.0% と最も高く、大阪、仙台、沖縄が平均より低くなっていた。

コミュニティセンターで MSM の来場者により行われる相談は、様々な形態のものがあり、クライアントからスタッフへ寄せられるもののみならず、センター利用者に相談するもの、センターに来て友達どうして相談するものなど複数の形態があることが示された。ピアでの相談も多く行われていることが示された。センター来場者のうち 40.7% が何らかの形で悩みや不安について相談していることが示された。

MSM 来場者における、U=U や治療薬の延命効果の知識の保有度については地域により差が見られ、沖縄、仙台が平均より低い傾向が見られた。また、来場経験別にみると、初来場者よりリピーターの方が認知割合が高かった。2018 年に実施された内閣府の世論調査と比較すると知識は高いことが示された。またこれらの新しい知識の保有と検査行動に関連があるかを調べたところ、いずれの項目においてもこの知識を持っていることと生涯での検査行動には関連が見られ

た。

2) 2019 年度調査について（表 8-表 14）

初来場者割合は全体では 28.6%、MSM 割合は 71.0%、平均年齢は 37.1% であった。昨年より初来場者割合が上昇していた。

MSM に限定した分析については、来場経験別にみると、初来場者割合は 17.4%、初来場者の方が一人暮らしが多く、性指向はゲイの割合が高かった。過去 6 か月の商業施設の利用では、リピーターの方がサークルの利用が有意に高く、その他の施設の利用もリピーターの方が高い傾向が見られた。性行動については、初来場者の方が過去 6 か月に性交渉をしているものの割合が高かった。梅毒の罹患割合は初来場者は 7.0%、リピーターは 13.2% であり、有意差はないがリピーターの方が高かった。センターでのコンドームや資料の受け取り経験、情報入手、相談経験はリピーターの方が高かった。自身が MSM であることを周囲の異性愛者にカミングアウトをしている割合は初来場者の方が低かった。生涯での HIV 検査を受けたことがある割合については、リピーターの方が高かった。来場経験にかかわらず、保健所を最後の検査場所に選んだものがどの地域でも多かった。MSM に限定し、かつ地域別にみると、来場者の年齢層は名古屋、仙台で高く、沖縄、北海道は低い傾向が見られた。ゲイナイト、ゲイショップ、有料ハッテン場の利用は地方都市の方が低く、出会い系アプリは地方都市の方が高かった。金銭を払った性交渉の経験は、東京、名古屋で高かった。センターでの情報入手、相談経験は名古屋、仙台、沖縄で高かった。生涯の検査受検行動は沖縄、北海道が低かった。HIV 検査の受検場所は保健所・保健センター、病院、臨時検査会を挙げるものが多かった。

3) 調査時期別の新しい知見の認知、基礎属性、検査・予防行動（表 15-17）

治療薬の進歩の認知があるものは 2019 年調査では 88.6%、2020 年調査では 94.1% であり差が見られた。U=U については 2019 年調査では 74.8%、2020 年調査では 83.1% と差が見られた。過去 1 年の HIV 検査経験も 2019 年では 46.6%、2020 年では 55.9% と差が見られた。

治療薬の進歩の認知と基礎属性、検査・コンドーム使用との関連については、2019 年調査では、ゲイの方がバイセクシュアル・その他の男性より、治療薬進歩の認知割合が高かった。また、調査時点までの HIV 検査経験と認知に関連が見られた。

U=U の認知と基礎属性、検査・予防行動の関連については、2019 年調査では、U=U の認知と職業、センター来場経験、調査時点までの検査

行動に関連が見られた。2020年調査では、性指向、センター来場経験、調査時点までの検査行動に関連が見られた。ゲイの方がバイセクシュアル・その他の性指向のもの比べてU=Uの認知があるものの割合が高く、コミュニティセンターにこれまで来たことのあるものの方が治療薬の進歩の認知があり、検査を受けたことがあるものの方が認知が高かった。コンドーム使用との関連は見られなかった。

D. 考察

これまでに複数の男性同性愛者向けコミュニティセンターの来場者に対して一斉に実施した調査はなく、本調査は初めてコミュニティセンター来場者の特性を示すものとなった。概ね半数以上のセンター来場者はコミュニティペーパーや予防資材を受け取り、スタッフからも性感染症やエイズの情報を得ていた。来場者のうち84-87%は、過去6か月に男性とアナルセックス経験があり、初来場者においても66.7-80.8%は過去6か月にアナルセックスの経験を有しておりある程度性行動アクティブなものを受け入れる場所として機能していることが示唆された。リピーターはセンターにおいてHIVエイズの情報やコンドームなどの資材を入手しているのみならず、相談をスタッフにした経験、またセンター内で来場者に相談を行うなどピアサポートも行われていることが明らかとなった。

2019年調査と2020年調査の比較については、基礎属性を見たところ、いずれの調査においても、8割は再来場者であり、年齢や地域、性的指向、職業はほぼ同じ割合であった。過去1年のHIV検査受検割合が高くなっているが、この期間には東京、大阪、沖縄ではHIV検査をコミュニティセンターで提供していたことが影響していると考えた。これらの状況を踏まえ、両サンプルはほぼ同一とみなし、2019年と2020年の調査結果についての比較を行った。本研究の対象者において、HIV治療薬の進歩を認知している者の割合は2019年は94.1%、U=Uの情報を認知している割合は2020年は83.1%であった。HIV治療薬の進歩、U=Uの情報双方について、地域間でも認知割合に顕著な差は認められず、概ねMSMの間では高い割合の認知であることが示された。2018年実施の内閣府実施の世論調査では、HIV治療薬の進歩の認知は26.5%、U=Uの認知割合は33.3%であり、一般国民と比較してもコミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の新しい知見の認知が高いことが示唆された。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、以前のようにセンターをオープンできないといった課題

が出てきている。コミュニティセンターの活動にも影響が大きく出てきているが、これらの予防啓発の取り組みを低下させない工夫が必要となる。

E. 結論

コミュニティセンターの来場者の特性を基礎属性、検査行動、性行動、HIVや検査に関する考え方、知識など複数の側面から明らかにすることができた。2019年と2020年に全国5か所のコミュニティセンター来場者への調査を実施した。来場者でのHIV治療薬の進歩の認知度はそれぞれ88.6%、94.1%、U=Uの認知度はそれぞれ74.8%、83.1%であった。またこれらの情報の認知をしているものの方がHIV検査経験を有していた。新型コロナウイルス感染症の拡大によりコミュニティセンターの活動にも影響が大きく出てきているが、これらの予防啓発の取り組みを低下させない工夫が必要となる。本研究結果は、コミュニティセンターが果たしてきた機能の評価の基礎資料となる。また、初来場者を誘導するための方策や初来場者へのセンター内での対応についても考案する基礎資料となると考える。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, *AIDS Care*, 2020. DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) Ryohei Terao, Noriyo Kaneko (Equal contribution): Survey of School Nurses' Experiences of Providing Counselling on Sexual Orientation to High School Students in Japan. *International Journal of Adolescent Medicine and Health*, doi: 10.1515/ijamh-2019-0167. 2020.
- 3) ○金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性のHIV・エイズの最新情報の認知度とHIV検査経験, コンドーム使用との関連. *日本エイズ学会誌*, 23(2), 2021.
- 4) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とするHIV/AIDS予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者2名の事例から. *日本エイズ学会誌*, 23(1), 18-25, 2021.
- 5) 金子典代, 塩野徳史: MSMを対象にした当事

- 者主体の HIV 検査の取り組みと意義. 日本エイズ学会誌, 22(3), 136-146, 2020
- 6) 今橋真弓, 金子典代, 高橋良介, 石田敏彦, 横幕能行: 名古屋市無料匿名性感染症検査会受検者における性感染症既往認識と検査結果. 日本感染症学会誌, 31(1), 2020. doi:10.24775/jjsti.S-2019-0003
 - 7) 中神克之, 金子典代, 脇本寛子, 山口知香枝, 樋口倫代: 名古屋市立大学大学院看護学研究科の国際交流プログラム パーツ大学公衆衛生学部(東ティモール)との短期研修プログラム. なごや看護学会誌, 2(2), 34-38, 2020
 - 8) 金子典代, 樋口倫代, 天野薫, 脇本寛子, 中神克之, 山口知香枝: 名古屋市立大学大学院看護学研究科の国際交流プログラム ハルリム大学看護研修の実施. なごや看護学会誌, 2(2) 39-45, 2020
 - 9) 金子典代, 塩野徳史, 本間隆之, 岩橋恒太, 健山正男, 市川誠一: 地方都市在住の MSM (Men who have sex with men) における調査時点までと過去 1 年の HIV 検査経験と関連要因. 日本エイズ学会誌, 21(1), 34-44, 2019
 - 10) 塩野徳史, 市川誠一, 金子典代, 佐々木由理: 都市部保健所における HIV 抗体検査受検者の特性, 厚生 の 指 標 (0452-6104), 65(5), 35-42, 2018.
 - 11) Noriyo Kaneko : Factors associated with cervical cancer screening among young unmarried Japanese women: results from an internet-based survey., BMC women's health, 18, (1) 2018.
- ## 2. 学会発表 (国外)
- 1) ○ Anand Tarandeep, Nitpolprasert Chattiya, Shirasaka Takuma, Iwatani Yasumasa, Yokomaku Yoshiyuki, Imahashi Mayumi, Kaneko Noriyo, Iwahashi Kota, Ikushima Yuzuru, Aoki Rieko, Ishida Toshihiko, Shiono Satoshi, Yamaguchi Masazumi, Takemura Keizo, Iwamoto Aikichi: HIV Prevention among MSM in JAPAN: Current Opinions on Achieving the First 90 among Japanese MSM. The International Congress on Drug Therapy in HIV Infection(HIV Glasgow 2020), Glasgow, 2020.
 - 2) Noriyo Kaneko: Interprofessional Collaboration in Nursing in Japan: To Foster Nurses who can Respond to Super Aging Society, Hallym International Nursing Conference, Korea, 2019
 - 3) Noriyo Kaneko : Interprofessional Collaboration in Nursing in Japan: To Foster Nurses who can Respond to Super Aging Society, The 2019 Daegu Catholic University International Nursing & Healthcare Conference, Korea, 2019
 - 4) Kota Iwahashi, Noriyo Kaneko, Misao Takano, Shinichi Oka, Takayuki Honma, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa, Jun Araki, Takuya Kinami, Yuzuru Ikushima, Ikuo Sato, Toshiya Fukuhara, Tsunefusa Hayashida, Nakayama Yasuyo, Hiroo Obinata, Akifumi Imamura: Dry Blood Spot-Based HIV Testing 'HIVcheck.jp' is a New Testing Opportunity for Men who have Sex with Men in Tokyo, Japan. FAST-TRACK CITIES 2019, LONDON, 2019.
 - 5) Kinami T, Fujiwara K, Suzuki A, Abe J, Araki J, Iwahashi K, Kaneko N, Honma T: The Outreach Programme "Delivery Health Project" as the Best Practice of HIV Prevention for MSM in Tokyo Japan. FAST-TRACK CITIES 2019, LONDON, 2019.
 - 6) Hiroko Wakimoto, Kanae Momino, Kaoru Amano, Noriyo Kaneko, Eun-Jung Kim, Kyoung-A Nam: Evaluation of simulation education for nursing students focusing on distress symptoms in patients with cancer. The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, Japan, 2020. 2. 28
 - 7) Wakimoto Hiroko, Momino Kanae, Kaneko Noriyo, Suga Yuka, Imaeda Erina, Kim Eun Jung: Review of literature on simulation education for improvement of nursing practical skills - Comparison between Korea and Japan -, The 5th China Japan Korea Nursing Conference, Tokyo, 2018
- ## 3. 学会発表 (国内)
- 1) ○金子典代: U=U をめぐる陽性者と HIV 予防対策と医療者のあり方について. 日本エイズ学会シンポジウム, 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
 - 2) 林田庸総, 柏木恵莉, 土屋亮人, 高野操, 青木孝弘, 瀧永博之, 菊池嘉, 岩橋恒太, 金子典代: 乾燥ろ紙血による HIV Ag/Ab 郵送検査の検査ラボでの結果についての検討. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
 - 3) 荒木順, 金子典代, 木南拓也, 柴田恵, 岩橋恒太, 藤原孝大, 鈴木敦大, 小山輝道, 高久道子, 高久陽介, 市川誠一, 張由紀夫, 生島嗣: ゲイバー等との連携による

- 「LivingTogether のど自慢」の実践とその効果について. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 4) 井上洋士、後藤大輔、船石翔馬、高橋良介、塩野徳史、金子典代: 成人前期 (20 歳代) MSM での性行動と HIV・性感染症認識に関する面接調査研究. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
 - 5) 高橋良介、末盛慶、金子典代、石田敏彦: NLGR+への参加状況と HIV 抗体検査受検経験の関連性. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
 - 6) 金子典代: MSM における HIV 検査受検、定期検査受検のハードルを下げるための試み. 日本エイズ学会シンポジウム, 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本, 2019
 - 7) 金子典代: MSM に対する検査提供と予防介入の実践と変遷. シンポジウム 4, 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本, 2019
 - 8) 高橋良介, 石田敏彦, 藤浦裕二, 岩崎誠, 今橋真弓, 金子典代: 東海地域におけるゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした性感染症検査会の NGO による広報とその効果. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本, 2019
 - 9) ○金子典代, 太田貴, 荒木順, 岩橋恒太, 石田敏彦, 宮田りりい, 塩野徳史, 玉城祐貴: コミュニティセンター来場者におけるセンターでの情報入手や相談経験、HIV 検査行動、新しい知識の浸透. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本, 2019
 - 10) 岩橋恒太, 金子典代, 高野操, 岡慎一, 本間隆之, 健山正男, 玉城祐貴, 市川誠一, 荒木順, 木南拓也, 生島嗣, 佐藤郁夫, 福原寿弥, 林田庸総, 中山保世, 小日向弘雄, 今村顕史: MSM を対象とした郵送検査キット用いた HIV 検査「HIVcheck.jp」のベニューの拡大の試行. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本, 2019
 - 11) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に包摂される女装者たちの性行動や HIV 感染症に対する意識. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本, 2019
 - 12) Michiko Takaku, Myagmardorj Dorjgotov, Erdenetuya Gombo, Nyampurev Galsanjams, Davaalkham Jagdagsuren, Seiichi Ichikawa, Satoshi Shiono, Noriyo Kaneko, Shinichi Oka : Studies evaluating NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia: Results of the internet surveys in FY 2013, 2014, 2017 and 2018. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本, 2019
 - 13) 林田庸総, 柏木恵莉, 土屋亮人, 高野操, 青木孝弘, 瀧永博之, 菊池嘉, 岩橋恒太, 金子典代, 岡慎一: 乾燥ろ紙血を用いた HIV Ag/Ab 郵送検査の性質についての検討. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本, 2019
 - 14) 岩橋恒太, 金子典代, 荒木順, 木南拓也, 鈴木敦大, 堅多敦子, 今村顕史: MSM を対象とする、2018 年の A 型肝炎の拡大の注意喚起に関する効果評価調査. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本, 2019
 - 15) 今村顕史, 堅多敦子, 岩橋恒太, 荒木順, 金子典代, 生島嗣, 西浦博, 齋藤涼平: MSM における A 型肝炎流行への対策と効果についての検討. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本, 2019
 - 16) 金子典代: MSM に対する支援 何が必要か. シンポジウム 1, 第 68 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 66 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会, 仙台, 2019.
 - 17) 天野薫, 脇本寛子, 金子典代, 樺野香苗: がん患者の苦痛緩和に焦点を当てたシミュレーション教育の効果ー学生が看護実践能力を向上させていくプロセスの分析からー. 第 34 回日本がん看護学会学術集会, 東京, 2020. 2. 23
 - 18) 林田庸総, 土屋亮人, 高野操, 青木孝弘, 瀧永博之, 菊池嘉, 岩橋恒太, 金子典代, 岡慎一: 乾燥ろ紙血を用いた HIV Ag/Ab 検査についての検討. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2018.
 - 19) 本間隆之, 岩橋恒太, 金子典代, 高久道子, 荒木順子, 木南拓也, 阿部甚平, 藤原孝大: MSM 向けクラブイベント来場者における HIV 検査未受検者の特性. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2018.
 - 20) 椎野禎一郎, 蜂谷敦子, 今橋真弓, 松田昌和, 岩谷靖雅, 横幕能行, 金子典代, 羽柴知恵子, 吉村和久: 国内伝播クラスタの検索プログラムの開発: 東海地方で若年層に急速に伝播を広げるクラスタの検出. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2018.
 - 21) 荒木順子, 金子典代, 木南拓也, 藤原孝大, 阿部甚兵, 岩橋恒太, 高久道子, 本間隆之: akta 来場者における来場経験別の来場目的、HIV 検査行動、性行動、陽性者の身近さ. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2018.
 - 22) 今橋真弓, 金子典代, 椎野禎一郎, 松田昌和, 蜂谷敦子, 岩谷靖雅, 横幕能行, 羽柴知恵子: 名古屋医療センターにおける 2009 ~2016 年未治療初診患者の後方視的生存率

検討. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2018.

23) 和田秀穂, 塩野徳史, 徳永博俊, 竹内麻子, 健山正男, 市川誠一, 金子典代: 中国四国地方におけるより感染リスクの高い MSM 層の実態把握と HIV 抗体検査受検経験に関するコミュニティアンケート調査, 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2018.

24) 岩橋恒太, 金子典代, 高野操, 岡慎一, 本間隆之, 健山正男, 市川誠一, 荒木順子, 木南拓也, 高久道子, 生島嗣, 佐藤郁夫, 福原寿弥, 林田庸総, 中山保世, 小日向弘雄, 今村顕史: MSM を対象とする、郵送検査手法を用いた新たな HIV 検査機会としての「HIVcheck.jp」の取り組み. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2018.

25) Takaku M, Dorjgotov M, Gombo E, Galsanjamts N, Jagdagsuren D, Ichikawa S, Shiono S, Kaneko N, Oka S: Studies on NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia 2017: 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2018.

26) 市川誠一, 塩野徳史, 金子典代, 高久道子, Erdenetuya G, Myagmardorj D, Nyampurev G, Davaalkham J: モンゴルにおける NGO を通じた MSM の HIV 予防活動, 日本ヒューマンヘルスケア学会, 2018

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

無し

2. 実用新案登録

無し

3. その他

無し

表 1. 来場経験別に見た基礎属性、商業施設の利用 (2018 年度調査)

	初来場者 N=66		リピーター N=391		合計 N=457		有意差口
地域							
東京	37	55.2%	150	38.2%	187	40.7%	0.01
大阪	18	26.9%	126	32.1%	144	31.3%	
名古屋	2	3.0%	65	16.5%	67	14.6%	
仙台	5	7.5%	36	9.2%	41	8.9%	
沖縄	5	7.5%	16	4.1%	21	4.6%	
居住形態							
1人暮らし	22	32.8%	197	50.1%	219	47.6%	0.01
親や兄弟・姉妹と同居	30	44.8%	135	34.4%	165	35.9%	0.10
同性のパートナーと同居	7	10.4%	40	10.2%	47	10.2%	0.95
就労形態							
正規雇用経営者	30	45.5%	197	53.1%	227	51.9%	0.38
非正規学生アルバイト	32	48.5%	146	39.4%	178	40.7%	
無職	4	6.1%	28	7.5%	32	7.3%	
性指向							
ゲイ (同性愛者)	49	73.1%	341	87.0%	390	85.0%	0.01
バイセクシュアル (両性愛者)	16	23.9%	40	10.2%	56	12.2%	
わからない・決めたくない	1	1.5%	8	2.0%	9	2.0%	
その他	1	1.5%	3	.8%	4	.9%	
過去6か月商業施設利用							
ゲイバー	40	59.7%	255	64.9%	295	64.1%	0.41
ゲイナイト	11	16.4%	102	26.0%	113	24.6%	0.09
ゲイショップ	14	20.9%	123	31.3%	137	29.8%	0.09
ゲイ向けサークル	4	6.0%	64	16.3%	68	14.8%	0.03
ゲイ向け合コン	0	0.0%	7	1.8%	7	1.5%	0.27
twitter/facebook sns	30	44.8%	216	55.0%	246	53.5%	0.12
P C 出会い系サイト	8	11.9%	36	9.2%	44	9.6%	0.47
携帯出会い系サイト	18	26.9%	78	19.8%	96	20.9%	0.19
エロ系SNS	4	6.0%	31	7.9%	35	7.6%	0.58
スマートフォンのゲイ向けアプリ	31	46.3%	208	52.9%	239	52.0%	0.31
乱交パーティー	0	0.0%	8	2.0%	8	1.7%	0.24
有料ハッテン場	23	34.3%	127	32.3%	150	32.6%	0.75
野外のハッテン場	7	10.4%	23	5.9%	30	6.5%	0.16
何も利用せず	11	16.4%	73	18.6%	84	18.3%	0.67

表 2. 来場経験別に見た性行動 (2018 年度調査)

	初来場者 N=66		リピーター N=391		合計 N=457		有意差口
生涯での男性とのアナルセックス経験							
ある	55	84.6%	344	88.4%	399	87.9%	0.38
ない	10	15.4%	45	11.6%	55	12.1%	
最後の男性とのアナル時の時期							
現在～過去6カ月間の間	45	84.9%	201	58.6%	246	62.1%	0.00
過去6カ月間～過去1年間の間	1	1.9%	30	8.7%	31	7.8%	
1年以上前	3	5.7%	85	24.8%	88	22.2%	
覚えていない	4	7.5%	27	7.9%	31	7.8%	
最後のアナル時の相手							
彼氏や恋人	14	26.9%	109	32.1%	123	31.4%	0.46
友達やセックスフレンド	20	38.5%	96	28.2%	116	29.6%	
その場限りの相手	15	28.8%	119	35.0%	134	34.2%	
その他	3	5.8%	16	4.7%	19	4.8%	
最後のアナル時のゴム使用							
使った	31	58.5%	227	66.6%	258	65.5%	0.17
使わなかった	20	37.7%	89	26.1%	109	27.7%	
覚えていない	2	3.8%	25	7.3%	27	6.9%	
過去6か月アナルした人での常用非常用							
使った	31	58.5%	227	66.6%	258	65.5%	0.25
使わず覚えてない	22	41.5%	114	33.4%	136	34.5%	
過去半年に金銭をもらったセックス							
ある	4	6.3%	11	2.9%	15	3.3%	0.16
ない	60	93.8%	374	97.1%	434	96.7%	
過去半年に金銭を払ったセックス							
ある	3	4.8%	18	4.8%	21	4.8%	0.98
ない	59	95.2%	359	95.2%	418	95.2%	
これまでに罹患したSTD							
梅毒	3	4.5%	45	11.5%	48	10.4%	0.08
A型肝炎	2	3.0%	6	1.5%	8	1.7%	0.40
B型肝炎	1	1.5%	27	6.9%	28	6.1%	0.09
C型肝炎	1	1.5%	4	1.0%	5	1.1%	0.73
クラミジア	3	4.5%	31	7.9%	34	7.4%	0.32
コンジローマ	4	6.0%	16	4.1%	20	4.3%	0.48
淋病	6	9.0%	25	6.4%	31	6.7%	0.43
HIV感染症	4	6.0%	36	9.2%	40	8.7%	0.39
赤痢アメーバ	0	0.0%	8	2.0%	8	1.7%	0.24
毛じらみ	13	19.4%	99	25.2%	112	24.3%	0.31
性器ヘルペス	0	0.0%	6	1.5%	6	1.3%	0.31
その他	0	0.0%	5	1.3%	5	1.1%	0.35
いずれもない	42	62.7%	214	54.5%	256	55.7%	0.21

表 3. 来場経験別の資材受け取り、相談、検査行動（2018 年度調査）

	初来場者 N=66		リピーター N=391		合計 N=457		有意差口
センターでのゴムや資材受け取り経験							
ある	8	11.9%	332	85.1%	340	74.4%	0.00
ない	59	88.1%	58	14.9%	117	25.6%	
センターでの情報入手経験(誰から)							
センターのスタッフから聞いた	4	6.0%	245	62.3%	249	54.1%	0.00
センターに来て、利用者 友達から	1	1.5%	86	21.9%	87	18.9%	0.00
センターに来て、雑誌から得た	1	1.5%	65	16.5%	66	14.3%	0.00
センターに来て、雑誌から得た	4	6.0%	173	44.0%	177	38.5%	0.00
悩みや不安について相談したこと							
センターのスタッフに相談した	1	1.5%	128	32.6%	129	28.0%	0.00
利用者に相談 、友達同士で相談	0	0.0%	48	12.2%	48	10.4%	0.00
全くなし	1	1.5%	75	19.1%	76	16.5%	0.00
全くなし	63	94.0%	205	52.2%	268	58.3%	0.00
あなたは異性愛者にどのくらいカミングアウトしていますか？							
誰にもしていない	21	32.3%	82	21.8%	103	23.3%	0.02
1-10人未満	36	55.4%	194	51.5%	230	52.0%	
10人以上	8	12.3%	101	26.8%	109	24.7%	
生涯でのHIV検査経験							
ある	43	64.2%	320	81.6%	363	79.1%	0.00
ない	24	35.8%	72	18.4%	96	20.9%	
生涯での検査回数							
1回だけ	17	41.5%	73	23.4%	90	25.5%	0.09
2回	6	14.6%	52	16.7%	58	16.4%	
3回	5	12.2%	41	13.1%	46	13.0%	
4回以上	13	31.7%	146	46.8%	159	45.0%	
直近の検査時期							
過去6カ月の間	12	27.9%	106	33.1%	118	32.5%	0.58
過去6カ月以上前～過去1年の間	6	14.0%	38	11.9%	44	12.1%	
過去1年以上前～過去3年の間	15	34.9%	96	30.0%	111	30.6%	
過去3年以上前	7	16.3%	70	21.9%	77	21.2%	
不明	3	7.0%	10	3.1%	13	3.6%	
過去1年の検査受検							
過去1年	18	45.0%	144	46.5%	162	46.3%	0.86
1年より前	22	55.0%	166	53.5%	188	53.7%	
直近の検査場所							
病院	7	17.5%	53	17.0%	60	17.0%	0.21
診療所・クリニック・医院	6	15.0%	26	8.3%	32	9.1%	
保健所・保健センター	19	47.5%	97	31.1%	116	33.0%	
南新宿検査・相談室	3	7.5%	23	7.4%	26	7.4%	
chot CAST なんば	2	5.0%	13	4.2%	15	4.3%	
自宅/郵送検査（H I V検査キット）	1	2.5%	12	3.8%	13	3.7%	
HIV check（東京/akta）	0	0.0%	18	5.8%	18	5.1%	
NLGR+検査会（名古屋）	0	0.0%	21	6.7%	21	6.0%	
M検（名古屋・岐阜）・名古屋市性感染症	0	0.0%	10	3.2%	10	2.8%	
distaでピタッとちえっくん（大阪）	0	0.0%	21	6.7%	21	6.0%	
mabuiで HIV&梅毒検査!!（沖縄）	0	0.0%	4	1.3%	4	1.1%	
その他	2	5.0%	14	4.5%	16	4.5%	

表 4. 配布地域別の基礎属性 (2018 年度調査)

	東京 N=226	大阪 N=200	名古屋 N=68	仙台 N=42	沖縄 N=21	合計 N=557	有意差
来場経験							
初来場者	37 19.8%	18 12.5%	2 3.0%	5 12.2%	5 23.8%	67 14.6%	0.009
リピーター	150 80.2%	126 87.5%	65 97.0%	36 87.8%	16 76.2%	393 85.4%	
年齢3区分							
29歳未満	60 32.4%	36 25.2%	28 42.4%	10 24.4%	9 42.9%	143 31.4%	0.021
30-39	55 29.7%	59 41.3%	10 15.2%	13 31.7%	6 28.6%	143 31.4%	
40以上	70 37.8%	48 33.6%	28 42.4%	18 43.9%	6 28.6%	170 37.3%	
居住形態							
一人暮らし	100 52.9%	76 52.8%	24 35.8%	18 43.9%	3 14.3%	221 47.8%	0.002
親や兄弟・姉妹と同居	51 27.0%	46 31.9%	37 55.2%	16 39.0%	15 71.4%	165 35.7%	0.000
同性パートナーと同郷	23 12.2%	15 10.4%	4 6.0%	3 7.3%	2 9.5%	47 10.2%	0.644
就労形態							
正規雇用経営者	77 43.3%	79 59.0%	38 58.5%	25 61.0%	8 42.1%	227 51.9%	0.117
非正規学生アルバイト	83 46.6%	48 35.8%	24 36.9%	13 31.7%	10 52.6%	178 40.7%	
無職	18 10.1%	7 5.2%	3 4.6%	3 7.3%	1 5.3%	32 7.3%	
過去6か月商業施設利用							
ゲイバー	134 70.9%	94 65.3%	36 53.7%	20 48.8%	12 57.1%	296 64.1%	0.020
ゲイナイト	53 28.0%	43 29.9%	10 14.9%	4 9.8%	3 14.3%	113 24.5%	0.012
ゲイショップ	65 34.4%	34 23.6%	21 31.3%	17 41.5%	1 4.8%	138 29.9%	0.009
ゲイ向けサークル	24 12.7%	31 21.5%	9 13.4%	3 7.3%	1 4.8%	68 14.7%	0.050
ゲイ向け合コン	1 0.5%	4 2.8%	1 1.5%	1 2.4%	0 0.0%	7 1.5%	
twitter/facebook sns	95 50.3%	85 59.0%	42 62.7%	14 34.1%	10 47.6%	246 53.2%	0.024
P C出会い系サイト	26 13.8%	14 9.7%	3 4.5%	1 2.4%	0 0.0%	44 9.5%	0.033
携帯出会い系サイト	48 25.4%	23 16.0%	8 11.9%	12 29.3%	6 28.6%	97 21.0%	0.038
エロ系SNS	19 10.1%	10 6.9%	2 3.0%	3 7.3%	1 4.8%	35 7.6%	0.407
スマートフォンのゲイ向けアプリ	102 54.0%	65 45.1%	40 59.7%	21 51.2%	11 52.4%	239 51.7%	0.331
乱交パーティー	5 2.6%	1 0.7%	2 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 1.7%	0.470
有料ハッテン場	75 39.7%	47 32.6%	18 26.9%	8 19.5%	3 14.3%	151 32.7%	0.020
野外のハッテン場	18 9.5%	8 5.6%	3 4.5%	1 2.4%	1 4.8%	31 6.7%	0.336
ハッテン場で有名な銭湯・プール	38 20.1%	25 17.4%	10 14.9%	10 24.4%	2 9.5%	85 18.4%	0.543

表 5. 配布地域別の性行動 (2018 年度調査)

	東京 N=226	大阪 N=200	名古屋 N=68	仙台 N=42	沖縄 N=21	合計 N=557	有意差
生涯での男性とのアナルセックス経験							
経験あり	163 88.6%	124 86.1%	63 95.5%	34 85.0%	16 76.2%	400 87.9%	0.131
最後の男性とのアナル時の時期							
現在～過去6カ月間の間	101 63.1%	71 58.7%	40 62.5%	24 66.7%	10 62.5%	246 62.0%	0.846
過去6カ月間～過去1年間の間	16 10.0%	9 7.4%	3 4.7%	3 8.3%	0 0.0%	31 7.8%	
1年以上前	35 21.9%	29 24.0%	15 23.4%	6 16.7%	4 25.0%	89 22.4%	
最後のアナル時の相手							
覚えていない	8 5.0%	12 9.9%	6 9.4%	3 8.3%	2 12.5%	31 7.8%	0.114
彼氏や恋人	41 25.6%	47 39.2%	18 29.5%	12 33.3%	5 31.3%	123 31.3%	
友達やセックスフレンド	51 31.9%	24 20.0%	23 37.7%	14 38.9%	4 25.0%	116 29.5%	
その場限りの相手	58 36.3%	47 39.2%	16 26.2%	8 22.2%	6 37.5%	135 34.4%	
その他	10 6.3%	2 1.7%	4 6.6%	2 5.6%	1 6.3%	19 4.8%	
最後のアナル時のゴム使用							
直近アナルでゴムを使った	100 62.1%	83 69.2%	47 74.6%	21 60.0%	7 43.8%	258 65.3%	0.029
使わなかった	52 32.3%	28 23.3%	10 15.9%	14 40.0%	6 37.5%	110 27.8%	
覚えていない	9 5.6%	9 7.5%	6 9.5%	0 0.0%	3 18.8%	27 6.8%	
過去半年に金銭をもらったセックス							
ある	9 4.9%	3 2.1%	3 4.6%	0 0.0%	0 0.0%	15 3.3%	0.350
ない	175 95.1%	137 97.9%	62 95.4%	40 100.0%	21 100.0%	435 96.7%	
過去半年に金銭を払ったセックス							
ある	15 8.4%	4 2.9%	0 0.0%	1 2.5%	1 4.8%	21 4.8%	0.044
ない	164 91.6%	132 97.1%	64 #####	39 97.5%	20 95.2%	419 95.2%	
これまでに罹患したSTD							
梅毒	25 13.2%	17 11.8%	3 4.5%	3 7.3%	1 4.8%	49 10.6%	0.243
A型肝炎	6 3.2%	2 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 1.7%	0.321
B型肝炎	15 7.9%	7 4.9%	6 9.0%	0 0.0%	0 0.0%	28 6.1%	0.164
C型肝炎	2 1.1%	2 1.4%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	5 1.1%	0.773
クラミジア	14 7.4%	14 9.7%	3 4.5%	2 4.9%	1 4.8%	34 7.4%	0.631
コンジローマ	9 4.8%	10 6.9%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	20 4.3%	0.147
淋病	15 7.9%	12 8.3%	1 1.5%	3 7.3%	0 0.0%	31 6.7%	0.239
HIV感染症	24 12.7%	11 7.6%	3 4.5%	1 2.4%	1 4.8%	40 8.7%	0.092
赤痢アメーバ	4 2.1%	3 2.1%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	8 1.7%	0.747
毛じらみ	51 27.0%	39 27.1%	10 14.9%	9 22.0%	3 14.3%	112 24.2%	0.213
性器ヘルペス	5 2.6%	1 .7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 1.3%	0.310

表 6. 配布地域別の資材受け取り、検査行動 (2018 年度調査)

	東京 N=226	大阪 N=200	名古屋 N=68	仙台 N=42	沖縄 N=21	合計 N=557	有意差
あなたは異性愛者にどのくらいカミングアウトしていますか？							
誰にもしていない	34 18.3%	37 27.6%	15 23.1%	13 34.2%	4 20.0%	103 23.3%	0.002
1-10人未満	87 46.8%	73 54.5%	37 56.9%	19 50.0%	15 75.0%	231 52.1%	
10人以上	65 34.9%	24 17.9%	13 20.0%	6 15.8%	1 5.0%	109 24.6%	
センターでのコンドーム資材の受け取り経験							
あり	131 70.1	103 72.5	60 89.6	33 80.5	14 66.7	341 74.5	0.02
なし	56 29.9%	39 27.9%	7 10.4%	8 19.5%	7 33.3%	117 25.5%	
センターでの情報入手経験(誰から)							
センターのスタッフから聞いた	83 43.9%	73 50.7%	54 80.6%	28 68.3%	11 52.4%	249 53.9%	0.000
センターに来て、利用者	31 16.4%	25 17.4%	18 26.9%	9 22.0%	4 19.0%	87 18.8%	0.403
友達から	26 13.8%	20 13.9%	15 22.4%	4 9.8%	1 4.8%	66 14.3%	0.267
センターに来て、雑誌や	70 37.0%	58 40.3%	27 40.3%	18 43.9%	5 23.8%	178 38.5%	0.579
悩みや不安について相談したこと							
センターのスタッフに相談した	41 21.7%	36 25.0%	23 34.3%	22 53.7%	7 33.3%	129 27.9%	0.001
利用者に相談	16 8.5%	12 8.3%	8 11.9%	10 24.4%	2 9.5%	48 10.4%	0.037
、友達同士で相談	26 13.8%	26 18.1%	14 20.9%	7 17.1%	3 14.3%	76 16.5%	0.678
全くなし	124 65.6%	83 57.6%	34 50.7%	17 41.5%	12 57.1%	270 58.4%	0.032
生涯でのHIV検査経験							
ある	150 79.4%	120 83.9%	56 83.6%	27 65.9%	12 57.1%	365 79.2%	0.010
ない	39 20.6%	23 16.1%	11 16.4%	14 34.1%	9 42.9%	96 20.8%	
生涯での検査回数							
1回だけ	51 34.5%	20 16.8%	10 18.9%	6 25.0%	3 27.3%	90 25.4%	0.007
2回	24 16.2%	22 18.5%	8 15.1%	4 16.7%	1 9.1%	59 16.6%	
3回	17 11.5%	12 10.1%	7 13.2%	7 29.2%	4 36.4%	47 13.2%	
4回以上	56 37.8%	65 54.6%	28 52.8%	7 29.2%	3 27.3%	159 44.8%	
直近の検査時期							
直近の検査時期過去6カ月の間	51 34.0%	35 29.2%	18 32.1%	9 33.3%	5 41.7%	118 32.3%	0.017
過去6カ月以上前～過去1年の間	20 13.3%	12 10.0%	13 23.2%	0 0.0%	0 0.0%	45 12.3%	
過去1年以上前～過去3年の間	39 26.0%	42 35.0%	14 25.0%	12 44.4%	4 33.3%	111 30.4%	
過去3年以上前	38 25.3%	28 23.3%	7 12.5%	3 11.1%	2 16.7%	78 21.4%	
不明	2 1.3%	3 2.5%	4 7.1%	3 11.1%	1 8.3%	13 3.6%	
過去1年の検査受検							
過去1年に受けた	71 48.0%	47 40.2%	31 59.6%	9 37.5%	5 45.5%	163 46.3%	0.172
1年より前	77 52.0%	70 59.8%	21 40.4%	15 62.5%	6 54.5%	189 53.7%	

表7. 配布地域別の資材受け取り、検査行動（2018年度調査）

	東京 N=226	大阪 N=200	名古屋 N=68	仙台 N=42	沖縄 N=21	合計 N=557	有意差
直近の検査場所							
病院	33 22.6%	20 16.8%	5 9.4%	3 12.0%	0 0.0%	61 17.2%	0.000
診療所・クリニック・医院	16 11.0%	13 10.9%	2 3.8%	1 4.0%	0 0.0%	32 9.0%	
保健所・保健センター	37 25.3%	40 33.6%	18 34.0%	17 68.0%	5 45.5%	117 33.1%	
南新宿検査・相談室	25 17.1%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	26 7.3%	
chot CAST なんば	0 0.0%	13 10.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	15 4.2%	
自宅/郵送検査（H I V検査キット）	9 6.2%	3 2.5%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	13 3.7%	
HIV check（東京/akta）	18 12.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 5.1%	
NLGR+検査会（名古屋）	3 2.1%	3 2.5%	15 28.3%	0 0.0%	0 0.0%	21 5.9%	
M検（名古屋・岐阜）・名古屋市性感染症	1 0.7%	1 0.8%	8 15.1%	0 0.0%	0 0.0%	10 2.8%	
distaでピタッとちえっくん（大阪）	0 0.0%	20 16.8%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	21 5.9%	
mabuiで HIV&梅毒検査!!（沖縄）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 36.4%	4 1.1%	
その他	4 2.7%	6 5.0%	2 3.8%	4 16.0%	0 0.0%	16 4.5%	
以下、HIV陰性者（自己申告）のみ（再掲）							
直近の検査時期							
直近の検査時期過去6カ月の間	45 35.4%	33 30.3%	17 32.1%	9 34.6%	5 41.7%	109 33.3%	0.049
過去6カ月以上前～過去1年の間	20 15.7%	12 11.0%	13 24.5%	0 0.0%	0 0.0%	45 13.8%	
過去1年以上前～過去3年の間	37 29.1%	42 38.5%	13 24.5%	12 46.2%	4 33.3%	108 33.0%	
過去3年以上前	23 18.1%	20 18.3%	7 13.2%	2 7.7%	2 16.7%	54 16.5%	
不明	2 1.6%	2 1.8%	3 5.7%	3 11.5%	1 8.3%	11 3.4%	
過去1年の検査受検							
過去1年に受けた	65 52.0%	45 42.1%	30 60.0%	9 39.1%	5 45.5%	154 48.7%	0.208
1年より前	60 48.0%	62 57.9%	20 40.0%	14 60.9%	6 54.5%	162 51.3%	
直近の検査場所							
病院	25 20.3%	15 13.9%	3 6.0%	3 12.5%	0 0.0%	46 14.6%	0.000
診療所・クリニック・医院	11 8.9%	12 11.1%	2 4.0%	1 4.2%	0 0.0%	26 8.2%	
保健所・保健センター	32 26.0%	37 34.3%	18 36.0%	16 66.7%	5 45.5%	108 34.2%	
南新宿検査・相談室	21 17.1%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 7.0%	
chot CAST なんば	0 0.0%	11 10.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	13 4.1%	
自宅/郵送検査（H I V検査キット）	9 7.3%	3 2.8%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 4.1%	
HIV check（東京/akta）	18 14.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 5.7%	
NLGR+検査会（名古屋）	3 2.4%	3 2.8%	15 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 6.6%	
M検（名古屋・岐阜）・名古屋市性感染症	1 0.8%	1 0.9%	7 14.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 2.8%	
distaでピタッとちえっくん（大阪）	0 0.0%	20 18.5%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 6.6%	
mabuiで HIV&梅毒検査!!（沖縄）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 36.4%	4 1.3%	
その他	3 2.4%	6 5.6%	2 4.0%	4 16.7%	0 0.0%	15 4.7%	

表 8. 来場経験別の基礎属性 (2019 年度調査)

	初来場者 N=86		リピーター N=402		合計 N=488		有意差□
地域							
東京	33	38.4%	147	36.6%	180	36.9%	0.01
大阪	26	30.2%	136	33.8%	162	33.2%	
名古屋	12	14.0%	46	11.4%	58	11.9%	
仙台	5	5.8%	28	7.0%	33	6.8%	
沖縄	6	7.0%	30	7.5%	36	7.4%	
北海道	4	4.7%	15	3.7%	19	3.9%	
居住形態							
1人暮らし	49	57.0%	206	51.2%	255	52.3%	0.01
親や兄弟・姉妹と同居	24	27.9%	133	33.1%	157	32.2%	0.10
同性のパートナーと同居	5	5.8%	38	9.5%	43	8.8%	0.95
就労形態							
正規雇用経営者	48	55.8%	199	50.1%	247	51.1%	0.38
非正規学生アルバイト	30	34.9%	145	36.5%	175	36.2%	
無職	8	9.3%	53	13.4%	61	12.6%	
性指向							
ゲイ (同性愛者)	61	70.9%	342	85.5%	403	82.9%	0.01
バイセクシュアル (両性愛者)	12	14.0%	41	10.3%	53	10.9%	
わからない・決めたくない	6	7.0%	15	3.8%	21	4.3%	
その他	7	8.1%	2	0.5%	9	1.9%	
過去6か月商業施設利用							
ゲイバー	44	51.2%	254	63.2%	298	61.1%	0.41
ゲイナイト	18	20.9%	104	25.9%	122	25.0%	0.09
ゲイショップ	18	20.9%	114	28.4%	132	27.0%	0.09
ゲイ向けサークル	9	10.5%	83	20.6%	92	18.9%	0.03
ゲイ向け合コン	2	2.3%	12	3.0%	14	2.9%	0.27
twitter/facebook sns	45	52.3%	219	54.5%	264	54.1%	0.12
P C 出会い系サイト	7	8.1%	44	10.9%	51	10.5%	0.47
携帯出会い系サイト	20	23.3%	87	21.6%	107	21.9%	0.19
エロ系SNS	3	3.5%	33	8.2%	36	7.4%	0.58
スマートフォンのゲイ向けアプリ	40	46.5%	217	54.0%	257	52.7%	0.31
乱交パーティー	1	1.2%	14	3.5%	15	3.1%	0.24
有料ハッテン場	19	22.1%	140	34.8%	159	32.6%	0.75
野外のハッテン場	4	4.7%	37	9.2%	41	8.4%	0.16
ハッテン場で有名な銭湯・プール	11	12.8%	77	19.2%	88	18.0%	0.16
何も利用せず	12	14.0%	24	6.0%	36	7.4%	0.67

表 9. 来場経験別の性行動 (2019 年度調査)

	初来場者 N=86		リピーター N=402		合計 N=488		有意差口
生涯での男性とのアナルセックス経験							
ある	63	73.3%	357	89.5%	420	86.6%	0.38
ない	23	26.7%	42	10.5%	65	13.4%	
最後の男性とのアナル時の時期							
現在～過去6カ月間の間	42	66.7%	210	59.3%	252	60.4%	0.00
過去6カ月間～過去1年間の間	7	11.1%	26	7.3%	33	7.9%	
1年以上前	12	19.0%	87	24.6%	99	23.7%	
覚えていない	2	3.2%	31	8.8%	33	7.9%	
最後のアナル時の相手							
彼氏や恋人	16	25.4%	97	27.0%	110	26.8%	0.46
友達やセックスフレンド	31	49.2%	118	33.9%	149	36.3%	
その場限りの相手	16	25.4%	126	36.2%	142	34.5%	
その他	0	0.0%	10	2.9%	10	2.4%	
最後のアナル時のゴム使用							
使った	46	73.0%	222	63.4%	268	64.9%	0.17
使わなかった	14	22.2%	99	28.3%	113	27.4%	
覚えていない	3	4.8%	29	8.3%	32	7.7%	
過去6か月アナルした人での常用非常用							
使った	46	73.0%	222	63.4%	268	64.9%	0.25
使わず覚えてない	17	27.0%	128	36.6%	145	35.1%	
過去半年に金銭をもらったセックス							
ある	1	1.2%	13	3.3%	14	3.0%	0.16
ない	80	98.8%	379	96.7%	459	97.0%	
過去半年に金銭を払ったセックス							
ある	6	7.5%	13	3.4%	19	4.1%	0.98
ない	74	92.5%	369	96.6%	443	95.9%	
これまでに罹患したSTD							
梅毒	6	7.0%	53	13.2%	59	12.1%	0.08
A型肝炎	0	0.0%	10	2.5%	10	2.0%	0.40
B型肝炎	4	4.7%	30	7.5%	34	7.0%	0.09
C型肝炎	1	1.2%	6	1.5%	7	1.4%	0.73
クラミジア	4	4.7%	29	7.2%	33	6.8%	0.32
コンジローマ	2	2.3%	22	5.5%	24	4.9%	0.48
淋病	3	3.5%	24	6.0%	27	5.5%	0.43
HIV感染症	1	1.2%	39	9.7%	40	8.2%	0.39
赤痢アメーバ	2	2.3%	10	2.5%	12	2.5%	0.24
毛じらみ	13	15.1%	101	25.1%	114	23.4%	0.31
性器ヘルペス	2	2.3%	4	1.0%	6	1.2%	0.31
その他	0	0.0%	10	2.5%	10	2.0%	0.35
いずれもない	67	77.9%	223	55.5%	290	59.4%	0.21

表 10. 来場経験別の資材受け取り経験 (2019 年度調査)

	初来場者 N=86		リピーター N=402		合計 N=488		有意差口
センターでのゴムや資材受け取り経験							
ある	9	10.5%	347	86.3%	356	73.0%	0.00
ない	77	89.5%	55	13.7%	132	27.0%	
センターでの情報入手経験(誰から)							
センターのスタッフから聞いた	4	4.7%	255	63.4%	259	53.1%	0.00
センターに来て、利用者から聞いた	0	0.0%	93	23.1%	93	19.1%	0.00
センターに来て、友達から聞いた	1	1.2%	77	19.2%	78	16.0%	0.00
センターに来て、雑誌から得た	1	1.2%	160	39.8%	161	33.0%	0.00
悩みや不安について相談したこと							
センターのスタッフに相談した	0	0.0%	122	30.6%	122	25.3%	0.00
利用者に相談した	0	0.0%	57	14.3%	57	11.8%	0.00
友達同士で相談した	0	0.0%	87	21.8%	87	18.0%	0.00
異性愛者にカミングアウトしているか							
誰かにはしている	46	60.5%	301	78.4%	347	75.4%	0.02
誰にもしていない	30	39.5%	83	21.6%	113	24.6%	
生涯でのHIV検査経験							
ある	57	66.3%	327	81.8%	384	79.0%	0.00
ない	29	33.7%	73	18.3%	102	21.0%	
生涯での検査回数							
1回だけ	25	43.9%	75	23.9%	100	27.0%	0.09
2回	4	7.0%	43	13.7%	47	12.7%	
3回	5	8.8%	33	10.5%	38	10.2%	
4回以上	23	40.4%	163	51.9%	186	50.1%	
直近の検査時期							
過去6カ月の間	26	45.6%	126	40.1%	152	41.0%	0.58
過去6カ月以上前～過去1年の間	10	17.5%	42	13.4%	52	14.0%	
過去1年以上前～過去3年の間	12	21.1%	74	23.6%	86	23.2%	
過去3年以上前	9	15.8%	72	22.9%	81	21.8%	
過去1年の検査受検							
過去1年	36	63.2%	168	53.5%	204	55.0%	0.86
1年より前	21	36.8%	146	46.5%	167	45.0%	
直近の検査場所							
病院	18	31.6%	66	21.2%	84	22.8%	0.21
診療所・クリニック・医院	5	8.8%	34	10.9%	39	10.6%	
保健所・保健センター	22	38.6%	97	31.1%	119	32.2%	
南新宿検査・相談室	1	1.8%	14	4.5%	15	4.1%	
chot CAST なんば	3	5.3%	15	4.8%	18	4.9%	
自宅/郵送検査 (H I V検査キット)	2	3.5%	4	1.3%	6	1.6%	
HIV check (東京/akta)	0	0.0%	18	5.8%	18	4.9%	
NLGR+検査会 (名古屋)	2	3.5%	20	6.4%	22	6.0%	
M検 (名古屋・岐阜)・名古屋市性感染	1	1.8%	4	1.3%	5	1.4%	
distaでピタッとちえっくん (大阪)	0	0.0%	22	7.1%	22	6.0%	
mabuiで HIV&梅毒検査!! (沖縄)	0	0.0%	6	1.9%	6	1.6%	
その他	3	5.3%	12	3.8%	15	4.1%	

表 11. 配布地域別の基礎属性 (2019 年度調査)

	東京 N=180	大阪 N=162	名古屋 N=58	仙台 N=33	沖縄 N=36	北海道 N=19	合計 N=488	有意差
来場経験								
初来場者	33 18.3%	26 16.0%	12 20.7%	5 15.2%	6 16.7%	4 21.1%	86 17.6%	0.960
リピーター	147 81.7%	136 84.0%	46 79.3%	28 84.8%	30 83.3%	15 78.9%	402 82.4%	
性指向								
ゲイ (同性愛者)	141 78.8%	139 85.8%	49 83.1%	29 87.9%	30 83.3%	16 84.2%	404 82.8%	0.796
バイセクシュアル (両性愛者)	21 11.7%	14 8.6%	8 13.6%	3 9.1%	5 13.9%	3 15.8%	54 11.1%	
わからない・決めたくない	11 6.1%	6 3.7%	2 3.4%	1 3.0%	1 2.8%	0 0.0%	21 4.3%	
その他	6 3.4%	3 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 1.8%	
年齢3区分								
29歳未満	43 24.0%	42 26.3%	13 22.0%	3 9.1%	14 38.9%	15 78.9%	130 26.7%	0.000
30歳 - 39歳	60 33.5%	60 37.5%	19 32.2%	12 36.4%	13 36.1%	4 21.1%	168 34.6%	
40歳以上	76 42.5%	58 36.3%	27 45.8%	18 54.5%	9 25.0%	0 0.0%	188 38.7%	
居住形態								
一人暮らし	104 57.8%	92 56.4%	20 33.9%	17 51.5%	14 38.9%	10 52.6%	257 52.4%	0.016
親や兄弟・姉妹と同居	39 21.7%	47 28.8%	34 57.6%	11 33.3%	18 50.0%	8 42.1%	157 32.0%	0.000
同性パートナーと同居	22 12.2%	13 8.0%	2 3.4%	4 12.1%	1 2.8%	1 5.3%	43 8.8%	0.199
就労形態								
正規雇用経営者	87 48.9%	86 53.4%	30 50.8%	20 60.6%	16 45.7%	8 42.1%	247 50.9%	0.088
非正規学生アルバイト	66 37.1%	55 34.2%	25 42.4%	9 27.3%	12 34.3%	10 52.6%	177 36.5%	
無職	25 14.0%	20 12.4%	4 6.8%	4 12.1%	7 20.0%	1 5.3%	61 12.6%	
過去6か月商業施設利用								
ゲイバー	116 64.4%	101 62.0%	31 52.5%	20 60.6%	20 55.6%	11 57.9%	299 61.0%	0.659
ゲイナイト	56 31.1%	44 27.0%	7 11.9%	2 6.1%	9 25.0%	4 21.1%	122 24.9%	0.007
ゲイショップ	69 38.3%	36 22.1%	12 20.3%	6 18.2%	4 11.1%	5 26.3%	132 26.9%	0.001
ゲイ向けサークル	41 22.8%	23 14.1%	13 22.0%	3 9.1%	5 13.9%	8 42.1%	93 19.0%	0.016
ゲイ向け合コン	5 2.8%	7 4.3%	1 1.7%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 2.9%	0.681
twitter/facebook sns	100 55.6%	87 53.4%	31 52.5%	17 51.5%	18 50.0%	11 57.9%	264 53.9%	0.984
P C 出会い系サイト	20 11.1%	14 8.6%	6 10.2%	5 15.2%	2 5.6%	5 26.3%	52 10.6%	0.193
携帯出会い系サイト	46 25.6%	30 18.4%	10 16.9%	11 33.3%	9 25.0%	3 15.8%	109 22.2%	0.265
エロ系SNS	19 10.6%	6 3.7%	4 6.8%	3 9.1%	1 2.8%	4 21.1%	37 7.6%	0.033
スマートフォンのゲイ向けアプリ	94 52.2%	78 47.9%	28 47.5%	17 51.5%	25 69.4%	15 78.9%	257 52.4%	0.042
乱交パーティー	9 5.0%	4 2.5%	0 0.0%	1 3.0%	1 2.8%	0 0.0%	15 3.1%	0.321
有料ハッテン場	72 40.0%	52 31.9%	18 30.5%	7 21.2%	6 16.7%	5 26.3%	160 32.7%	0.050
野外のハッテン場	17 9.4%	9 5.5%	5 8.5%	5 15.2%	5 13.9%	0 0.0%	41 8.4%	0.210
ハッテン場で有名な銭湯・プール	39 21.7%	30 18.4%	7 11.9%	9 27.3%	2 5.6%	1 5.3%	88 18.0%	0.050

表 12. 配布地域別の性行動 (2019 年度調査)

	東京 N=180	大阪 N=162	名古屋 N=58	仙台 N=33	沖縄 N=36	北海道 N=19	合計 N=488	有意差
生涯での男性とのアナルセックス経験								
経験あり	155 87.1%	142 88.2%	52 89.7%	29 87.9%	27 75.0%	15 78.9%	420 86.6%	0.303
最後の男性とのアナル時の時期								
現在～過去6カ月間の間	105 66.9%	81 57.9%	25 49.0%	19 65.5%	14 53.8%	8 57.1%	252 60.4%	0.232
過去6カ月間～過去1年間の間	7 4.5%	15 10.7%	6 11.8%	2 6.9%	3 11.5%	0 0.0%	33 7.9%	
1年以上前	34 21.7%	35 25.0%	15 29.4%	4 13.8%	5 19.2%	6 42.9%	99 23.7%	
覚えていない	11 7.0%	9 6.4%	5 9.8%	4 13.8%	4 15.4%	0 0.0%	33 7.9%	
最後のアナル時の相手								
彼氏や恋人	36 23.4%	43 31.4%	9 18.0%	8 27.6%	11 40.7%	3 21.4%	110 26.8%	0.457
友達やセックスフレンド	54 35.1%	48 35.0%	20 40.0%	10 34.5%	12 44.4%	5 35.7%	149 36.3%	
その場限りの相手	61 39.6%	41 29.9%	19 38.0%	11 37.9%	4 14.8%	6 42.9%	142 34.5%	
その他	3 1.9%	5 3.6%	2 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 2.4%	
最後のアナル時のゴム使用								
直近アナルでゴムを使った	105 67.3%	85 62.5%	31 60.8%	17 58.6%	17 63.0%	13 92.9%	268 64.9%	0.509
使わなかった	41 26.3%	42 30.9%	14 27.5%	9 31.0%	7 25.9%	0 0.0%	113 27.4%	
覚えていない	10 6.4%	9 6.6%	6 11.8%	3 10.3%	3 11.1%	1 7.1%	32 7.7%	
過去半年に金銭をもらったセックス								
ある	8 4.5%	4 2.6%	2 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 3.0%	0.524
ない	169 95.5%	150 97.4%	56 96.6%	32 100.0%	34 100.0%	18 100.0%	459 97.0%	
過去半年に金銭を払ったセックス								
ある	11 6.4%	2 1.3%	5 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	19 4.1%	0.038
ない	160 93.6%	152 98.7%	50 90.9%	31 100.0%	34 100.0%	16 94.1%	443 95.9%	
これまでに罹患したSTD								
梅毒	24 13.3%	22 13.5%	8 13.6%	4 12.1%	1 2.8%	0 0.0%	59 12.0%	0.282
A型肝炎	4 2.2%	5 3.1%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 2.0%	0.737
B型肝炎	10 5.6%	15 9.2%	7 11.9%	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	34 6.9%	0.146
C型肝炎	3 1.7%	3 1.8%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 1.4%	0.906
クラミジア	12 6.7%	15 9.2%	2 3.4%	3 9.1%	1 2.8%	0 0.0%	33 6.7%	0.393
コンジローマ	8 4.4%	11 6.7%	3 5.1%	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	24 4.9%	0.520
淋病	13 7.2%	9 5.5%	3 5.1%	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	27 5.5%	0.513
HIV感染症	21 11.7%	13 8.0%	4 6.8%	1 3.0%	1 2.8%	0 0.0%	40 8.2%	0.196
赤痢アメーバ	1 0.6%	6 3.7%	4 6.8%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 2.4%	0.081
毛じらみ	50 27.8%	41 25.2%	8 13.6%	12 36.4%	3 8.3%	0 0.0%	114 23.3%	0.002
性器ヘルペス	3 1.7%	1 0.6%	2 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 1.2%	0.525

表 13. 配布地域別の資材受け取り経験と検査行動 (2019 年度調査)

	東京 N=180	大阪 N=162	名古屋 N=58	仙台 N=33	沖縄 N=36	北海道 N=19	合計 N=488	有意差
あなたは異性愛者にどのくらいカミングアウトしていますか？								
誰かにはカムアウトした	130 77.4%	113 73.9%	40 70.2%	25 75.8%	25 78.1%	16 84.2%	349 75.5%	0.803
誰にもしていない	38 22.6%	40 26.1%	17 29.8%	8 24.2%	7 21.9%	3 15.8%	113 24.5%	
センターでのコンドーム資材の受け取り経験								
あり	124 68.9%	119 73.5%	44 75.9%	28 84.8%	27 75.0%	14 73.7%	356 73.0%	0.518
なし	56 31.1%	43 26.5%	14 24.1%	5 15.2%	9 25.0%	5 26.3%	132 27.0%	
センターでの情報入手経験(誰から)								
センターのスタッフから聞いた	71 39.4%	89 54.6%	39 66.1%	25 75.8%	23 63.9%	13 68.4%	260 53.1%	0.000
センターに来て、利用者から	24 13.3%	42 25.8%	13 22.0%	7 21.2%	6 16.7%	2 10.5%	94 19.2%	0.075
センターに来て、友達から	21 11.7%	36 22.1%	12 20.3%	4 12.1%	4 11.1%	2 10.5%	79 16.1%	0.100
センターに来て、雑誌から	62 34.4%	59 36.2%	17 28.8%	9 27.3%	12 33.3%	3 15.8%	162 33.1%	0.490
悩みや不安について相談したこと								
センターのスタッフに相談した	27 15.1%	44 27.3%	14 24.6%	18 54.5%	13 36.1%	7 36.8%	123 25.4%	0.000
利用者に相談した	12 6.7%	20 12.4%	10 17.5%	3 9.1%	7 19.4%	5 26.3%	57 11.8%	0.029
友達同士で相談した	26 14.5%	26 16.1%	11 19.3%	6 18.2%	7 19.4%	11 57.9%	87 17.9%	0.000
生涯でのHIV検査経験								
ある	136 76.0%	141 87.0%	46 78.0%	29 87.9%	24 66.7%	10 52.6%	386 79.1%	0.001
ない	43 24.0%	21 13.0%	13 22.0%	4 12.1%	12 33.3%	9 47.4%	102 20.9%	
生涯での検査回数								
1回だけ	42 31.8%	30 22.2%	11 25.6%	9 31.0%	4 16.7%	4 40.0%	100 26.8%	0.076
2回	17 12.9%	15 11.1%	1 2.3%	4 13.8%	8 33.3%	2 20.0%	47 12.6%	
3回	10 7.6%	15 11.1%	5 11.6%	5 17.2%	3 12.5%	1 10.0%	39 10.5%	
4回以上	63 47.7%	75 55.6%	26 60.5%	11 37.9%	9 37.5%	3 30.0%	187 50.1%	
直近の検査時期								
過去6カ月の間	56 42.7%	50 36.8%	23 53.5%	10 34.5%	9 37.5%	4 40.0%	152 40.8%	0.051
過去6カ月以上前～過去1年の間	15 11.5%	18 13.2%	8 18.6%	3 10.3%	7 29.2%	2 20.0%	53 14.2%	
過去1年以上前～過去3年の間	29 22.1%	41 30.1%	3 7.0%	5 17.2%	5 20.8%	4 40.0%	87 23.3%	
過去3年以上前	31 23.7%	27 19.9%	9 20.9%	11 37.9%	3 12.5%	0 0.0%	81 21.7%	
過去1年の検査受検								
過去1年に受けた	71 39.4%	68 41.7%	31 52.5%	13 39.4%	16 44.4%	6 31.6%	205 41.8%	0.520
1年より前	109 60.6%	95 58.3%	28 47.5%	20 60.6%	20 55.6%	13 68.4%	285 58.2%	

表 14. 配布地域別の資材受け取り経験と、検査行動（2019 年度調査）

	東京 N=180	大阪 N=162	名古屋 N=58	仙台 N=33	沖縄 N=36	北海道 N=19	合計 N=488	有意差
直近の検査場所								
病院	43 32.3%	27 20.1%	6 14.3%	5 17.9%	3 12.5%	0 0.0%	84 22.6%	0.000
診療所・クリニック・医院	15 11.3%	23 17.2%	1 2.4%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	40 10.8%	
保健所・保健センター	35 26.3%	30 22.4%	14 33.3%	18 64.3%	14 58.3%	9 90.0%	120 32.3%	
南新宿検査・相談室	14 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	15 4.0%	
chot CAST なんば	0 0.0%	18 13.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 4.9%	
自宅/郵送検査（HIV検査キット）	3 2.3%	2 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	6 1.6%	
HIV check（東京/akta）	17 12.8%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 4.9%	
NLGR+検査会（名古屋）	1 0.8%	5 3.7%	16 38.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 5.9%	
M検（名古屋・岐阜）・名古屋市性感	1 0.8%	0 0.0%	4 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 1.3%	
distaでピタッとちえっくん（大阪）	0 0.0%	22 16.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 5.9%	
mabuiで HIV&梅毒検査!!（沖縄）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 25.0%	0 0.0%	6 1.6%	
その他	4 3.0%	6 4.5%	1 2.4%	3 10.7%	0 0.0%	1 10.0%	15 4.0%	
以下、HIV陰性者（自己申告）のみ								
生涯でのHIV検査経験								
ある	116 73.4%	129 86.0%	42 76.4%	28 87.5%	23 65.7%	10 52.6%	348 77.5%	0.208
ない	42 26.6%	21 14.0%	13 23.6%	4 12.5%	12 34.3%	9 47.4%	101 22.5%	
直近の検査時期								
過去6カ月の間	52 46.4%	47 37.9%	22 56.4%	10 35.7%	8 34.8%	4 40.0%	143 42.6%	0.049
過去6カ月以上前～過去1年の間	15 13.4%	18 14.5%	8 20.5%	3 10.7%	7 30.4%	2 20.0%	53 15.8%	
過去1年以上前～過去3年の間	28 25.0%	40 32.3%	2 5.1%	5 17.9%	5 21.7%	4 40.0%	84 25.0%	
過去3年以上前	17 15.2%	19 15.3%	7 17.9%	10 35.7%	3 13.0%	0 0.0%	56 16.7%	
過去1年の検査受検								
過去1年に受けた	67 42.1%	65 43.3%	30 54.5%	13 40.6%	15 42.9%	6 31.6%	196 43.6%	0.208
1年より前	92 57.9%	85 56.7%	25 45.5%	19 59.4%	20 57.1%	13 68.4%	254 56.4%	
直近の検査場所								
病院	33 29.2%	20 16.4%	4 10.3%	4 14.8%	2 8.7%	0 0.0%	63 18.9%	0.000
診療所・クリニック・医院	13 11.5%	22 18.0%	1 2.6%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	37 11.1%	
保健所・保健センター	31 27.4%	28 23.0%	13 33.3%	18 66.7%	14 60.9%	9 90.0%	113 33.8%	
南新宿検査・相談室	11 9.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	12 3.6%	
chot CAST なんば	0 0.0%	16 13.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 4.8%	
自宅/郵送検査（HIV検査キット）	3 2.7%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	6 1.8%	
HIV check（東京/akta）	17 15.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 5.4%	
NLGR+検査会（名古屋）	1 0.9%	5 4.1%	16 41.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 6.6%	
M検（名古屋・岐阜）・名古屋市性感	1 0.9%	0 0.0%	4 10.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 1.5%	
distaでピタッとちえっくん（大阪）	0 0.0%	22 18.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 6.6%	
mabuiで HIV&梅毒検査!!（沖縄）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 26.1%	0 0.0%	6 1.8%	
その他	3 2.7%	6 4.9%	1 2.6%	3 11.1%	0 0.0%	1 10.0%	14 4.2%	

表 15. 調査年別の新しい知見の保有、基礎属性

		2019 n=430		2020 n=431		p値 ¹⁾
新しい知見1: 治療薬の進歩 ²⁾	認知あり	379	88.6%	402	94.1%	0.005
	認知なし	49	11.4%	25	5.9%	
新しい知見2: U=U ³⁾	認知あり	320	74.8%	353	83.1%	0.003
	認知なし	108	25.2%	72	16.9%	
センター来場経験	初めて	68	15.9%	81	18.9%	0.279
	来たことがある	360	84.1%	348	81.1%	
配布地域	東京	170	39.5%	159	36.9%	0.166
	大阪	137	31.9%	150	34.8%	
	名古屋	63	14.7%	55	12.8%	
	仙台	40	9.3%	32	7.4%	
	沖縄	20	4.7%	35	8.1%	
年齢区分	29歳以下	140	32.9%	113	26.4%	0.112
	30-39歳	136	32.0%	151	35.3%	
	40歳以上	149	35.1%	164	38.3%	
性指向	ゲイ	357	83.0%	355	82.6%	0.928
	バイセクシュアルその他	73	17.0%	75	17.4%	
過去6か月ゲイ向け商業施設 ⁴⁾ 利用	あり	335	77.9%	321	74.5%	0.263
	なし	95	22.1%	110	25.5%	
職業	正規雇用経営者	219	51.2%	228	53.5%	0.170
	非正規アルバイト	99	23.1%	111	26.1%	
	学生・無職	110	25.7%	87	20.4%	
調査時点までのHIV検査経験	あり	323	76.0%	339	78.8%	0.327
	なし	102	24.0%	91	21.2%	
過去1年検査経験(検査経験者のみ)	あり	153	46.6%	190	55.9%	0.020
	なし	175	53.4%	150	44.1%	
過去6か月コンドーム使用(性行為実施者のみ)	常用	241	67.7%	238	66.1%	0.691
	非常用覚えてない	115	32.3%	122	33.9%	

1) χ^2 検定による

2) 「適切な治療を行えば、HIVに感染しても、感染していない人とほぼ同じ寿命を生きることができる」こと

3) 「適切に治療することにより、他の人へ感染させる危険性を減らすことができる」こと

4) バー、クラブ、有料ハッテン場のいずれかを指す

表 16 調査年別の治療薬の進歩の認知 1)と基礎属性

	2019(n=430)					2020(n=431)					
	認知あり		認知なし		p値 ²⁾	認知あり		認知なし		p値 ²⁾	
センター来場経験											
	初めて	51	82.3%	11	17.7%	0.066	68	86.1%	11	13.9%	0.002
	来たことがある	321	90.2%	35	9.8%		332	96.0%	14	4.0%	
配布地域											
	東京	149	90.3%	16	9.7%	0.735	145	93.5%	10	6.5%	0.788
	大阪	117	88.6%	15	11.4%		144	96.0%	6	4.0%	
	名古屋	56	88.9%	7	11.1%		51	92.7%	4	7.3%	
	仙台	35	87.5%	5	12.5%		30	93.8%	2	6.3%	
	沖縄	16	80.0%	4	20.0%		32	91.4%	3	8.6%	
年齢区分											
	29歳以下	123	88.5%	16	11.5%	0.720	105	93.8%	7	6.3%	0.974
	30-39歳	115	87.1%	17	12.9%		142	94.0%	9	6.0%	
	40歳以上	129	90.2%	14	9.8%		152	94.4%	9	5.6%	
性指向											
	ゲイ	321	90.4%	34	9.6%	0.018	336	95.5%	16	4.5%	0.011
	バイセクシュアルその他	51	79.7%	13	20.3%		65	87.8%	9	12.2%	
過去6か月ゲイ向け商業施設 ³⁾ 利用											
	あり	254	76.7%	81	23.3%	0.347	266	83.9%	51	16.1%	0.071
	なし	66	71.0%	27	29.0%		87	80.6%	21	19.4%	
職業											
	正規雇用経営者	195	91.5%	18	8.5%	0.116	214	95%	12	5.3%	0.508
	非正規アルバイト	136	85.0%	24	15.0%		102	92%	9	8.1%	
	学生・無職	24	92.3%	2	7.7%		82	95%	4	4.7%	
調査時点までのHIV検査経験											
	あり	303	92.7%	24	7.3%	<0.001	323	96.1%	13	3.9%	<0.001
	なし	70	75.3%	23	24.7%		78	86.7%	12	13.3%	
過去1年検査経験(検査経験者のみ)											
	あり	145	94.2%	9	5.8%	0.577	186	98.4%	3	1.6%	0.021
	なし	150	92.6%	12	7.4%		139	93.3%	10	6.7%	
過去6か月コンドーム使用(性行為実施者のみ)											
	常用	214	89.2%	26	10.8%	0.525	226	94.3%	10	5.7%	0.602
	非常用覚えてない	84	91.3%	8	8.7%		115	95.8%	7	4.2%	

1) 「適切な治療を行えば、HIVに感染しても、感染していない人とほぼ同じ寿命を生きることができる」ことの認知を尋ねた

2) χ^2 検定による

3) バー、クラブ、有料ハッテン場のいずれかを指す

表 17. 調査年別の U=U の認知 1)と基礎属性

	2019(n=430)					2020(n=431)					
	認知あり	認知なし	p値 ²⁾		認知あり	認知なし	p値 ²⁾				
センター来場経験	初めて	35	56.5%	27	43.5%	<0.001	57	73.1%	21	26.9%	0.010
	来たことがある	280	78.7%	76	21.3%		294	85.2%	51	14.8%	
配布地域	東京	129	78.2%	36	21.8%	0.076	125	81.2%	29	18.8%	0.385
	大阪	104	78.8%	28	21.2%		126	84.6%	23	15.4%	
	名古屋	46	73.0%	17	27.0%		45	81.8%	10	18.2%	
	仙台	26	65.0%	14	35.0%		30	93.8%	2	6.3%	
	沖縄	11	55.0%	9	45.0%		27	77.1%	8	22.9%	
年齢区分	29歳以下	97	69.8%	42	30.2%	0.085	92	82.1%	20	17.9%	0.127
	30-39歳	98	74.2%	34	25.8%		119	78.8%	32	21.2%	
	40歳以上	116	81.1%	27	18.9%		139	87.4%	20	12.6%	
性指向	ゲイ	273	76.9%	82	23.1%	0.097	298	85.1%	52	14.9%	0.016
	バイセクシュアルその他	43	67.2%	21	32.8%		54	73%	20	27.0%	
過去6か月ゲイ向け商業施設 ³⁾ 利用	あり	297	88.7%	38	11.3%	0.856	302	95.0%	16	5.0%	0.238
	なし	82	88.2%	11	11.8%		100	91.7%	9	8.3%	
職業	正規雇用経営者	163	76.5%	50	23.5%	0.038	185	82.6%	39	17.4%	0.646
	非正規アルバイト	112	70.0%	48	30.0%		90	81.1%	21	18.9%	
	学生・無職	24	92.3%	2	7.7%		74	86.0%	12	14.0%	
調査時点までのHIV検査経験	あり	270	82.6%	57	17.4%	<0.001	296	88.4%	39	11.6%	<0.001
	なし	46	49.5%	47	50.5%		57	64.4%	32	35.6%	
過去1年検査経験(検査経験者のみ)	あり	131	85.1%	23	14.9%	0.371	170	90.4%	18	9.6%	0.174
	なし	131	80.9%	31	19.1%		126	85.1%	22	14.9%	
過去6か月コンドーム使用(性行為実施者のみ)	常用	188	78.3%	52	21.7%	0.786	203	86.8%	31	13.2%	0.630
	非常用覚えてない	89	76.7%	27	23.3%		103	83.3%	19	15.7%	

1) 「適切に治療することにより、他の人へ感染させる危険性を減らすことができる」ことの認知を尋ねた

2) χ^2 検定による

3) バー、クラブ、有料ハッテン場のいずれかを指す

大阪のMSMにおけるHIV感染動向の把握に関する研究 大阪ゲイコホートの継続

研究代表者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）

研究協力者：宮田りりい（公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪）

宮階真紀、伴仲昭彦（公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪）

大畑泰次郎、町登志雄（MASH 大阪） 鬼塚哲郎（京都産業大学文化学部/MASH 大阪）

研究要旨

大阪市と協働し、本年度は6回のHIV抗体および梅毒抗原抗体検査会を実施した。

2021年3月までの実施の概要について整理した。なお、HIV陽性者については本検査会の確認検査を経て、新たに感染が判明した人の数である。2018年度の受検者数は249人であり、HIV陽性割合は0.4%、梅毒抗原陽性（要治療）割合は5.6%であった。2019年度の受検者数は210人であり、HIV陽性割合は2.4%、梅毒抗原陽性（要治療）割合は8.1%であった。2021年度の受検者数は114人であり、HIV陽性割合は0.9%、梅毒抗原陽性（要治療）割合は13.5%であった。

A. 研究目的

MSM出生年代別にみた先行研究ではAIDS罹患率の推移は1950年代生まれ以外のいずれの年代でも増加傾向であった。近年では1970年代生まれや1980年代生まれでは感染拡大傾向は抑制されつつあるものの、出生年代層が若い群の方がより高く相対的にMSM集団における感染拡大が示唆されている。特にゲイ向け商業施設利用者は性行動が活発であり、感染リスクの高い集団である。またMSMにおいて梅毒は感染が増加していることも報告されており、MSM対象の検査会での梅毒有病率はHIV感染よりも高い。

MSMにおけるHIV感染や梅毒感染の状況を把握することは、今後の感染対策の方針の決定や予防啓発の評価尺度として極めて有効である。初年度は大阪のゲイ向け商業施設を中心としたゲイコミュニティにおいて、血液検査と連動させた前向きコホートを構築することを目的とした。本報告では検査会利用者の属性について明らかにすることを通して、コ

ミュニティセンターでの検査会の効果について検討する。

B. 研究方法

1) コホートの継続

本研究では対象者の個人特定には生体認証の技術（スワイプ式指紋認証システム）を応用したシステムによって、住所や氏名などの個人情報を取得することなくコホート集団を構築することとした。認証された指紋情報は、ソフトウェア（OmniPass）を活用し、暗号化した上でIDを発行する仕組みとした。対象者には口頭で説明し、同意を得た上で指紋情報を登録してもらい、内蔵されたソフトウェアによって暗号化し、指紋情報と一致させた個別のIDを番号シールとして発行した。情報の保守性を考慮し、本研究で活用する機器端末は、インターネット接続されない仕組みとし、本年度は前回の検査日時も伝えられるよう、OSのバージョンアップを行った。

2) 分析方法

各回の受検者の属性について単純集計を行った。年齢はコミュニティセンター利用者と同様に、24歳以下、25歳-34歳、35歳以上の3区分の年齢層に分類した。質問項目は、年齢層、性別、居住形態、職業、セクシュアリティなどの基本属性と、過去6ヵ月間の商業施設などの利用状況、性感染症既往歴、性行動、検査行動、コミュニティセンターdistaの利用状況、本検査会における満足度とした。

本年度は2018年、2019年の月別に検査会利用者の分析を進めた。単純集計にはSPSS23を用いた。

なお、本調査は大阪青山大学倫理委員会の承認も得て実施した。

C. 研究結果

実施状況について2020年度の概要は、各年度の研究報告書に示した。なお、HIV陽性者については本検査会の確認検査を経て、新たに感染が判明した人の数である。2018年度の受検者数は249人であり、HIV陽性割合は0.4%、梅毒抗原陽性（要治療）割合は5.6%であった。2019年度の受検者数は210人であり、HIV陽性割合は2.4%、梅毒抗原陽性（要治療）割合は8.1%であった。2020年度の受検者数は114人であり、HIV陽性割合は0.9%、梅毒抗原陽性（要治療）割合は13.5%であった。

2018年、2019年の検査利用者について月別に受検者アンケートの結果を表5～表8に示した。2018年のアンケート回答者数は266人であり、2019年のアンケート回答者数は201人であった。本検査会が初受検になった人の割合は2018年が10.7%～28.2% ($p=0.15$) であり、2019年は2.8%～17.2% ($p=0.56$) であった。ゲイ向け商業施設利用者の割合は2018年が66.7%～82.0% ($p=0.62$) であり、2019年は62.9%～78.1% ($p=0.75$) であった。2020年のアンケート回答者数は114人であった。本検査会が初受検になった人の割合は10.5%であった。ゲイ向け商業施設利用者の割合7.0%～49.1%であった。

D. 考察

これまでと比較して全体的に初受検者10%程度と少なく、リピーターの利用が多い傾向だが、1月は初受検者が多かったと考えられる。

「distaでピタッとちえつくを今後も利用したいと思いますか」という設問では「利用したい」と思う理由と「利用したくない」と思う理由をそれぞれ自由記述にて記入してもらっているが、アンケートの最後では「distaへのご要望など」についても自由記述欄を設けているが、利用したいが91.4%と高かった。

初受検者数が約10%程度に収まったことについて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で検査会へ参加しづらくなっているのが要因かと意見があった。

E. 結論

本検査会は大阪市が事業化を継続しており、安定して運営できる体制が構築できていると考えられる。受検者数は毎回30人前後となり、コミュニティにとっても定着化しつつあったが、コロナ禍の影響により今年度は半減した。

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) ○塩野徳史, 市川誠一, 金子典代, 佐々木由理: 都市部保健所におけるHIV抗体検査受検者の特性, 厚生学の指標, 2018, 65(5): 35-42
- 2) ○金子典代, 塩野徳史, 本間隆之, 岩橋恒太, 健山正男, 市川誠一: 地方都市在住のMSM (Men who have sex with men) における調査時点までと過去1年のHIV検査経験と関連要因. 日本エイズ学会誌, 2019, 21(1) (受理済).

2. 学会発表

- 1) ○塩野徳史 ゲイコミュニティにおけるHIV抗体検査—『これまで』と『これか

- ら』 シンポジウム 3 HIV 将来予測と流行阻止 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 2) ○塩野徳史 HIV 検査の受検阻害要因としてのスティグマ シンポジウム 4 スティグマの払拭は誰が担うのか 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 3) ○塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 宮田りりい, 大畑泰次郎, 伴仲昭彦, 鬼塚哲郎, 市川誠一 商業施設を利用しはじめの若年層 MSM を対象とした予防啓発介入の開発と効果評価 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 4) ○荒木順子, 金子典代, 木南拓也, 岩橋恒太, 佐久間久弘, 阿部甚兵, 大島 岳, 太田 貴, 石田敏彦, 塩野徳史, 新山 賢, 金城 健, 本間隆之, 市川誠一 akta で展開したセーフターセックスキャンペーンとコミュニティベース調査による効果評価 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 5) ○宮田りりい, 塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 大畑泰次郎, 市川誠一 MSM における性交相手との出会いの場所と方法一年齢層による差異について 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 6) ○塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 宮田りりい MSM における検査行動に関する尺度開発とコミュニティセンター利用者の変化 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 7) ○後藤大輔, 中村理恵, 宮田りりい, 塩野徳史 若年層向けの行政と連携した予防啓発方法の試み 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 8) ○川畑拓也, 小島洋子, 森 治代, 駒野 淳, 岩佐 厚, 亀岡 博, 菅野展史, 近藤雅彦, 杉本賢治, 高田昌彦, 田端運久, 中村幸生, 古林敬一, 清田敦彦, 伏谷加奈子, 塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 柴田敏之, 木下 優 大阪府における MSM 向け HIV/STI 検査相談事業・平成 28 年度実績報告 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 9) ○Takaku Michiko, Dorjgotov Myagmardorj, Gombo Erdenetuya, Galsanjamts Nyampurev, Jagdagsuren Davaalkham, Ichikawa Seiichi, Shiono Satoshi, Kaneko Noriyo, Oka Shinichi Studies on NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia The 31st Annual Meeting of the Japanese Society for AIDS Research, Tokyo, Nov. 24-26, 2017
- 10) ○櫻井理恵, 真木景子, 浦林純江, 青木理恵, 浅井千絵, 松本健二, 小向 潤, 植田英也, 半羽宏之, 松村直樹, 久保徹朗, 安井典子, 塩野徳史, 市川誠一 保健福祉センターにおける HIV 抗原抗体検査受検者アンケートから見た MSM 対策の評価 ワークショップ 3 検査・相談体制 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, H29. 11. 24-26
- 11) ○塩野徳史: U=U をめぐるメッセージと予防啓発 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会 シンポジウム 9 U=U 誰が何をどう伝えるか: 陽性者の人権とスティグマゼロへの取り組みを視野に入れて 大阪, H30. 12. 2-
- 12) ○塩野徳史: 社会分野における予防指針の課題 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会 日本エイズ学会シンポジウム エイズ予防指針改定の背景と課題 大阪, H30. 12. 2-4

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得
なし。

2. 実用新案登録

なし。

3. その他

なし。

沖縄に流入する外国人 MSM の予防行動に関する研究

研究分担者：健山正男（琉球大学大学院医学研究科 准教授）

研究協力者：nankr 沖縄

研究要旨

本研究の目的は、国内外からのツーリストが多い沖縄県において、沖縄県を訪れる外国籍 MSM の感染リスク行動を明らかにするための多言語対応の MSM 向け HIV 感染リスク行動調査の質問紙を作成することである。過去の MSM を対象にコミュニティベースで実施されてきたアンケート項目をすべて収集し、外国籍 MSM に対して尋ねるべき項目を選択する作業を実施した。

日本における外国籍 MSM における新規 HIV 感染者、新規 AIDS 患者報告数は近年増加しており、日本を訪問する外国籍 MSM の実態把握、予防行動の実態把握と対策の考案は急務である。

初年度は、外国籍 MSM が回答可能な多言語アンケートシステムの構築を行い、今年度は調査を試行した。その結果、回答者数が少なく、今後も継続して調査を実施する必要があるが、日本での性行動は日本の MSM と同程度行われている一方で、日本における HIV 検査の情報が浸透しておらず、検査機会が少ない状況であることが示唆された。そのため最終年度は、外国人 MSM を対象として HIV 検査に関する支援環境を整えることを進めた。

A. 研究目的

本研究の目的は、国内外からのツーリストが多い沖縄県において、沖縄県を訪れる外国籍 MSM の感染リスク行動を明らかにするための多言語対応の MSM 向け HIV 感染リスク行動調査の質問紙を作成し、ニーズを把握することである。

B. 研究方法

過去の MSM を対象にコミュニティベースで実施されてきたアンケート項目をすべて収集し、外国籍 MSM に対して尋ねるべき項目を選択する作業を実施した。性指向、出身国、年齢、職業、などの基礎項目、過去 6 か月に使用したゲイ向け商業施設、生涯や過去 1 年の HIV 検査行動、性行動など 25 問である。アンケートの依頼文、質問項目については、英語版のみならず、中国語版も作成し、多言語に対応したものとした。質問項目一覧は資

前年度報告書に添付したとおりである。

C. 研究結果

初年度に開発、作成したアンケートシステムを活用し、2 年目は日本に滞在する外国籍 MSM の実態調査を試行した。

得られた回答は 55 人で、そのうち男性 44 人（80.0%）で女性 11 人（20.0%）であった。44 人を対象にこれ以降の分析を進めた。

44 人の回答者のうち、出身国をアメリカ、フランス、ドイツ、イタリアなどの欧米と回答した人は 25 人（56.8%）、韓国、中国などアジアと回答した人は 5 人（11.4%）、日本と回答した人は 14 人（31.8%）であった。

さらに国籍を欧米、アジア、日本に分類し分析を進めた。回答者の平均年齢±標準偏差は欧米 30.0±7.2 歳、アジア 33.0±1.9 歳、日本 32.4±7.3 歳であった。ゲイであると回答した割合は欧米 72.0%、アジア 100%、日本

71.4%であった。

国籍別に HIV 検査に関して回答した内容を表 1、表 2 にまとめた。滞在期間について、欧米国籍は様々であり、3 か月未満で 60%を占め、1 年～5 年も 24.0%であった。アジアはすべてが 1 週間以内で、来日目的は旅行であった。過去 6 か月間に、日本でセックスをした経験については有意差はみられず、欧米 60.0%、アジア 40.0%、日本は 71.4%であった。

表 1 国籍別 基本属性

	国籍			合計 n=44	Pearson の カイ 2 乗
	欧米 n=25	アジア n=5	日本 n=14		
あなたは日本にどれくらい滞在していますか (通算) ?					
1週間以内	3 12.0%	5 100.0%	0 0.0%	8 18.2%	<0.01
1か月未満	5 20.0%	0 0.0%	1 7.1%	6 13.6%	
1か月～3か月	7 28.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 15.9%	
3か月～1年	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.8%	
1年～5年	6 24.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 13.6%	
10年以上	1 4.0%	0 0.0%	13 92.9%	14 31.8%	
日本に来た目的を教えてください。					
日本生まれ	0 0.0%	0 0.0%	10 71.4%	10 22.7%	<0.01
留学、研修など	9 36.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 20.5%	
仕事で	7 28.0%	0 0.0%	1 7.1%	8 18.2%	
旅行で	7 28.0%	5 100.0%	1 7.1%	13 29.5%	
その他	2 8.0%	0 0.0%	2 14.3%	4 9.1%	
あなたは、過去 6 か月間に、日本でセックスをしたことがありますか。					
ある	15 60.0%	2 40.0%	10 71.4%	27 61.4%	0.45
ない	10 40.0%	3 60.0%	4 28.6%	17 38.6%	

表 2 国籍別 検査行動

	国籍			合計 n=44	Pearson の カイ 2 乗
	欧米 n=25	アジア n=5	日本 n=14		
あなたは日本に来てから HIV や性感染症の検査を受けたいと思ったことがありますか？					
ある	9 36.0%	1 20.0%	12 85.7%	22 50.0%	<0.01
ない	16 64.0%	4 80.0%	2 14.3%	22 50.0%	
あなたは、日本では、保健所で HIV 検査を無料・匿名で受けられることを知っていますか？					
知っている	7 28.0%	0 0.0%	11 78.6%	18 40.9%	<0.01
知らない	18 72.0%	5 100.0%	3 21.4%	26 59.1%	
あなたはこれまでに HIV 検査を受けたことがありますか？					
ある	22 88.0%	3 60.0%	10 71.4%	35 79.5%	0.24
ない	3 12.0%	2 40.0%	4 28.6%	9 20.5%	
あなたは日本で HIV 検査を受けたことがありますか？					
ある	5 20.0%	0 0.0%	8 57.1%	13 29.5%	0.02
ない	20 80.0%	5 100.0%	6 42.9%	31 70.5%	

日本国籍 (85.7%) と比べ、日本に来てから HIV や性感染症の検査を受けたいと思ったことがある割合は欧米 36.0%、アジア 20.0%と低かった ($p<0.01$)。一方で日本では、保健所で HIV 検査を無料・匿名で受けられることを知っている割合も同様で、日本 78.6%に比べ、欧米 28.0%、アジア 0.0%であった ($p<0.01$)。これまでに HIV 検査を受けたことがある割合は 60.0%～88.0% ($p=0.24$) と変わらない一方で、日本で HIV 検査を受けたことがある割合

は、日本 57.1%に比べて、欧米 20.0%、アジア 0.0%と低かった ($p=0.02$)。

D. 考察

日本における外国籍 MSM における新規 HIV 感染者、新規 AIDS 患者報告数は近年増加しており、日本を訪問する外国籍 MSM の実態把握、予防行動の実態把握と対策の考案は急務である。沖縄県は、MSM 向けツーリズムの受け入れ先として人気が高く、多くの日本国籍 MSM が沖縄県を訪問している実態を H27, H28 年度に実施した研究で示した。

2018 年の暦年 (1～12 月) の入域観光客数が前年比 4.7%増 (44 万 6200 人増) の 984 万 2400 人になったと発表した。台風や麻疹 (はしか) の影響で前年割れの月があったものの、6 年連続で過去最高を更新した。国籍別にみると、台湾が 13.0%増の 88 万 9700 人、韓国が 6.2%増の 55 万 5500 人、中国が 25.5%増の 63 万 2400 人となっており、近隣アジア国からの観光客が多いことが想定される。初年度に開発、作成したアンケートシステムを活用し、2019 年には、日本に滞在する外国籍 MSM の実態調査を試行した。

その結果、回答者数が少なく、今後も継続して調査を実施する必要があるが、日本での性行動は日本の MSM と同程度行われている一方で、日本における HIV 検査の情報が浸透しておらず、検査機会が少ない状況であることが示唆された。

E. 結論

日本における外国籍 MSM における新規 HIV 感染者、新規 AIDS 患者報告数は近年増加しており、日本を訪問する外国籍 MSM の実態把握、予防行動の実態把握と対策の考案は急務である。外国籍 MSM が回答可能な多言語アンケートシステムの構築を行い、今年度は調査を試行した。またアジア圏の来日者の急増も鑑み、中国語でも回答可能なアンケートを構築した。最終年度も調査を継続す

る予定であったが、コロナ禍のため実施が困難であった。そのため最終年度は、外国人 MSM を対象として HIV 検査に関する支援環境を整えることを進めた。

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 金子典代, 塩野徳史, 本間隆之, 岩橋恒太, 健山正男, 市川誠一: 地方都市在住の MSM (Men who have sex with men) における調査時点までと過去1年の HIV 検査経験と関連要因. 日本エイズ学会誌, 2019, 21(1)
- 2) Kami-Onaga K, Tateyama M, Kinjo T, Parrott G, Tominaga D, Takahashi-Nakazato A, et al. Comparison of two screening tests for HIV-Associated Neurocognitive Disorder suspected Japanese patients with respect to cART usage. PloS one. 2018;13(6)

2. 学会発表

- 1) 和田秀穂, 塩野徳史, 徳永博俊, 竹内麻子, 健山正男, 市川誠一, 金子典代: 中国四国地方におけるより感染リスクの高い MSM 層の実態把握と HIV 抗体検査受検経験に関するコミュニティアンケート調査, 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 2) 岩橋恒太, 金子典代, 高野操, 岡慎一, 本間隆之, 健山正男, 市川誠一, 荒木順子, 木南拓也, 高久道子, 生島嗣, 佐藤郁夫, 福原寿弥, 林田庸総, 中山保世, 小日向弘雄, 今村顕史: MSM を対象とする、郵送検査手法を用いた新たな HIV 検査機会としての「HIVcheck.jp」の取り組み. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 3) 宮城京子, 豊里竹彦, 前田サオリ, 健山正男, 大嶺千代美, 藤田次郎: 沖縄県内訪問看護師の HIV 感染患者の受け入れ意識に関連する要因の検討. 第 32 回日本エイズ学会学術集

会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4

- 4) 上薫, 健山正男, 金城武士, Parrott Gretchen, 富永大介, 高橋愛, 仲村秀太, 宮城京子, 前田サオリ, 藤田次郎: 日本人における、2つの HIV 関連認知機能障害スクリーニング検査の cART 非投与群と投与群の比較. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 5) 岡崎玲子, 蜂谷敦子, 佐藤かおり, 豊嶋崇徳, 佐々木 悟, 伊藤俊広, 林田庸総, 岡 慎一, 潟永博之, 古賀道子, 長島真美, 貞升健志, 近藤真規子, 椎野禎一郎, 須藤弘二, 加藤真吾, 谷口俊文, 猪狩英俊, 寒川 整, 加藤英明, 石ヶ坪良明, 中島秀明, 吉野友祐, 太田康男, 茂呂寛, 渡邊珠代, 松田昌和, 重見 麗, 岩谷靖雅, 横幕能行, 渡邊 大, 小島洋子, 森 治代, 藤井輝久, 高田清式, 南 留美, 山本政弘, 松下修三, 健山正男, 藤田次郎, 杉浦 互, 吉村和久, 菊池 正: 国内新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV-1 の動向. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 6) 笠島志穂, 山城朋子, 健山正男, 仲村秀太, 山入端一貴, 兼久 梢, 新垣若子, 鍋谷大二郎, 藤田次郎: 上気道閉塞のリスクを有するカポジ肉腫の治療経験症例. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 7) 上原 仁, 諸見牧子, 与那覇房子, 外間惟夫, 前田サオリ, 宮城京子, 石郷岡美穂, 大城市子, 辺士名優美子, 上 薫, 仲村秀太, 中村克徳, 健山正男, 藤田次郎: 腸瘻からの cART 投与において血中濃度測定を行い用量調整した一例. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 8) 西原一秀, 平野惣大, 健山正男, 前田サオリ, 宮城京子, 藤田次郎, 新崎 彰: 沖縄県歯科医療従事者の HIV/AIDS 患者歯科診療に対するアンケート調査の検討. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 9) 健山正男: 沖縄県における HIV の現況. 九州医師連合会 HIV 医療講演会 2018

- 10) 兼久 梢, 健山正男, 鍋谷大二郎, 喜友名朋, 新里 彰, 新垣若子, 宮城一也, 原永修作, 藤田次郎 : 免疫再構築に伴う病変増大が疑われた HIV 関連トキソプラズマ脳症の一例. 第 92 回日本感染症学会学術集会 2018. 6. 1 感染症学雑誌 92 357 2018
- 11) 原永修作, 西山直哉, 鍋谷大二郎, 金城武士, 宮城一也, 健山正男, 藤田次郎 : 男性同性愛者に発症し化膿性扁桃炎として診断・治療された扁桃梅毒の 1 例と case review. 第 92 回日本感染症学会学術集会 2018. 6. 1 感染症学雑誌 92 284 2018
- 12) 石原美紀, 健山正男, 渡嘉敷良乃, 鍋谷大二郎, 金城武士, 宮城一也, 藤田次郎 : HIV 新規診断症例においてインテグラーゼ領域に P145S を検出した一例. 第 92 回日本感染症学会学術集会 2018. 6. 1 感染症学雑誌 92 375 2018

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。
3. その他
なし

日本の MSM における HIV 感染動向の把握に関する研究 - HIV 感染発生動向を活用に関する研究

研究分担者：松岡佐織（国立感染症研究所エイズ研究センター 主任研究官）

研究要旨

日本国内の感染症蔓延防止にむけ、正確な発生動向の把握は効果的な予防対策を計画する上である。本研究では感染症法に基づき実施されている病原体サーベイランスのうち、MSM における性感染症の動向を補足することを目的に、性的接触により感染リスクの高まる 5 類感染症（全数把握疾患）に関して年間報告数、感染経路、性別などの情報を抽出し、HIV 予防啓発に従事する NPO、研究者らと情報を共有した。

A. 研究目的

国内の感染症蔓延防止にむけ、正確な発生動向の把握は効果的な予防対策を計画する上で重要である。日本国内においては感染症法に基づき、規定された疾患の報告数を調査、集計されている。2020 年 1 月時点で 80 以上の疾患が規定されている。このうち、発生数が希少なため定点での報告では正確な発生動向把握に結びつかないため日本国内で診断されたすべての感染者が報告対象になる全数把握疾患と、発生数が比較的多いために定点把握疾患に分類される疾患の 2 種がある。すべての疾患について患者情報及び病原体情報を併せ週、月単位で全国情報を集計し、速報値として感染症発生動向調査週報 (Infectious diseases weekly report, IDWR, <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>)、病原体検出情報 (Infection agents surveillance Report, IASR, <https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>) 等で即日に情報が公開されている。更に疾患毎に年単位で集計されている

(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/ydata/8113-report-ja2017-30.html>)。疾患によっては性別、年齢別、感染経路別、報告数の周期的特性

の把握が重要な情報となりうるが、現時点では報告数の集計が主である。

全数報告が義務付けられている第 5 類感染症のうち、HIV 感染症、アメーバ赤痢、A 型肝炎、梅毒は届け出票の中で、推定される感染原因・感染経路の選択肢として性的接触が項目として挙げられている。更に記載項目として性別、同性間性的接触があり、これらの疾患の報告数を抽出することで、MSM における性感染症の発生動向把握において重要な情報である。

本研究では、感染症発生動向調査において第 5 類感染症（全数把握疾患）に分類される疾患のうち、梅毒、A 型肝炎、アメーバ赤痢の性別、感染経路別報告数に関する公式な分析、解析結果に関して情報収集を試みた。

B. 研究方法

感染症サーベイランス (National Epidemiological Surveillance of Infectious Disease [NESID]) システムを介して報告されているデータを基に、2 次分析に必要となる情報を抜粋した。週報、月報に記載されていない情報に関しては、国立感染症研究所疫学センターの協力のもと、所内担当部局に情報及びその公開元情報を収集した。

(倫理面への配慮)

エイズ発生動向報告値は既に公開されている情報を使用した。今後、エイズ発生動向報告の基礎データとなる感染症サーベイランス(NESID)システムの閲覧が必要になった場合は、管理規約に基づき管理者へ申請し閲覧の許可を得ることを申し合わせた。

C. 研究結果

感染症発生動向調査として報告され、集計された情報公開元をまとめた。学術論文など独自の視点で分析された情報は除外した。複数の集計結果がある場合は、集計日、集計方法が読み取れるよう情報元を複数列挙した。抜粋データに関しては研究班内で共有し、討議のための基礎データとした。

D. 考察

本研究班全体として MSM 対象の予防啓発活動における地域間連携をもとに新たな活動計画を策定、PDCA サイクルを導入することで、日本全体の MSM の予防啓発の浸透度を把握し、予防啓発活動の可視化を目指している。本年は分担研究として MSM における性感染症の発生動向把握に向けた基礎情報の収集として、男性同性間性的接触が主な感染経路である報告数の抽出を試みた。感染経路別の確定値はいずれの疾患においても公表されていない。

梅毒に関しては、2013 年以降男性同性間性的接触による報告数の増加が指摘されている。しかしながら男性同性間性的接触による報告が増加し始めるのと同時に、2013 年以降は日本国内での男性(同性間性的接触を含まない)、女性における報告数の増加がより顕著であり、いずれの感染の波及が起点となっているのか不明のままである。また異性間性的接触が主な報告である性器クラミジア症は 2013 年以降報告数は横ばいであり、男性同性間性的接触を含まない男性、女性の梅毒の報告数の増減傾向と単純に結びつけることは困難であることが示唆される。

A 型肝炎に関しては、経口感染、性的接触に

よる感染が主な感染経路である。感染経路別の詳細な解析はなされていないものの、報告数の性別から、女性の報告数は 2006 年から 2019 年の約 10 年間報告数の増減は少ないのに対し、男性においては 2018 年の報告数は約 500 件増加している。以上のことから発生動向報告値からは、2018 年に男性同性間でのアウトブレイクがあり、2019 年には収束に向かっていることが示唆された。

アメーバ赤痢に関しては、十分な情報が得られていない。関係者から聞き取りを継続し、データ収集でき次第関係者らに還元する予定であったが、コロナ禍のため最終年度は研究を進めることが困難となった。

E. 結論

MSM における性感染症の発生動向把握に向けた基礎情報の収集として、男性同性間性的接触が主な感染経路である報告数の抽出を試みた。収集した情報は班会議を通して公表し、データは電子媒体で共用した。

F. 研究発表

1. 論文発表

1. Ishii H, Matsuoka S, Ikeda N, Kurihara K, Ueno T, Takiguchi M, Naruse TK, Kimura A, Yokoyama M, Sato H, Matano T. Determination of a T cell receptor of potent CD8+ T cells against simian immunodeficiency virus infection in Burmese rhesus macaques. *Biochem Biophys Res Commun.* 2020;521(4):894-899.
2. Nagashima M, Kumagai R, Kitamura Y, Matsuoka S, Imamura A, Chiba T, Sadamasu K. Examination of the efficient HIV confirmatory testing protocol using HIV-1/2 antibody differentiation assay *Jpn. J. Infe. Dis.* 2019. In press.
3. Matsuoka S, Nagashima M, Sadamasu K, Mori H, Tawahata T, Zaitso S, Nakamura A, de Souza M, Matano T. Estimating HIV-1

incidence in Japan from the proportion of recent infections. Prev. Med. Rep. 2019 ;16:100994.

4. Adusei-Poku MA, Matsuoka S, Bonney EY, Abana CZ, Duker EO, Nii-Trebi NI, Ofori SB, Mizutani T, Ishizaka A, Shiino T, Kawana-Tachikawa A, Ishikawa K, Ampofo WK, Matano T. Human leukocyte antigen-associated HIV-1 CRF02_AG gag and vif polymorphisms in Ghana. Jpn. J. Infe. Dis. 2019. 72:374-380.
5. 松岡佐織 エイズ発生動向調査における診断時 CD4 数の把握とその活用. 病原微生物検出情報 (IASR) Vol.34(10) p165-166, 2019.
6. 病原体検出マニュアル後天性免疫不全症候群
<https://www.niid.go.jp/niid/images/lab->

manual/HIV20191122.pdf

2. 学会発表 (国内)

1. 松岡佐織 日本国内の HIV 発生動向に関する解析. 第 33 回日本エイズ学会学術集会 熊本. 2019 年 11 月.
2. 松岡佐織 近年の日本国内の HIV 発生動向に関する分析. 第 40 回衛生微生物協議会. 熊本. 2019 年 6 月.

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。
3. その他
なし。

期間（西暦年）	集計の詳細	情報提供元
2016-2018	四半期ごと、年齢、性別、感染経路別に報告数を集計。MSM における報告数の抽出可能。	https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m/syphilis-trend.html
1999-2018	年次別・性別の報告数を集計、感染経路情報なし	https://www.mhlw.go.jp/topics/2005/04/tp0411-1.html

表 1. 梅毒の発生動向調査報告数の情報元

期間（西暦年）	集計の詳細	情報提供元
2015-2019年3月	4半期・性別の報告数の集計、感染経路ごとの集計なし（*1）	https://www.mhlw.go.jp/topics/2005/04/tp0411-1.html

表 2. A 型肝炎の発生動向調査報告数の情報元

*1;但し一部感染経路が特定されているものがある。詳細、解釈は本文を参照されたい。

5類感染症（全数把握疾患）：HIV以外

目的：5類感染症（全数把握疾患）であるアメーバー、A型肝炎、梅毒のMSMにおける発生動向を明らかにする。

方法：感染研内の各専門部所に協力を依頼し、データを収集。

① 感染研（NIID）HP上のIASR → ② IASRの「疾患名で探す」⇒個々の記事のみ

The image shows two screenshots of the NIID website. The first screenshot, labeled '1', shows the main homepage with a search bar and navigation menu. The second screenshot, labeled '2', shows the search results page for 'IASR' with a list of articles and a search filter. A red arrow points from the search bar in the first screenshot to the search results in the second screenshot.

医療者による新規患者・診療動向からの評価

研究分担者：山本政弘（九州医療センター）

研究協力者：伊藤俊宏（仙台医療センター）、健山正男（琉球大学大学院医学系研究科）

研究要旨

本研究は、主な医療機関での新規患者の傾向（AIDS 発症の有無/検査場所等）を把握し、予防啓発活動に還元することを目的としている。初年度は、主な医療機関での HIV/AIDS 患者の傾向を把握するためにアンケート調査の内容を検討し、倫理委員会の承認を得た。

内容は、抗 HIV 療法未導入の初診症例の総数、検査施設・医療機関・郵送検査などにおける検査数（自発的な検査および医師からの勧奨、輸血時等）、初診時にエイズを発症していた症例数、新規感染例数の傾向等とした。AIDS 発症例については、中四国を除き横這いあるいは増加傾向であることが報告された。新規感染については北陸を除き、横這いあるいは増加傾向と報告された。関東甲信越、東海、沖縄はいずれも増加傾向であり、九州は増加後横這いの傾向であることが指摘され、背景に検査行動および予防行動が影響している可能性について班会議で意見交換を行った。こうした結果の還元は、MSM における予防啓発活動の評価手法の一助となり、ハイリスク層におけるセクシュアルヘルスの向上につながることを期待できる。

A. 研究目的

HIV 感染拡大抑制に向け早期診断・早期治療は重要戦略であり、WHO はカスケードケアに基づく 90-90-90 達成を目指すことを推奨している。これは、HIV 陽性者が感染の状況について自らの診断を知っている率（診断率）、診断者の治療率、治療の成功率のいずれも 90%以上を各国が目指すものである。日本国内においても早期診断・早期治療に向け、コミュニティ当事者を中心に HIV 抗体検査機会を拡大し、HIV 抗体検査受検行動を促進する取り組みが展開されている。

日本国内では特に男性同性間での性的接触による感染が 7 割を占めているが、都市部と地方では状況が異なり、地方では AIDS を発症して報告される例も少なくない。こうしたハイリスク集団を中心に HIV 抗体検査受検行動が促進されれば、医療機関における状況も変化していくことが考えられるため、主な医療

機関での新規患者の傾向（AIDS 発症の有無/検査場所等）を把握し、予防啓発活動に還元することを目的としている。

B. 研究方法

初年度は、主な医療機関での HIV/AIDS 患者の傾向を把握するためにアンケート調査の内容を検討し、倫理委員会の承認を得た。

内容は、抗 HIV 療法未導入の初診症例の総数、検査施設・医療機関・郵送検査などにおける検査数（自発的な検査および医師からの勧奨、輸血時等）、初診時にエイズを発症していた症例数、新規感染例数の傾向等とした。

各医療機関で最近の傾向についてメールでアンケート調査を実施し、班会議で還元した。

C. 研究結果・考察

各医療機関で最近の傾向について意見聴取した概要結果は次の図の通りである。

2018年における各ブロックにおける主要拠点病院の新規患者の傾向（北海道）



2018年における各ブロックにおける主要拠点病院の新規患者の傾向（東海）



2018年における各ブロックにおける主要拠点病院の新規患者の傾向（東北）



2018年における各ブロックにおける主要拠点病院の新規患者の傾向（近畿）



2018年における各ブロックにおける主要拠点病院の新規患者の傾向（関東甲信越）



2018年における各ブロックにおける主要拠点病院の新規患者の傾向（中四国）



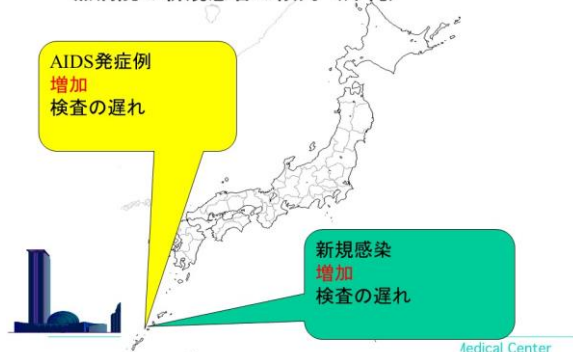
2018年における各ブロックにおける主要拠点病院の新規患者の傾向（北陸）



2018年における各ブロックにおける主要拠点病院の新規患者の傾向（九州）



2018年における各ブロックにおける主要拠点病院の新規患者の傾向（沖縄）



AIDS 発症例については、中四国を除き横這いあるいは増加傾向であることが報告された。新規感染については北陸を除き、横這いあるいは増加傾向と報告された。関東甲信越、東海、沖縄はいずれも増加傾向であり、九州は増加後横這いの傾向であることが指摘され、背景に検査行動および予防行動が影響している可能性について班会議で意見交換を行った。

E. 結論

日本の MSM における HIV 感染予防対策では、医療機関とコミュニティとの連携がうまく図られないことも多く、各医療機関で最近の傾向について意見聴取し、班会議等で還元した。数値等で示される動向と異なり、医療機関から発信される本研究の結果は CBO の活動に直接的な情報として認識されやすく、

意見交換しやすい。こうした結果の還元は、MSM における予防啓発活動の評価手法の一助となり、ハイリスク層におけるセクシュアルヘルスの向上につながることを期待できる。

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) ○嶋根 卓也, 今村 顕史, 池田 和子, 山本政弘, 辻 麻理子, 長与 由紀子, 松本 俊彦: 薬物使用経験のあるHIV陽性者において危険ドラッグ使用が服薬アドヒアランスに与える影響. 日本エイズ学会誌 (1344-9478)20巻1号 Page32-40(2018.02)
- 2) ○金子典代, 塩野徳史, 内海眞, 山本政弘, 健山正男, 鬼塚哲郎, 伊藤俊広, 市川誠一: 成人男性の HIV 検査受検, 知識, HIV 関連情報入手状況, HIV 陽性者の身近さの実態- 2009年調査と2012年調査の比較-. 日本エイズ学会誌, 2017, 19(1):16-23.

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得 なし。
2. 実用新案登録 なし。
3. その他 なし。

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
長島真美, 貞升健治, 川畑拓也, 近藤真規子, 草川茂, 立川愛, 松岡佐織	後天性免疫不全 症候群 (エイズ) /HIV 感染症	国立感染症 研究所	病原体 検出マ ニュアル	Web 公開		2018年 10月改訂	https://www.niid.go.jp/niid/ja/labo-manual.html

雑誌

著者氏名	論文タイトル名	雑誌名	巻	ページ	出版年
Takahashi N, Matsuoka S, Thi Minh TT, Naruse TK, Kimura A, SHiino T, Kawana-Tachikawa A, Ishikawa K, Matano T, Ngyyen Thi LA	Human lucoyto-antigen associated gag and nef polymorphisms in HIV-1 subtype A/E-infected individuals in Vietnam.	Microbes and Infection	21	113-118	2019
Kato H, Kanou K, Arima Y, Ando F, Matsuoka S, Yoshimura K, Matano T, Matsui T, Sunagawa T, Oishi K 松岡佐織	The importance of accounting for testing and positivity in surveillance by time and place: an illustration from HIV surveillance in Japan	Epidemiol Infect	146	2072-2078	2018
	2015年以降の日本国内 HIV 感染発生動向	病原微生物体検 出情報 (IASR)	29	151	2018
塩野徳史, 市川誠一, 金子典代, 佐々木由 理	都市部保健所における HIV 抗体検査受検者の特性	厚生 の 指標	65(5)	35-42	2018.5
金子典代, 塩野徳史, 本間隆之, 岩橋恒太, 健山正男, 市川誠一	地方都市在住の MSM (Men who have sex with men) における 調査時点までと過去1年の HIV 検査経験と関連要因	日本エイズ学会 誌	21(1)	34-44	2019.2
金子典代, 塩野徳史, 内海眞, 山本政弘, 健山政男, 鬼塚哲郎, 伊藤俊広, 市川誠一	成人男性の HIV 検査受検, 知 識, HIV 関連情報入手状況, HIV 陽性者の身近さの実態 - 2009年調査と2012年調査の 比較-	日本エイズ学会 誌	19(1)	16-23	2017
7) 嶋根卓也, 今村顕 史, 池田和子, 山本 政弘, 辻麻理子, 長 与由紀子, 松本俊彦	薬物使用経験のある HIV 陽 性者において危険ドラッグ 使用が服薬アドヒアランス に与える影響	日本エイズ学会 誌	20(1)	32-40	2018